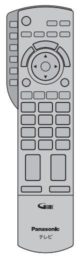
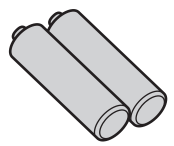
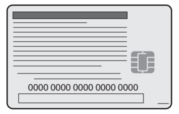
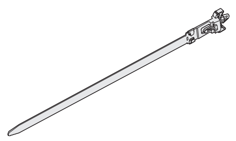
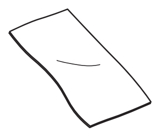
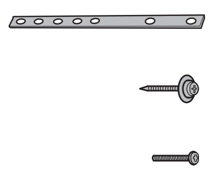
付属品

●イヤホン・ヘッドホン、DVDレコーダーなどの接続コード類、Irシステムケーブル、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈 〉は個数です。

□リモコン ……〈1〉 (☞ 12ページ)  (品番：N2QAYB000324)	□単3形乾電池 ……〈2〉 (☞ 12ページ) 	□B-CAS(ビーキャス)カード ……〈1〉 (☞ 74ページ) 表面  裏面  (カードの紛失時は、☞ 74ページ)
□クランパー ……〈1〉 (☞ 10ページ)  (品番：TMME289)	□クリーニングクロス ……〈1〉 ●使いかたは(☞ 137ページ)  (品番：TXFPE01EQUJ)	□転倒・落下防止部品 ……〈一式〉 (☞ 10ページ)  ベルト〈1〉 木ねじ〈1〉 ねじ〈1〉 (品番：TXFKL010D09)

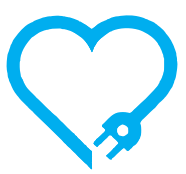
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

ID番号		
70ページに記載の「B-CASカード」「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダー ID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID(B-CASカード番号)	
	デコーダー ID	

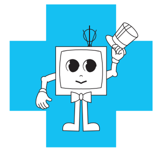
愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。



便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品番	TH-
	販売店名	☎(　　)　ー	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　ー	

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571−8504　大阪府門真市松生町1番15号

S0109-1019

VIERA ビエラ

Panasonic



(イラスト：TH-L37G1)

取扱説明書(テレビ編)

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

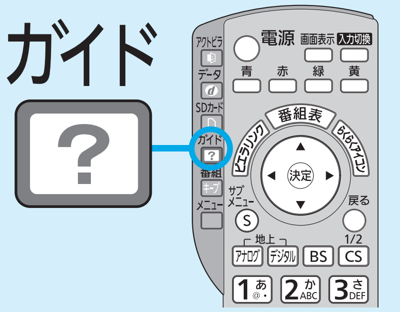
品番 TH-L37G1(37V型)
TH-L32G1(32V型)

テレビ編

使うとき

●日常の使いかたは電子説明書をご覧ください。
●初期の設置、接続・設定は本編をご覧ください。
●アクトビラやネットワーク接続した機器の使いかたは、ネットワーク編をご覧ください。

ガイド



電子説明書



テレビ関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。ホームページで「ご愛用者登録」をして頂きますと、本製品に関連した情報をメールなどでご案内いたします。
http://club.panasonic.jp/ (携帯電話からは、http://mobile.club.panasonic.jp/)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●電子説明書(VIERA操作ガイド)および、取扱説明書(「テレビ編」と「かんたんガイド」、「ネットワーク編」)をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」(138〜143ページ)を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●安全のため必ず転倒・落下防止処置をしてください。(10ページ参照)
●取扱説明書は、37V型(TH-L37G1)と32V型(TH-L32G1)共用です。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBA0646

もくじ 基本の流れ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞138～143ページ)

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-L37G1を元に作成しています。

こんなことがしたい ▶ 設置/接続 ▶ 設定 ▶ 使うとき

使うとき
※詳しい解説は「電子説明書」をご覧ください。(ネットワーク編を除く)

テレビを見たい



- 地上アナログ
- BS・CS・地上デジタル

番組表※を使いたい



地上アナログ放送の番組表を見る場合も衛星アンテナの接続が必要です。
(ケーブルテレビの場合も衛星アンテナの接続が必要です)

- 見る
- 予約する

DVDレコーダーやビデオデッキなどを使いたい



- 録画する
- 再生する

ビエラリンク(HDMI)かんたん説明(☞6、7ページ)

パソコンやオーディオを使いたい



写真や動画を見たい (SDメモリーカード)



デジタルカメラなどで撮影して保存したSDメモリーカードの写真が見られます。

アクトビラを使う くらし機器を使う



アクトビラの動画コンテンツの視聴には、光ファイバー(FTTH)などのブロードバンド環境が必要です。

設置/接続

設定

※本機の番組表はGガイドを使用しています。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞ 138～143ページ)



詳しい説明は「電子説明書」をご覧ください。
(◆の項目は除く)

※「電子説明書」の使いかたは
(☞16～19ページ)



ふだん使うとき

●「設置/接続」「設定」はお済みですか?(☞2、3ページ)

●ビエラリンク(HDMI)かんたん説明
(☞6、7ページ)

テレビを見る

番組を探す

録画予約する

お好みに調整する

接続した機器で楽しむ

いろいろな情報を見る



接続と設定について

●引っ越しなどで受信地域が変わるときは(チャンネル設定)(地域設定)
●番組表が映らないときは(番組表設定)
●アンテナを調整するときは(受信設定)

受信のための設定など

外部機器の接続・設定

放送チャンネルなどの一覧表

必要なとき

ビエラリンク(HDMI)かんたん説明

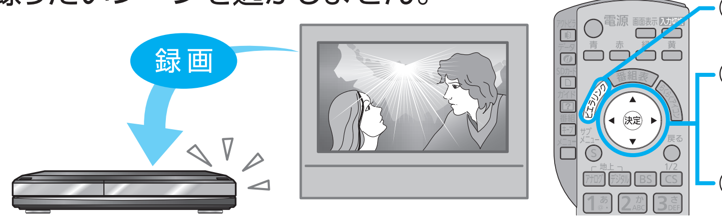
■ビエラリンク(HDMI)とは

リモコン１つでここまでできる

見ている番組を録画

(詳しくは ☞62ページ)

レコーダー(ディーガ)の電源が自動で入り、録画がスタート。
レコーダー(ディーガ)のHDD(ハードディスク)などに録画します。
録りたいシーンを逃がしません。

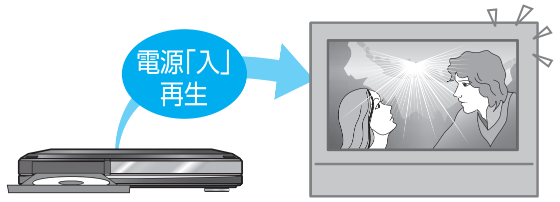


① ビエラリンク を押す
② 「見ている番組を録画」を選択する
③ 決定 「決定」を押す

ディスクをすぐ再生

詳しくは101ページおよびレコーダー(ディーガ)の取扱説明書を参照ください。

見たいディスクをレコーダー(ディーガ)のトレーにセット。
本機の電源が自動で入り、再生をはじめます。



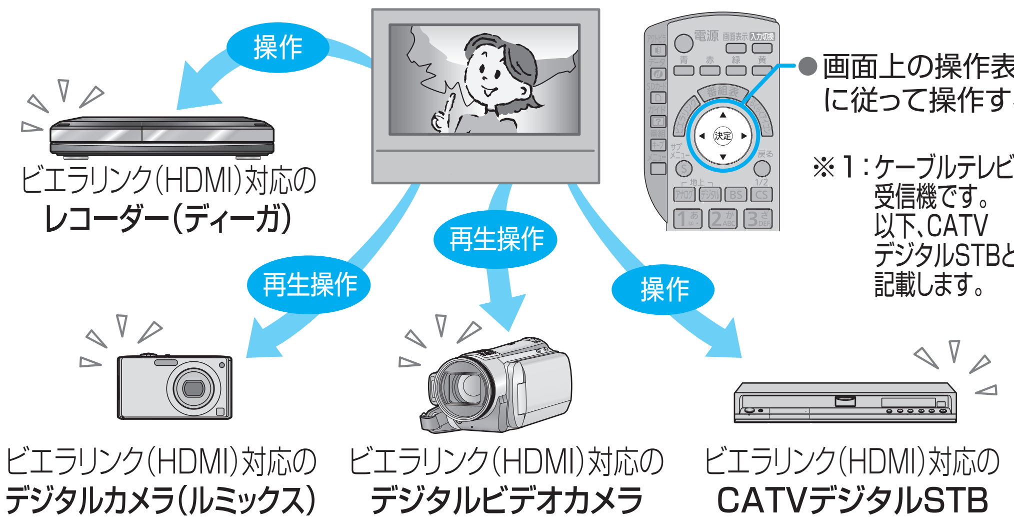
●レコーダー(ディーガ)にディスクをセットすると、自動的に本機の電源が入り再生開始(再生専用DVDディスクのみ)

接続した機器を本機リモコンで操作する

- レコーダー(ディーガ)
- CATVデジタルSTB(セットトップボックス)
- デジタルビデオカメラ
- デジタルカメラ(ルミックス)

詳しくは、62～67ページ、および各接続機器の取扱説明書を参照ください。

レコーダー(ディーガ)、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ(ルミックス)、CATVデジタルセットトップボックス※1を本機に接続すると、本機のリモコンで基本的な操作ができます。



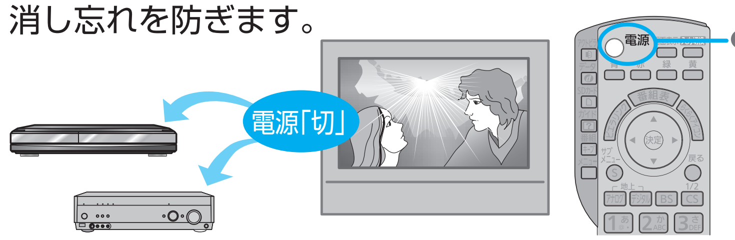
●画面上の操作表示に従って操作する

※1：ケーブルテレビの受信機です。以下、CATVデジタルSTBと記載します。

ボタン1つで電源一斉「切」

(詳しくは ☞101ページ)

本機、レコーダー(ディーガ)、AVアンプを使用中、本機の電源を「切」にすると同時に、すべての機器の電源も「切」になり消し忘れを防ぎます。



●電源を押して、本機の電源を「切」にする
▶すべての機器の電源も「切」になります。

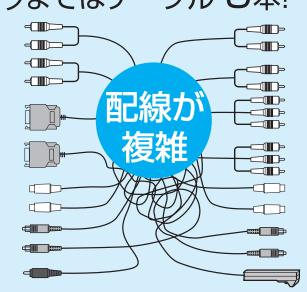
また、使っていない機器の電源を自動で「切」にしたり(こまめにオフ)、待機電力最小モードに自動で切り換えること(ECOスタンバイ)※2もできます。

※2：どのモードに切り換わるかは、接続機器側の設定によります。ビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応している機種のみ対応。

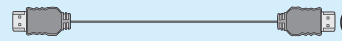
■ビエラリンク(HDMI)の接続

接続カンタン! 配線スッキリ!

今まではケーブル 9本! ※3



■ビエラリンク(HDMI)なら…ケーブルたった１本!



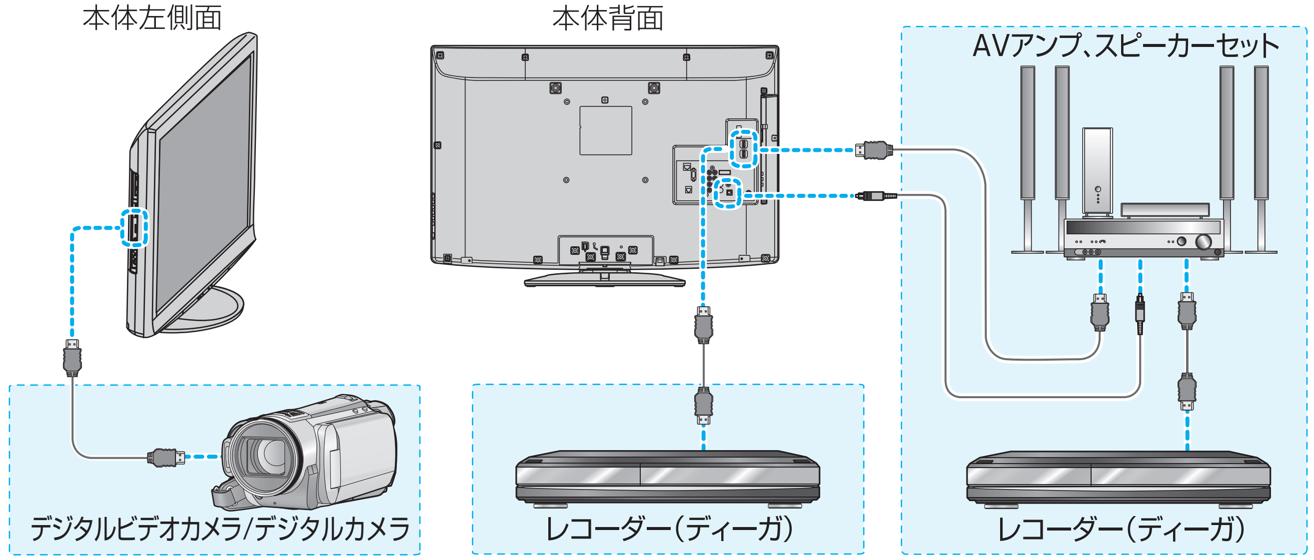
(AVアンプとの接続では、HDMIケーブルと光デジタルケーブルの2本必要です。)

■レコーダー(ディーガ)、AVアンプとの接続時でも…

ケーブルたった３本! (HDMIケーブル×2 光デジタルケーブル×1)

※3：レコーダー(ディーガ)、AVアンプを接続した場合(録画予約用のIrシステムケーブルを含む)

接続例

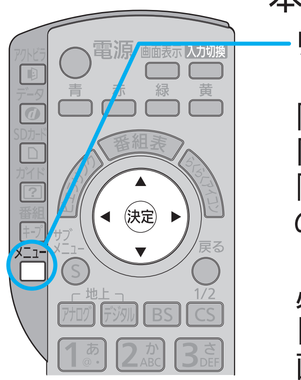


■詳しい接続は(☞98～100ページ) ●本機やレコーダー(ディーガ)へのアンテナの接続は別途必要です。

■ビエラリンク(HDMI)の設定

ビエラリンク(HDMI)を使うには、本機や接続機器の設定が必要です

本機の設定



リモコンの「メニュー」ボタンを押す
▼
「設定する」→「初期設定」→「接続機器関連設定」→「ビエラリンク (HDMI)設定」の順に選択する
▼
必要に応じて「ビエラリンク(HDMI)設定」画面の項目ごとに設定する

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ	しない	
電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大
テスト(ディーガ電源オン)		
テスト(ディーガ電源オフ)		
バージョン	ビエラリンク(HDMI) Ver.4	

「する」に設定してください。(ビエラリンク(HDMI)制御)

必要に応じて設定してください。(電源オン連動～ディーガの操作)

詳しい説明は(☞101～103ページ)
接続機器の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

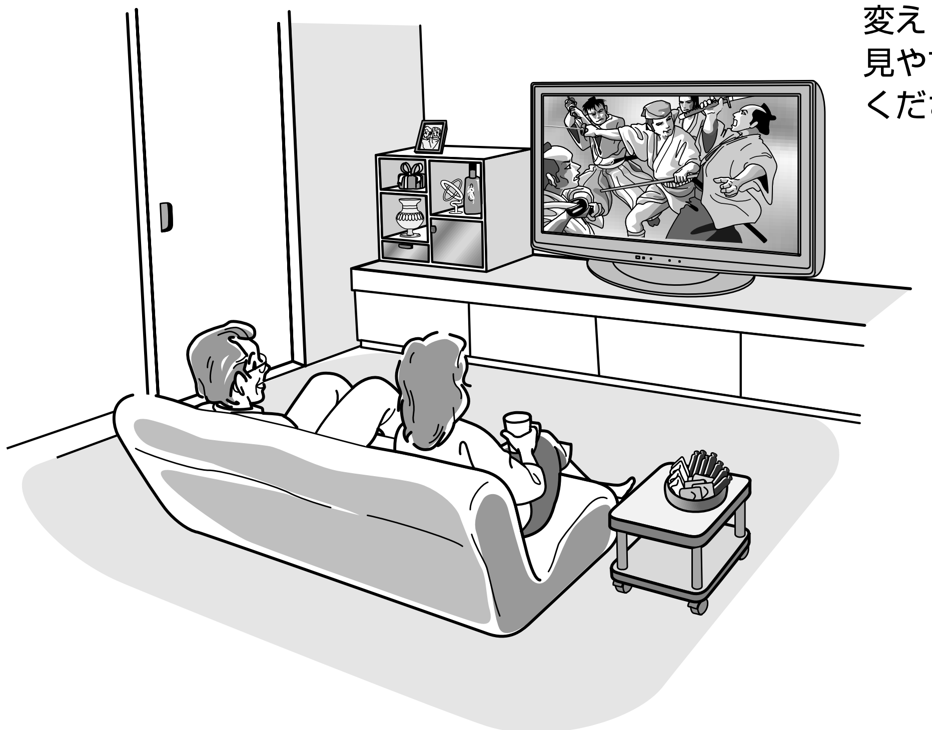
■ビエラリンクのQ&A (☞130ページ)

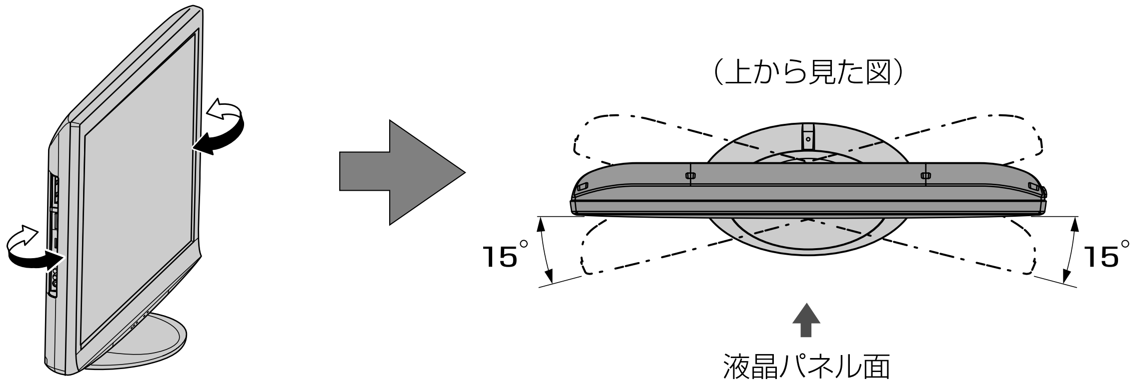
ビエラリンク(HDMI)を使うときの参考、疑問などについて記載

設置について

■本機（スタンド付）の設置

ローボードや棚、ラックなどに設置した後でも、左右に角度を変えられます。
見やすい角度に合わせてお使いください。





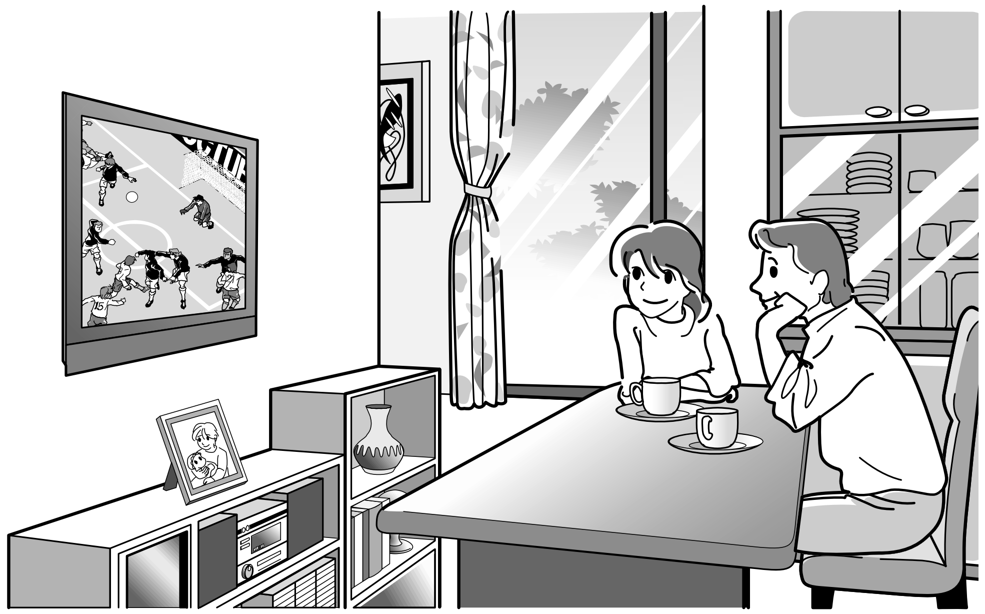
お願い

●テレビ本体を左右いっぱいに回転しても、テレビ台などからはみ出さないように設置し、回転範囲内に手や物を置かないでください。
●スタンドをご使用の際は、回転時に電源コードや接続コードが断線しないように、余裕をもって配線してください。

設置オプションについて（別売品）

別売の壁掛け金具を取り付けて壁掛け設置することができます。
本機を設置される前に、お求めの販売店にご相談ください。

■壁掛け設置するとき（壁掛け金具） 見やすい角度に合わせて、テレビを設置できます。



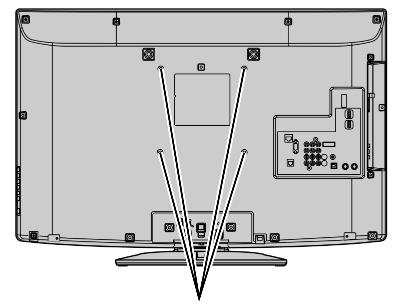
品　番

TY-WK3L2R （2009年1月現在）
●37V型・32V型共用です。
角度を0°（垂直）、下向き5°、10°、15°、20°に変えられます。

お願い

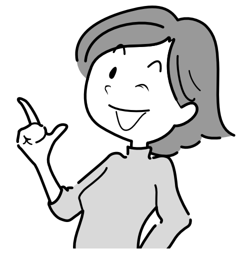
●壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
●本機に専用壁掛け金具（別売品）を取り付ける際は、専用壁掛け金具に付属の取り付けねじをご使用ください。
●取り外した部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保存してください。
●一部のHDMIケーブル（PR-CDHG80［8m］、PR-CDHG100［10m］）や先端部が長いパソコン用のミニD-sub15Pケーブルを使用時は、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。
このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。

<本体背面>



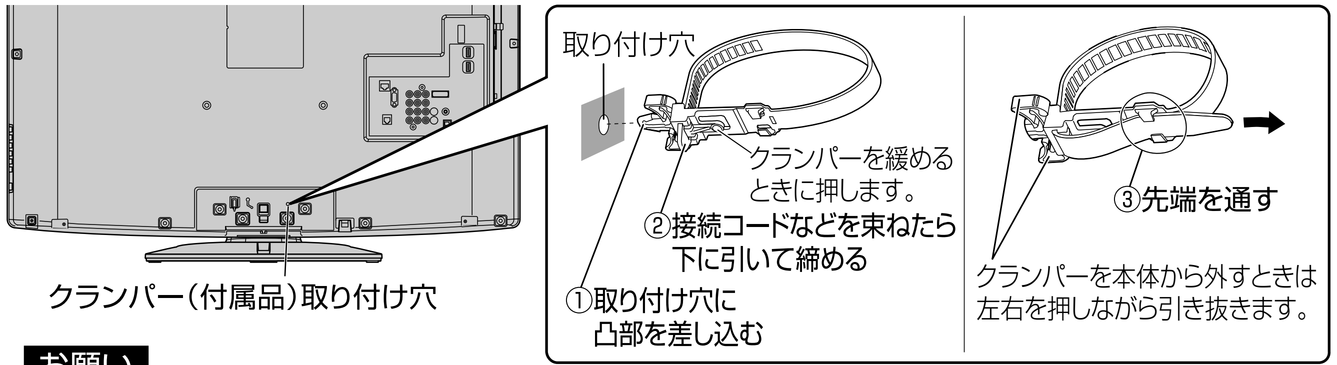
専用壁掛け金具取り付け用ねじ穴
（イラストはTH-L37G1です。）

ご使用の前に



ケーブル配線処理について

本体背面にクランパーを使ってアンテナ線、接続コードを束ねてください。



お願い

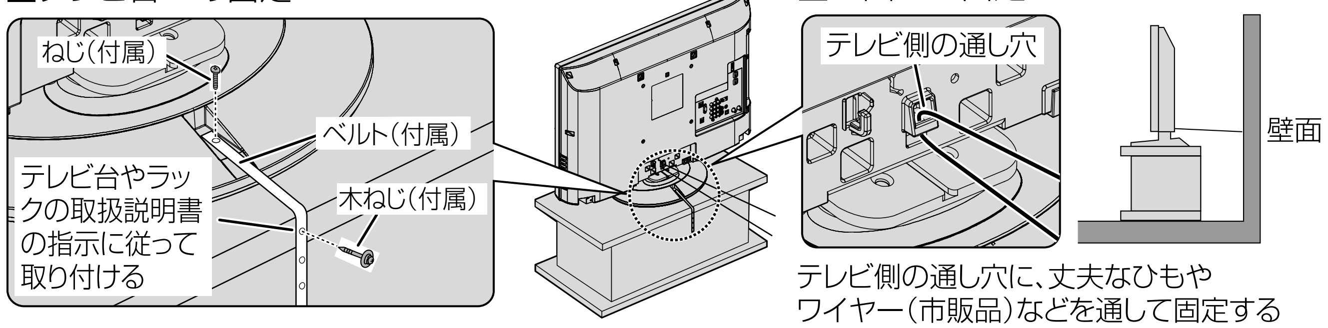
●画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れる恐れがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。
転倒・落下防止部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。

テレビ台への固定と壁面への固定の両方を行ってください。

■テレビ台への固定　　■壁面への固定



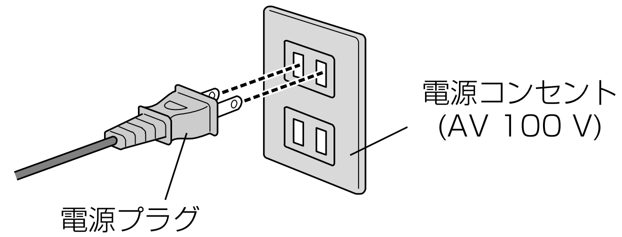
テレビ側の通し穴に、丈夫なひもやワイヤー（市販品）などを通して固定する

お願い

●ひもやワイヤーは、本体が回転できるように取り付けてください。

電源プラグについて

本機にアンテナや外部機器をすべて接続した後、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。



ご使用の前に（その他の項目）

デジタル放送を見るためには

☞ 74ページ

B-CASカード（付属品）の挿入が必要です。

※カードの矢印表示面を背面側に向けて挿入してください。（☞ 74ページ）

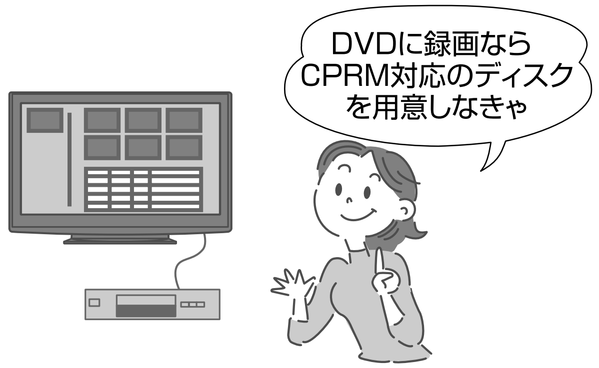


デジタル放送※のデジタル録画は

☞ 46、136ページ

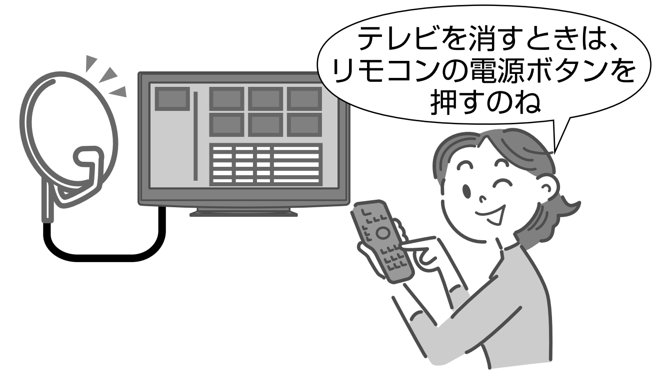
CPRMに対応したデジタル機器と記録メディアの組み合わせで、「1回のみ録画可能」です。

※ただし、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられている場合。



テレビを見終わったら
リモコンで電源を切る

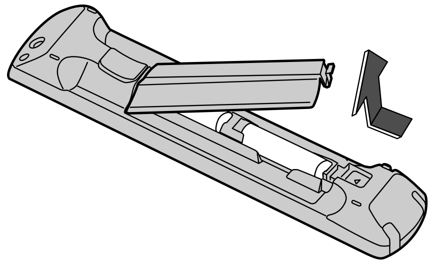
最新の番組表や放送ダウンロードの受信のために、本体で電源を切らないことをおすすめします。（☞ 93、128ページ）



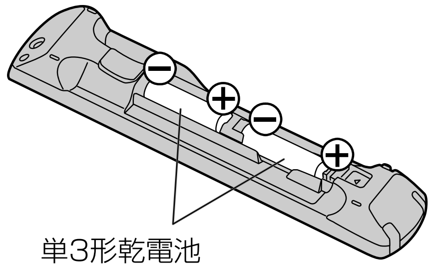
各部のはたらき　リモコン

■リモコンに電池を入れる

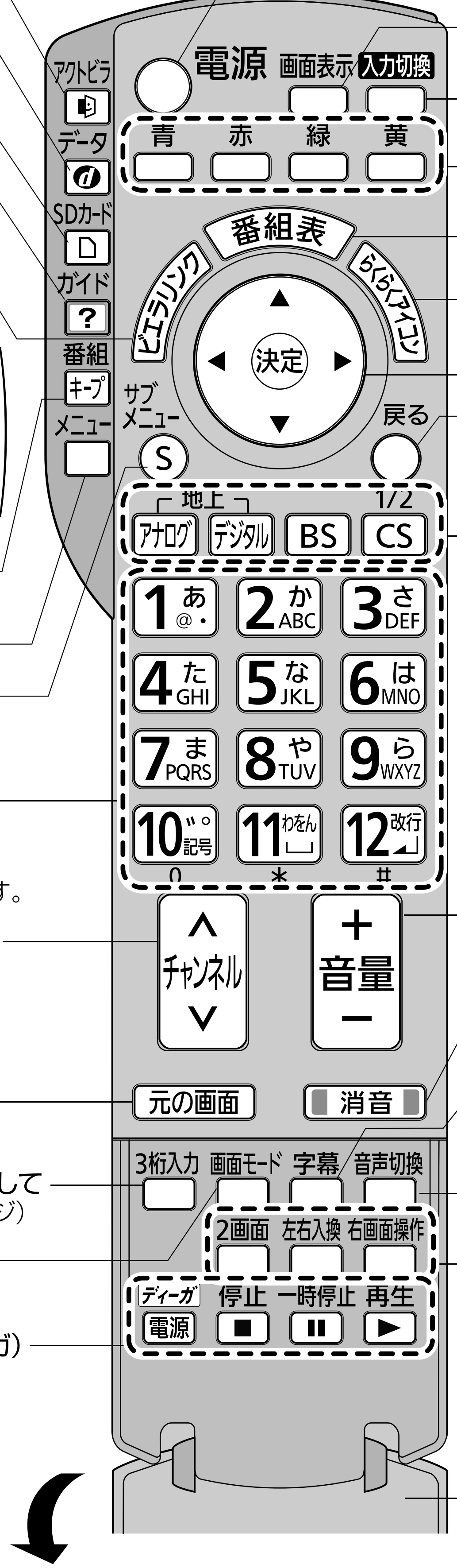
① ふたを開ける。



② 電池を⊖側から入れ、
ふたを閉める。



単3形乾電池
（付属品）



アクトビラを使うとき
（☞ネットワーク編）

データ放送を使うとき
（☞26ページ）

SDメモリーカードを使う
（☞58ページ）

本機の使いかたなどを
知りたいとき
（☞16ページ）

「ビエラリンク」メニュー
を表示する
（☞62～67ページ）
（ディーガの操作一覧、
見ている番組を録画、
録画を停止する、
番組キープ/再生、
音声をAVアンプから出す
など）

番組キープ機能を使う
（☞62ページ）

メニュー画面を表示する

見ている画面に関連した
機能を表示
（☞26ページ）

放送のチャンネルを選ぶ
数字や文字入力を行う
押すと、選んだ放送を示す
放送切換ボタンが点滅します。

チャンネルを順送りで選ぶ

メニュー画面などから
テレビ放送の画面に戻る

3桁チャンネル番号を入力して
選局するとき（☞22ページ）

画面のサイズを変える
（☞48ページ）

当社製レコーダー（ディーガ）
を操作する
（☞68ページ）

本体の電源「入」状態で、
電源を「入」「切」する

見ている番組のタイトルなどを表示する
（☞22ページ）

ビデオやDVDなどを見るとき
（☞22ページ）

画面上で指示が出たときに使う
（青、赤、緑、黄のカラーボタン）

番組表を表示する
（☞28ページ）

らくらくアイコンを表示する
（☞右欄）

画面上で選択や決定をする

1つ前の画面に戻る

放送を切り換える（放送切換ボタン）
- 押すとボタンが点滅します。
- 数字や文字入力時に 1 ～ 12 を押したときも点滅します。
- 放送切換は、前回選んだボタンを記憶しています。
- 使わない放送を操作できないようにすることができます。（地上アナログ、BS、CSのみ）（☞86ページ）

音量を調整する
- 押すと画面の下に音量表示します。

音を消す
- もう一度押すと解除します。

デジタル放送で字幕がある場合に
字幕の「オン」「オフ」を切り換える
（☞54ページ）

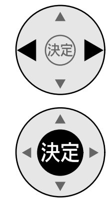
ステレオ/2カ国語など音声を切り換える
（☞52ページ）

2画面の操作（☞48ページ）
- 2画面にする
- 2画面の左右を入れ換える
- 2画面の右画面を操作する

ふた（開けた状態）

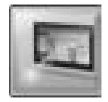
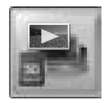
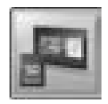
■「らくらくアイコン」を表示する





左右で選び、

「決定」を押す

 ディーガ録画一覧	ビエラリンクで接続したレコーダー（ディーガ）の録画一覧を表示します。（ビエラリンク（HDMI）Ver.3以前のレコーダー（ディーガ）を接続したときは「ディーガ操作一覧」と表示します。）
 ジャンル検索	ジャンル検索の画面を表示します。（☞28ページ）
 注目番組	放送局おすすめの注目番組一覧を表示します。（☞32ページ）
 スライドショー	SDメモリーカード内の静止画を順番に表示します。（☞58ページ）（DPOF自動再生ファイルがあるときは、まず再生方法を選ぶ）
 ビデオ一覧	SDメモリーカード内のビデオ映像の一覧を表示します。（☞58ページ）

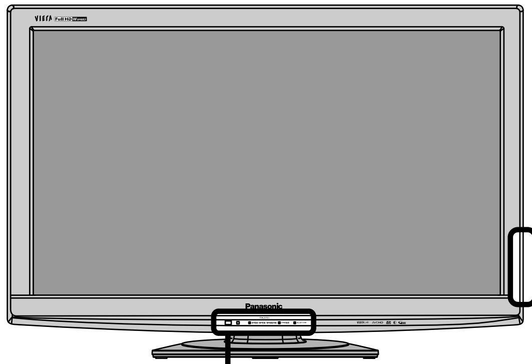
お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

各部のはたらき

本体前面

（イラストはTH-L37G1）



本体の電源ボタンは右側面にあります。
（説明は下記の「本体右側面」参照）

電源ランプ
●リモコンで、電源「入」→緑色
●リモコンで、電源「切」→赤色
（・電源オン連動「する」設定中
・予約録画実行中
・クイックスタート「入」設定中、電源を「切」にして24時間以内　→橙色）
●本体で、電源「切」→消灯



オンタイマーランプ
●オンタイマー設定中
→橙色

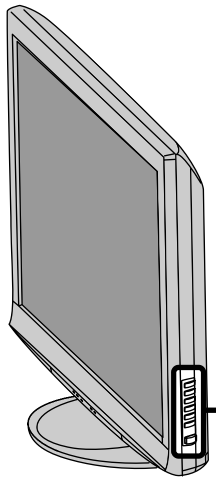
リモコン受信部
正面で約7m以内
（左右各約30°
上下各約20°）

データ取得ランプ
●放送局から番組表や情報を
電波を通して受信中→橙色

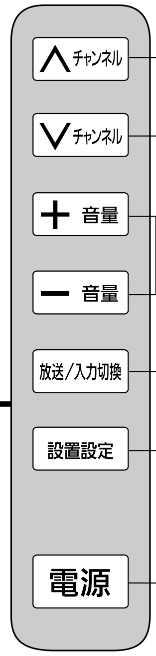
明るさセンサー
●明るさオート「オン」のときに、まわりの明るさに応じて見やすい映像に自動調整するための受光部
●明るさセンサーの前に物などを置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

本体右側面

（イラストはTH-L37G1）



右側面操作部



チャンネルを順に選ぶ

音量を調整する

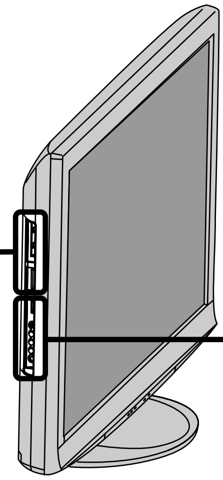
各種放送の切り換えや、ビデオなどを見るとき（☞ 22ページ）

本体でかんたん設置設定をする
（☞ 76ページ）

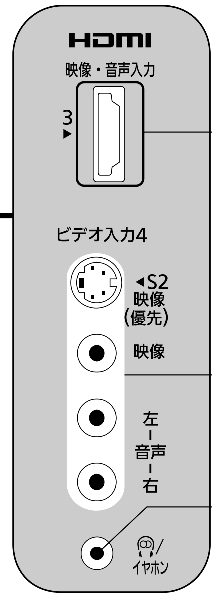
電源ボタン
電源を、「入」「切」する
（「入」でリモコン操作が可能）

本体左側面

（イラストはTH-L37G1）



左側面端子部



●HDMI 3端子
（☞ 94、96～100ページ）

●ビデオ入力4
（☞94、110ページ）

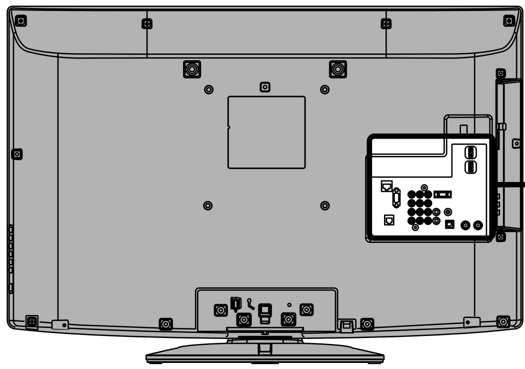
●イヤホン/ヘッドホン端子
（ステレオ:M3プラグ）
●ビエラリンク（HDMI）で AVアンプから音声を出しているときは音は出ません。
●2画面時は左画面の音声が出ます。
［音声出力を「右画面」に設定中は、右画面の音声が出ます。（♪マークを表示）］

●B-CASカード挿入口
（☞74ページ）
付属のB-CASカードを挿入します。

●SDメモリーカード挿入口
（☞57ページ）

本体背面

（イラストはTH-L37G1）



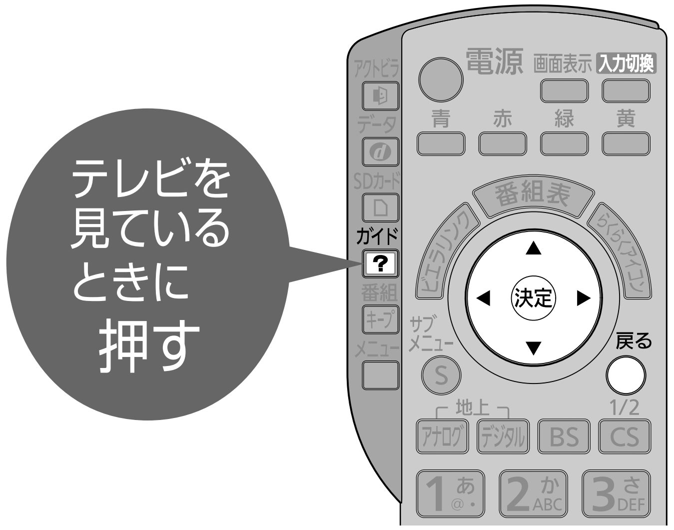
●背面端子部
（☞94ページ）

電子説明書の使いかた

■本機は電子説明書（VIERA（ビエラ）操作ガイド）を内蔵しています。

テレビの操作がわからないとき、ガイド［?］を押すだけで、取扱説明書の内容を画面で見ることができます。

●トップページから、見たい情報を探す（☞右ページ）



ポイント

ガイド［?］で開く／閉じる

（決定）で選ぶ

戻る（○）で1つ戻る

※電子説明書の表示中は上記のボタン以外を、押さないでください。
もし、メニュー画面が表示された場合は、［元の画面］を押して、電子説明書を終了して最初からやり直してください。

● 電子説明書を見て、すぐに実際の操作をする（☞18ページ）

● 実際の操作中、今の操作説明を見る（☞18ページ）

● 紙の説明書のさらに詳しい説明を見る（☞19ページ）

■電子説明書のトップページと1つ下のページでは、音声ガイドで説明書の使いかたを案内します。

● 音声ガイドを止めたいときは（☞右ページ）

● 音声ガイドを聞き直したいときは［12］を押す

チャンネルボタン

※「音声ガイドを止める」が選択されたとき（☞右ページ）は、聞き直しはできません。
※音声ガイドはトップページのみ聞き直しができます。

トップページから見たい情報を探す

1 テレビ画面のときに
ガイド［?］ボタンを押す
●もう一度押すとテレビ画面に戻る

2 「目的でさがす」「言葉でさがす」「困ったとき」から調べかたを選ぶ



●音声ガイドを止めたいときは「音声ガイドを止める」を選び「決定」

目的でさがす





●説明手順があるときは、リモコンの数字ボタンを押して項目を選ぶこともできます。（「■準備」などの手順番号のない項目を選ぶには、リモコンの［12］を押す。）

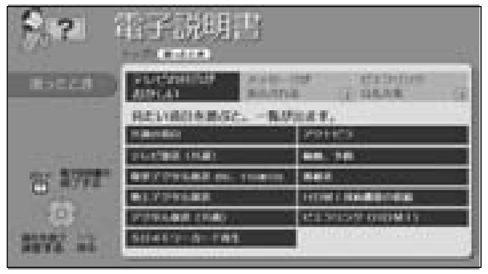
言葉でさがす



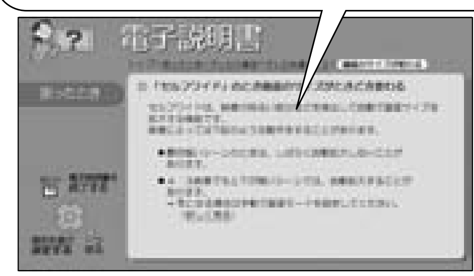
探したい言葉の行を選ぶと、その行の一覧を表示します。

●リモコンの数字ボタンを押して「行」や「英」「数」を選ぶこともできます。

困ったとき



紙の説明書（本書）（☞122ページ～）の「故障かな!?」「ビエラリンクQ&A集」「メッセージ一覧」と同様の内容が見られます。



電子説明書の使いかた(つづき)

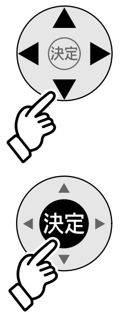
電子説明書(VIERA操作ガイド)を見て、実際に操作してみたいときは
●テレビ画面上の「実際にやってみる」ボタンを選んで決定すると、実際の操作画面に切り換わります。

テレビを操作していて、途中でわからなくなったときは
●リモコンの ガイド[?] を押すと、今の画面に関連した説明を表示します。

紙の説明書(本書)を読んでいて、さらに詳しい説明が見たくなったときは
●電子説明書のトップページで、本書に記載されている3桁の番号を押すと、紙の説明書と関連した、さらに詳しい説明を表示します。

説明を見て実際に操作してみる

「実際にやってみる」を選び「決定」を押す

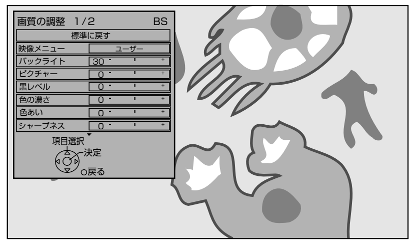


電子説明書



例：画質調整の説明

実際の操作画面



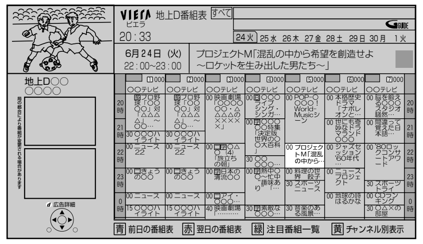
「画質の調整」画面

操作がわからなくなったとき

ガイド[?] を押す

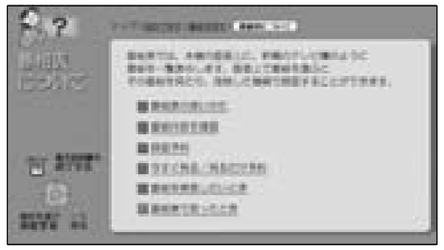


実際の操作画面



例：番組表を出しているとき

電子説明書



番組表に関連した説明

■ガイドマークについて
●本書の説明中に右のマーク(ガイド)がある操作をしているときに ガイド[?] を押すと、今の操作に関連した説明を表示します。

エラーメッセージが表示されたとき

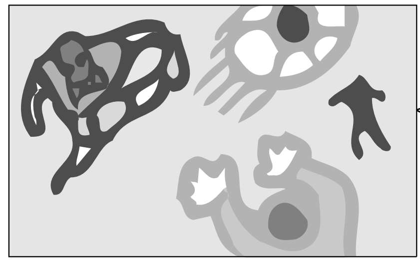
●エラーメッセージに [?] マークが表示されているときに ガイド[?] を押すと、詳しい説明を表示します。
(☞132ページ)

紙の説明書のさらに詳しい説明を見たいとき

1 テレビ画面のときに、
ガイド[?] を押す



テレビ放送の画面



テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、[元の画面] を押して、テレビ画面の状態に戻してから ガイド[?] を押してください

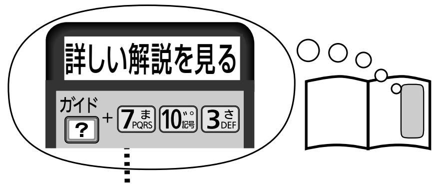


電子説明書のトップ画面を表示

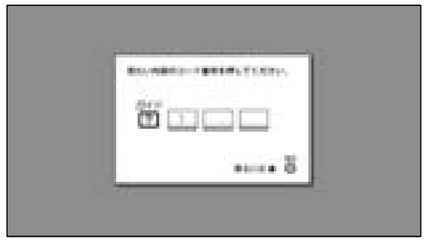
2 本書に記載の
22〜71ページの3桁の番号を押す



7 → 10 → 3 例：703と押す



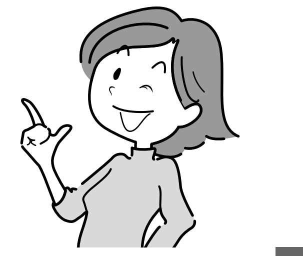
3桁の番号



お知らせ
●3桁番号は123・126ページにも記載しています。

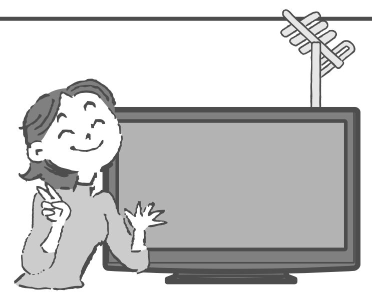
■やり直すとき
戻る ◯ を押す(1つ前の画面に戻る)

本機で楽しめる放送



B-CASカードを挿入しないとデジタル放送は映りません。

地上デジタル

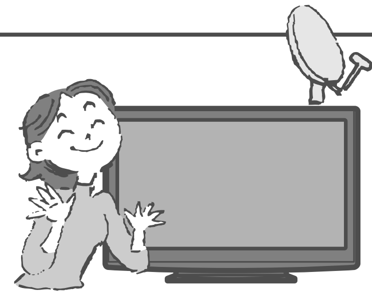


●UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2009年1月現在）
※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

お問い合わせ先

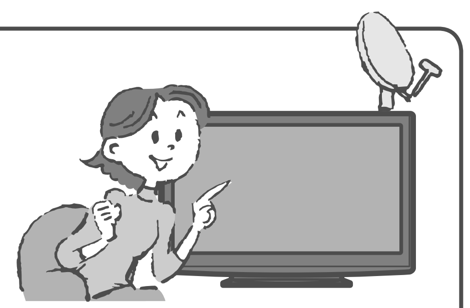
●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
0570−07−0101（ナビダイヤル）（PHS・IP/ひかり電話のかたは**03−4334−1111**）
受付時間 月〜金/9：00 〜21：00、土・日・祝/9：00〜18：00

BSデジタル



●放送衛星（ブロードキャスティング・サテライト Broadcasting Satellite）を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOW（ワウワウ）などの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

110度CSデジタル



●通信衛星（コミュニケーションズ・サテライト Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が必要です。「スカパー！ e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先

●「スカパー！ e2」カスタマーセンター
0570−08−1212（ナビダイヤル）（PHS・IP電話のかたは**045−276−7777**）
受付時間 10：00 〜20：00（年中無休）
●「スカパー！ e2」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

地上アナログ

●従来からのVHF・UHF放送のことです。（2009年1月現在）
●地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。
●地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。
●本機では、地上アナログ放送で、電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）はご覧いただけません。

●BSアナログのWOWOW（ワウワウ）はBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「スカパー！ e2」として110度CSデジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されている場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送の内容は異なりますので、再契約をされる場合はよくご確認ください）

デジタル放送には3種類の放送（サービス）があります

テレビ放送



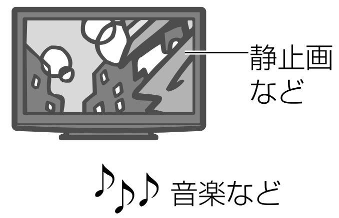
従来からのテレビ放送です。

データ放送



お住まいの地域の生活情報やクイズ、天気予報、ニュースなどの放送です。

ラジオ放送



音声を主とした放送です。

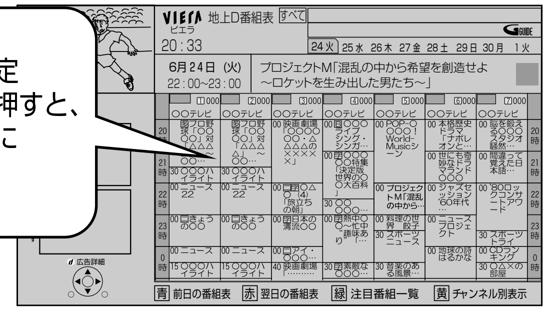
●テレビ放送で データ を押すと、データ放送を表示できる場合があります。（☞ 26ページ）この場合、現在のテレビ放送に関連した情報などが表示されます。
●番組表からの選局やチャンネル選局でご覧いただけるデータ放送では データ の操作は不要です。
●ラジオ放送は、放送を休止しています。（2009年1月現在）



基本的な画面操作について

画面上で選ぶとき





※上記のように取扱説明書上では、押すボタンを拡大しています。

■やり直すとき

戻る
1つ前の画面に戻る

元の画面
テレビ放送の画面に戻る

■数字などを入力するとき

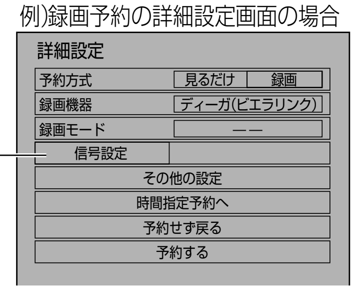
リモコンボタン	入力文字（表示内容）
1 〜 9	：1〜9
10	：0
11	：＊
12	：＃

※この取扱説明書でのイラストや画面は、イメージであり、実際とは異なる場合があります。

画面上で灰色表示されている項目の設定や選択はできません。取扱説明書の説明用画面イラストでは灰色表示の区別はしていません。

アナログ放送時、実際の画面では灰色表示（設定できない項目です）

例）録画予約の詳細設定画面の場合

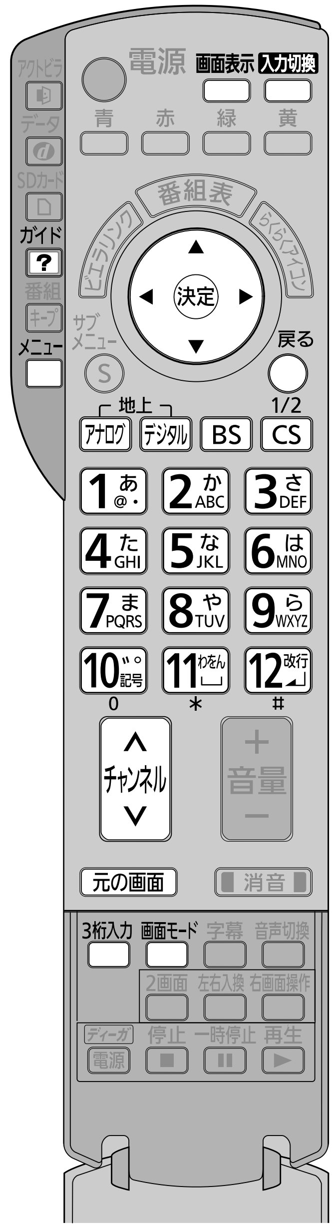


テレビを見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷		詳しい解説を見る	関連情報
テレビ放送を見る ボタン選局	地上 [アナログ] [デジタル] [BS] [CS] 1/2 で放送の種類を選ぶ ▶	[1] ～ [12] で選局	ガイド [?] + [7][4][1]	地上デジタルの枝番選局について ガイド [?] + [7][4][10] チャンネルなどの設定は（☞85～87ページ） リモコンボタンの出荷設定について（☞134ページ）
順送り選局		[チャンネル ∧∨] で選局		
3桁のチャンネル番号を入力して選局する （デジタル放送時のみ） 3桁入力	3桁入力 [ ] を数回押して入力対象の放送（地上D/BS/CS）を選ぶ ▶	見たい局の3桁の番号を入力 （例：101チャンネルの場合） [1] [10] [1] 5秒以内 5秒以内	ガイド [?] + [7][4][3]	
ビデオやDVDを見る 入力切換 コード類がしっかり差し込まれていないと切り換わりません	入力切換 [ ] を押す 「入力切換」画面を表示 ▶ [決定] 切り換えたい入力を選び決定 （パソコンの場合は、PCの項目を選び決定） ●「入力切換」を数回押して切り換えることもできます。（数秒後、自動的に一覧表示が消えます） ●数字ボタンを押して、直接選ぶこともできます。	ビデオデッキやDVDレコーダー（接続している機器）を操作する ・ディーガを本機リモコンで操作する場合は（☞68ページ）	ガイド [?] + [7][5][10]	ビデオ入力表示書換（☞109ページ） 入力自動スキップ（☞111ページ） 接続（☞108ページ）
パソコンを使う		パソコンを操作する	ガイド [?] + [7][5][3]	画面モードを切り換えるには 画面モード [ ] を押す （押すたびに切り換わる） 接続／設定（☞107ページ）
タイトルなどを表示する 画面表示	画面表示 [ ] を押す	■消すとき 画面表示 [ ] を数回押す	ガイド [?] + [4][5][1]	
一つ前の画面に戻る 戻　る	戻る ◯ を押す　メニュー画面から一つ前の画面に戻る			
テレビ放送の画面に戻る 元の画面	[元の画面] を押す　メニュー画面などから、テレビ放送の画面に戻る			
見ている番組の内容を見る 番組内容	番組を見ているときに メニュー [ ] を押す ▶ [決定] 「番組の内容を見る」を選び決定	■確認したら [元の画面] を押す	ガイド [?] + [4][5][4]	アイコンについて（☞120ページ）



タイマー機能を使う/ネットで使い方ガイド　を使う

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

タイマー機能を使う

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

メニューを押す ▶ 「タイマー」を選び決定

ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。

タイマーで自動的に電源を入れる

オンタイマー

「オンタイマー」を選び決定 ▶ 項目を選び設定する ▶

オンタイマー	「切」状態で、下記の項目を設定してから「入」にします。
時刻	電源を入れたい時刻
音量	電源「入」時の音量
放送／入力	電源「入」時の放送／入力
チャンネル	電源「入」時のチャンネル

タイマーで自動的に電源を切る

オフタイマー

「オフタイマー」を選び決定 ▶ 項目を選び決定

30分後にオフ / 60分後にオフ / 90分後にオフ	30、60、90分後に本体の電源を「切」にします。
切	オフタイマー機能を使わないとき

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

詳しい解説を見る

ガイド ? + 8 4 6

お知らせ

ガイド ? + 8 4 5

ガイド ? + 3 5 8

関連情報

オンタイマー機能をご利用になるには、デジタル放送用アンテナの接続が必要です。(☞72ページ)

ネットで使い方ガイドを使う

手順 ▷▷▷

まずご確認ください

ネットワークの接続と設定（☞ネットワーク編）

「ネットで使い方ガイド」を使う

ネットで使い方ガイド

メニューを押す ▶ 「ネットで使い方ガイド」を選び決定
→ネットで使い方ガイドの画面を表示します

ガイド

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

詳しい解説を見る

関連情報

- ●ビエラリンク(HDMI)対応の接続機器や記録されたSDメモリーカードから機器の品番情報などを取得し、それに基づいてインターネットから機器の使いかたなどのお役立ち情報がご覧になれます。（ご覧になれる機器は、当社製の機器に限ります。）
- ●「ネットで使い方ガイド」をご覧になるには、ブロードバンド環境が必要です。詳しくはネットワーク編をご覧ください。

（2009年1月現在）

省エネ設定／データ放送を見る／サブメニュー

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

省エネ設定

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする：メニューを押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「初期設定」を選び決定 ▶ 「省エネ設定」を選び決定

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

省エネ設定		
無信号自動オフ	切	入
無操作自動オフ	切	入
消費電力	標準	減

初期設定-省エネ設定画面
※白抜きは工場出荷時の設定

	手順			詳しい解説を見る	関連情報
地上アナログ放送やビデオが終了して10分後に自動的に電源を切る（無信号自動オフ）	「無信号自動オフ」を選ぶ	▶ 「入」を選ぶ	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 8 3 7	電源が切れる3分前から点滅表示します
3時間以上操作をしないとき自動的に電源を切る（無操作自動オフ）	「無操作自動オフ」を選ぶ	▶ 「入」を選ぶ		ガイド ? + 8 3 8	電源が切れる3分前から点滅表示します
画面の明るさを抑えて消費電力を低減する（消費電力）	「消費電力」を選ぶ	◀ ▶ 設定する		ガイド ? + 8 3 9	「標準」標準的な明るさ 「減」消費電力を低減

データ放送を見る

手順 ▷▷▷

	手順				詳しい解説を見る	関連情報
データ放送の番組を確認する	メニュー デジタル放送を視聴中に押す	▶ 「番組の内容を見る」を選び決定	▶ ●下記アイコンが表示された番組はデータ放送があります。（アイコンが表示されない番組もあります） データ ＋d テレビ　d テレビ　＋d ラジオ　d ラジオ	■確認したら 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 8 3	データ放送とは ガイド ? + 1 9 10
データ放送を見る（データ放送）	データ d デジタル放送を視聴中に押す	▶ 見たい項目を選び決定		■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 8 4	

サブメニュー

手順 ▷▷▷

	手順		詳しい解説を見る	関連情報
ワンタッチで機能を呼び出す（サブメニュー）	サブメニュー S を押す ●今の画面に関連した機能が表示されます。	▶ 項目を選び決定	ガイド ? + 4 6 10	

番組表から見る／お好みの番組　を探す

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

番組表から見る

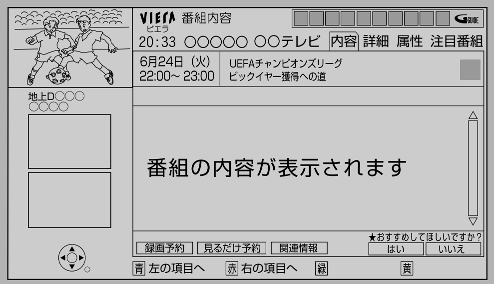
手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

番組表を押す　ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。 ▶ 地上（アナログ デジタル） BS 1/2 CS 放送を選ぶ　決定 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示）

詳しい解説を見る：ガイド?+7 10 3

関連情報：番組表が映らないときは（☞128ページ）



番組内容

放送中の番組を見る　今すぐ見る

決定 「今すぐ見る」を選び決定
→選んだ番組が映る

関連情報：番組表の見かたについて　ガイド?+5 10 1

放送予定の番組を見る　見るだけ予約

決定 「見るだけ予約」を選び決定

●テレビを見ているときに、予約時刻になると、予約番組に切り換わります。

詳しい解説を見る：ガイド?+9 2 10

お好みの番組を探す（検索して探す）

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

メニューを押す ▶ 決定 「番組を探す／予約する」を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド?+7 10 10

関連情報：「注目番組」について（☞32ページ）

今の時間帯で放送されている番組から探す　今放送中から

決定 「今放送中から」を選び決定　ガイド ▶ 決定 番組を選び決定
→選んだ番組が映る

詳しい解説を見る：ガイド?+10 2 1

おすすめされる番組を一覧で見る　おすすめ一覧

決定 「おすすめ一覧」を選び決定　ガイド

購入後、初めて「おすすめ一覧」を選んだときは、おすすめ通知の設定画面が表示されます。

詳しい解説を見る：ガイド?+10 3 1

映画やスポーツなどジャンルで探す　ジャンル別に

決定 「ジャンル別に」を選び決定　ガイド ▶ 決定 メインジャンルを選び決定 ▶ 決定 サブジャンルを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド?+10 6 1

関連情報：番組を見たいとき　ガイド?+5 1 10

キーワードで探す　キーワードで

決定 「キーワードで」を選び決定　ガイド ▶ 決定 カテゴリーを選び決定 ▶ 決定 キーワードを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド?+10 7 1

出演者などの人名で探す　人名で

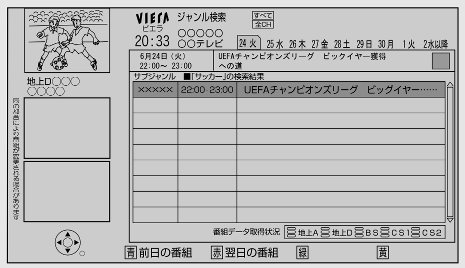
決定 「人名で」を選び決定　ガイド ▶ 決定 カテゴリーを選び決定 ▶ 決定 読みの最初を選び決定 ▶ 決定 名前を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド?+10 8 1

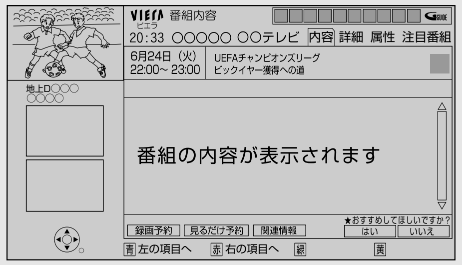
地上アナログ放送の番組表や検索機能をご利用になるときも、衛星アンテナの接続が必要です。本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組を探します。そのため、実際の放送に該当する(キーワードや人名)項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。

検索結果から

ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。



決定 番組を選び決定 ▶ 選んだ番組の内容を表示



録画予約したいときは36ページの手順で録画予約する

お好みの番組を探す

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

お好みの番組を探す（関連情報で探す）

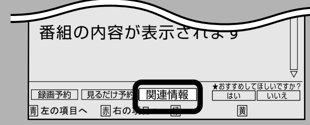
手順 ▷▷▷

	詳しい解説を見る	関連情報

まず次の操作をする

番組表を押す → 地上（アナログ／デジタル）／BS／CS（1/2）放送を選ぶ → 決定 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示） → 決定「関連情報」を選び決定 → 関連情報メニューを表示

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。



「番組内容」画面

関連情報
- 注目番組一覧から探す
- 放送中止時の番組を探す
- 関連番組を探す
- 人名で番組を探す
- ジャンルで番組を探す
- キーワードで番組を探す

情報のない項目は表示しません。

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 10
お知らせ ガイド ? + 7 2 5

注目番組の一覧から探す
注目番組一覧から探す

決定「注目番組一覧から探す」を選び決定 ガイド → 決定「注目番組一覧」から番組を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 8

放送中止時の代替番組を探す
放送中止時の番組を探す

決定「放送中止時の番組を探す」を選び決定 ガイド

野球中継番組が、雨天で中止になった場合などの番組情報が表示されます。

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 1

選んでいる番組に関連した番組を探す
関連番組を探す

決定「関連番組を探す」を選び決定 ガイド → 決定「関連番組」メニューから番組を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 2

出演者などの人名で探す
人名で番組を探す

決定「人名で番組を探す」を選び決定 ガイド → 決定 人名を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 5

映画やスポーツなどジャンルで探す
ジャンルで番組を探す

決定「ジャンルで番組を探す」を選び決定 ガイド → 決定 ジャンルを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 6

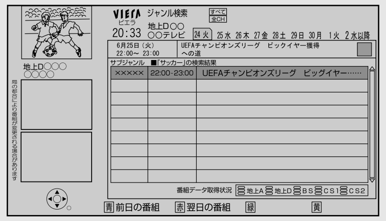
キーワードで探す
キーワードで番組を探す

決定「キーワードで番組を探す」を選び決定 ガイド → 決定 キーワードを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 7

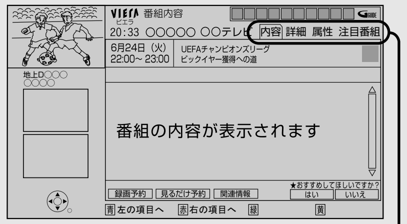
検索結果から

（例：ジャンル検索）



決定 番組を選び決定

選んだ番組の内容を表示



情報のない項目（タブ）は表示しません。

録画予約したいときは36ページの手順で録画予約する

（番組内容が表示されれば、番組表に載っていない番組でも録画予約できます。）

※「注目番組一覧」から探した番組が9日以上先の番組の場合は、予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。

関連情報：番組を見たいとき ガイド ? + 5 1 10

●「関連情報」メニューからは、地上デジタル放送局やBSデジタル放送局から送られてきたデータに基づいて、番組が検索できます。データを受信するためには、地上デジタルアンテナ、BS/CSデジタルアンテナの接続（☞72ページ）が必要です。

お好みの番組を探す/広告の詳細を見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

注目番組とは…
放送局からの情報を元にGガイドが提供する最大1か月先までの番組情報を表示します。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

お好みの番組を探す（注目番組で探す）

手順 ▷▷▷ ｜ 詳しい解説を見る ｜ 関連情報

まず次の操作をする

［メニュー］を押す ▶ 「番組を探す/予約する」を選び決定

［ガイド］［?］を押すと、電子説明書でご覧になれます。

放送局おすすめの注目番組を探す

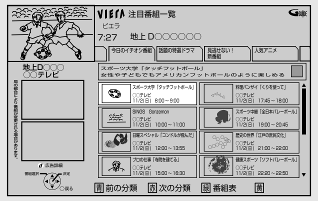
注目番組一覧

「注目番組一覧」を選び決定

→「注目番組一覧」を表示します。

「注目番組一覧」画面は以下のどちらかを表示します。
（表示する2種類の画面はGガイドが運用しています）

（サムネイル形式表示）



（リスト形式表示）



詳しい解説を見る：ガイド［?］＋［10］［1］［6］

●「注目番組」の情報は、地上デジタル放送局やBSデジタル放送局から送られてくるデータに基づいて表示されます。
データを受信するためには、地上デジタルアンテナ、BS/CSデジタルアンテナの接続（☞ 72ページ）が必要です。

広告の詳細を見る

手順 ▷▷▷ ｜ 詳しい解説を見る ｜ 関連情報

まず次の操作をする

［番組表］を押す ［ガイド］

広告の詳細を見る

広告の詳細を見る

［データ］番組表に広告が表示されているときに押す

→広告の詳細を表示します

■広告を切り換えるには
上下ボタンで選ぶ

■広告のページを送りたいとき
決定を押して上下ボタンで送る

■テレビの画面に戻るには
［元の画面］を押す

関連情報：広告に番組情報があるときは、36ページの手順で録画予約できます。

●お好みの番組を探す／広告の詳細を見る

おすすめ番組機能

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

おすすめ番組機能とは…
本機がお客様のお好みを学習して、おすすめの番組を一覧にしたり、番組の開始などを自動でお知らせします。 ガイド ? + 7 1 3

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

おすすめ番組機能を使う

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
通知されたおすすめ番組を見る おすすめ通知	決定 おすすめ通知を表示中に押す ★ おすすめ 決定 (おすすめ通知) ▶ 決定 おすすめ番組の紹介を表示中に押す →おすすめ番組に切り換わる ■おすすめ通知を消すには 戻る ◯ を押す	ガイド ? + 7 1 4	
「番組内容」画面から番組のお好みを登録するとき おすすめ学習	「番組内容」画面を表示中 決定 「★おすすめしてほしいですか？」の「はい」「いいえ」を選び決定 ■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 1 5	

おすすめ番組の設定を変える

	手順 ▷▷▷			詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニュー を押す ▶ 決定 「設定する」を選び決定 決定 「システム設定」を選び決定 決定 「おすすめ番組設定」を選び決定	ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。			
おすすめ番組機能の「オフ」「オン」を設定する おすすめ機能	決定 「おすすめ機能」を選ぶ ▶ 決定 設定する	オン おすすめ機能を使用する オフ おすすめ機能を使用しない	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 1 6	
番組開始時のおすすめ通知を設定する 番組開始時のおすすめ通知	決定 「番組開始時のおすすめ通知」を選ぶ ▶ 決定 設定する	オン 視聴中におすすめ通知をする オフ 視聴中におすすめ通知をしない		ガイド ? + 7 1 8	
選局操作時のおすすめ通知を設定する 選局操作時のおすすめ通知	決定 「選局操作時のおすすめ通知」を選ぶ ▶ 決定 設定する	オン 選局時におすすめ通知をする オフ 選局時におすすめ通知をしない			
おすすめ通知させたい番組の数を設定する 通知する番組の数	決定 「通知する番組の数」を選ぶ ▶ 決定 設定する	少ない 最大5番組前後まで通知 標準 最大10番組前後まで通知 多い 最大20番組前後まで通知		ガイド ? + 7 2 10	
おすすめして欲しい語句を登録する おすすめ語句一覧（新規登録）	決定 「おすすめ語句一覧」を選び決定 ▶ 緑 を押す	決定 「ジャンル」「出演者」「フリーワード」から選び決定 ▶ 決定 「おすすめする」「おすすめしない」を選び決定 ●ジャンル：メインジャンル/サブジャンルから選び決定 ●出演者：カテゴリー/読みの最初/名前から選び決定 ●フリーワード：文字を入力して「登録」を選び決定	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 10 5 10	フリーワードの文字入力についてはネットワーク編14ページに記載
おすすめして欲しい放送を選ぶ おすすめ対象設定	決定 「おすすめ対象設定」を選び決定 ▶ 決定 各放送ごとに設定する	オン おすすめ対象に設定するとき オフ おすすめ対象に設定しないとき	■終わったら 元の画面 を押す		
学習をリセットしはじめからやり直すとき 学習リセット	決定 「学習リセット」を選び決定 ▶ 決定 「はい」を選び決定			ガイド ? + 7 2 4	

●おすすめ番組機能

番組表から録画予約する

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

機器の接続と設定（☞ 94～113ページ）

［番組表］を押す

［アナログ］［デジタル］（地上）［BS］［CS］（1/2） 録画したい放送を選ぶ

［ガイド ?］**を押すと、電子説明書でご覧になれます。**

番組表から録画予約する

ビエラリンク（HDMI）やIrシステムを使って録画予約ができます。

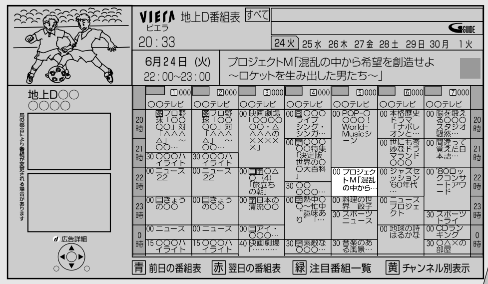
ビエラリンク（HDMI）対応機器の接続と設定（☞ 98～103ページ）

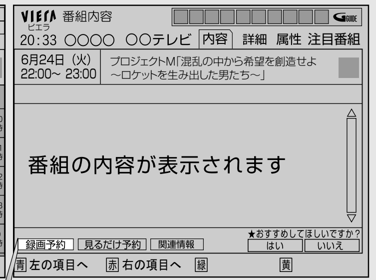
Irシステムの接続と設定（☞ 104～106ページ）

1. ［決定］ 番組表から番組を選び決定
2. ［決定］ 番組内容で「録画予約」を選び決定
3. ［決定］ 内容を確認し、「予約する」「毎週予約する」「★探して毎回予約する」のどれかを選び決定（詳しくは☞左ページ下記）

■設定を変更する場合

［決定］ 左の手順で「詳細設定」を選び決定 ▶ 接続機器に応じて設定する（次ページ）





録画予約設定
- 録画機器:DVDレコーダー（タイマー）
- 録画モード:機器側設定
- この設定内容で録画予約しますか？
- 予約する
- 毎週予約する
- ★探して毎回予約する
- 詳細設定

詳細設定

予約方式	見るだけ　録画
録画機器	DVDレコーダー（タイマー）
録画モード	機器側設定
信号設定	
その他の設定	
時間指定予約へ	
予約せず戻る	
予約する	

Ⓐ（次ページへ続く）

●暗証番号入力画面が表示されたときは（☞ 54ページ）

■終わったら［元の画面］を押す

詳しい解説を見る

詳細設定画面の「予約方式」について
ガイド［?］+［7］［9］［6］

関連情報

録画予約の注意点（☞ 42～47ページ）

録画についてのご注意事項は（☞ 46ページ）

すでに予約設定されている番組を変更するときは、「番組内容」画面で「設定変更」を選びます。

●番組表から録画予約する

予約する

選んでいる番組だけを予約する場合に選びます。
（録画予約可能件数は、探して毎回予約を含めて64件までです）

毎週予約する

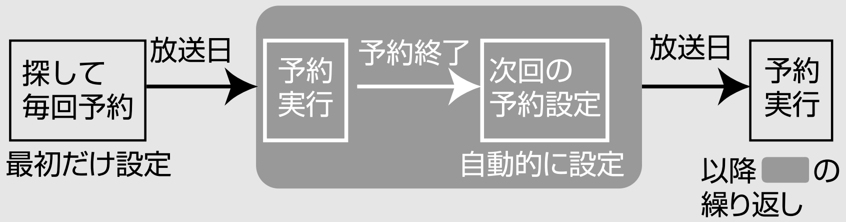
連続ドラマなどを予約する場合に選びます。
（同じチャンネル・曜日・時間に放送される番組を自動で予約設定）

予約時の注意点

・ビエラリンク（HDMI）での予約以外は番組の放送時間が変更された場合、対応できません。

★探して毎回予約する

●放送日や放送時間が一定ではないシリーズものの番組を、一度「探して毎回予約する」に設定すると、次回以降の放送は本機が自動的に毎回、予約設定します。
（番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索）
（［探して毎回予約する」の予約可能件数は24件です）



予約時の注意点について
ガイド［?］+［7］［9］［9］

■ビエラリンク（HDMI）で録画予約するときは

録画機器については
①「詳細設定」の画面にする
②「録画機器」を「ディーガ（ビエラリンク）」にする

録画予約設定
- 録画機器:DVDレコーダー（タイマー）
- 録画モード:機器側設定
- この設定内容で録画予約しますか？
- 予約する
- 毎週予約する
- ★探して毎回予約する
- 詳細設定

▶

詳細設定

予約方式	見るだけ　録画
録画機器	ディーガ（ビエラリンク）
録画モード	―　―
信号設定	
その他の設定	
時間指定予約へ	
予約せず戻る	
予約する	

予約の詳細設定

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

予約の詳細設定

手順 ▷▷▷

Irシステムまたはビエラリンク（HDMI）を使って録画する

タイマー予約（ビエラリンク(HDMI)、Irシステム共に可能）

1. 前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
2. 「ビデオ（タイマー）」または「DVDレコーダー（タイマー）」または「ディーガ（ビエラリンク）」を選ぶ
3. 「録画モード」を選び設定する（「ディーガ（ビエラリンク）」のときは選べません。）
4. 「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

連動予約（Irシステムのみ可能）

※タイマー予約と連動予約を混在させないでください。予約が実行されない場合があります。

1. 前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
2. 「ビデオ（連動）」または「DVDレコーダー（連動）」を選ぶ
3. 「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

録画機器側で録画の準備をする（☞42ページ）

Irシステムやビエラリンク（HDMI）が使えない機器に録画する

1. 前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
2. 「モニターアウト」を選ぶ
3. 「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

録画機器側を操作して録画する

詳しい解説を見る

「録画機器」について　ガイド［?］+［7］［9］［1］

「録画モード」について　ガイド［?］+［7］［9］［2］

お知らせ　ガイド［?］+［7］［9］［4］

関連情報

「録画機器」で選べる項目はビエラリンク（HDMI）設定やIrシステム設定の内容で変わります。（☞101～103、106ページ）

録画モードは録画機器側で設定してください。

予約の詳細設定（さらに詳しい設定）

手順 ▷▷▷

複数の映像、音声がある番組で録画する信号を選ぶ（デジタル放送時のみ）

信号設定

1. 前ページの Ⓐ の画面で「信号設定」を選び決定（見るだけ予約や録画機器がディーガ（ビエラリンク）の場合は、設定できません。）

信号設定

マルチビュー	主番組
映像	映像１
音声	日本語
二重音声	
データ	
字幕	オフ／オン
字幕言語	日本語／英語

2. 各項目ごとに録画する信号（映像、音声）を選ぶ

番組追従/開始時刻修正/終了時刻修正/サイドカット

その他の設定

1. 前ページの Ⓐ の画面で「その他の設定」を選び決定

その他の設定

番組追従	する／しない
開始時刻修正 16:03	±０分
終了時刻修正 16:49	±０分
サイドカット	する／しない

2. 各項目ごとに設定する

設定したら［戻る］を押す → 「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

日時を指定して予約する

時間指定予約

1. 前ページの Ⓐ の画面で「時間指定予約へ」を選び決定

時間指定予約への変更確認

毎週予約の設定や時間指定予約で予約すると
・番組追従が行えません
・信号設定やその他の設定が反映されません

よろしいですか?

［はい］［いいえ］

2. 「はい」を選び決定

時間指定予約の設定画面が出ます（☞40ページ）

詳しい解説を見る

設定内容について　ガイド［?］+［8］［10］［5］

設定内容について　ガイド［?］+［8］［10］［7］

●予約の詳細設定

日時を指定して予約する／確認・変更　・取り消し／番組追従・探して毎回予約

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

手順 ▷▷▷

	手順	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニューを押す ▶ 「番組を探す/予約する」を選び決定 ▶ 時間指定予約で／予約一覧　各項目を選んで設定する（下欄参照）		
日時を指定して予約する 時間指定予約	「時間指定予約で」を選び決定 ／ 各項目ごとに設定する ▶ 「予約する」を選び決定 ／ ●暗証番号入力画面が表示されたときは（☞ 54ページ） ／ ■終わったら 元の画面 を押す	設定内容について ガイド ？＋8 10 1 ／ お知らせ ガイド ？＋8 10 10	
予約の確認や変更、取り消しをする 予約一覧 予約変更 予約取り消し	「予約一覧」を選び決定 ▼ 「予約一覧」画面から変更や取り消したい予約を選び決定 ／ 確認のみの場合、元の画面で終了	予約件数について ガイド ？＋8 10 2 ／ 探して毎回予約について ガイド ？＋7 9 8 ／ お知らせ ガイド ？＋8 10 3	**タイマー予約の変更・取り消し** 「タイマー予約」を変更したり、取り消したい場合、録画機器側でも変更や取り消しの操作が必要です。 **探して毎回予約の取り消し** 「探して毎回予約」を取り消すには、本機側での取り消し操作（左ページ）と、録画機器側での取り消し操作が必要です。

ガイド を押すと、電子説明書でご覧になれます。

予約方式	見るだけ ／ 録画
放送種別/チャンネル	BS 200
曜日/日	10月23日（日）
開始時刻 10月23日	20:00
終了時刻 ——	——
録画機器	ビデオ(連動)
録画モード	標準
信号設定	音声：日本語
その他の設定	
予約せず戻る	
予約する	

（地上アナログ放送でのタイマー予約以外のとき）

※ビエラリンク（HDMI）でのタイマー予約の場合は、履歴の確認と削除ができます。

青ボタンを押す　赤ボタンを押す

VIERA ビエラ　予約一覧　20:33　予約　探して毎回★

CS1 777	12月10日（月） 9:15～10:55	○○○ボランティア W杯サッカーボランティア	
CS2 105	12月11日（火） 7:00～ 8:55	CGアニメーションコンテスト 関西予選	
CS2 123	12月13日（木） 9:15～10:55	スーパーモーグル杯 予選通過速報	
CS2 123	12月14日（金） 2:00～ 3:45	国際エアリアル大会 名場面・珍場面	

予約一覧

■探して毎回予約の取り消し
①赤ボタンを押して探して毎回予約の一覧を出す
②取り消したい予約の項目を選び 黄 を押す
③「はい」を選び決定

- **実行前の予約の変更**：「設定変更」を選び決定 ▶ 設定変更画面で内容を修正し、「修正する」を選び決定
- **実行前の予約の取り消し**：「予約削除」を選び決定
- **実行中の予約の変更**：実行中の予約は本機からは変更できません
- **実行中の予約の取り消し（中止）**：「取り消し」を選び決定（詳細は46ページ）
- **実行済の予約履歴削除**：「履歴削除」を選び決定

■終わったら 元の画面 を押す

手順 ▷▷▷

	手順	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニューを押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「システム設定」を選び決定		
放送時間や放送チャンネルが変わったとき **自動で予約を変更する**（デジタル放送のみ）番組追従 ／ 探して毎回予約の**自動検索を一時的に止める** 探して毎回予約	「録画・視聴設定」を選び決定 ／ 「番組追従」を選び「する」に設定する ／ 「探して毎回予約」を選び「オフ」に設定する ／ ■終わったら 元の画面 を押す	設定内容について ガイド ？＋7 9 5	Irシステムのタイマー予約、時間指定予約時は働きません。

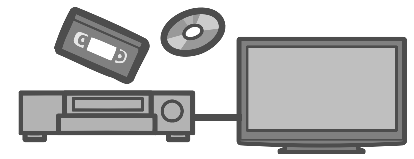
録画・視聴設定		
番組追従	する	しない
探して毎回予約	オフ	オン

●日時を指定して予約する／確認・変更・取り消し／番組追従・探して毎回予約

録画予約の注意点

本機から録画機器に予約設定します。（本機に録画機能はありません。）

Irシステムでタイマー予約
Irシステムで連動予約



予約の方法について

■ 番組表から予約する

●（番組表）を押して番組表を出し、録画したい番組を選べば、簡単に予約設定できます。（番組表は最大8日分を表示）

ここでは次の4種類の予約方法について説明しています。

●Irシステムを使って予約
- タイマー予約
- 連動予約

（☞ 右ページ）

●HDMIケーブルを使って予約
- ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約

（☞ 44ページ）

●Irシステムやビエラリンク(HDMI)が使えない録画機器への予約
- Irやビエラリンク(HDMI)が使えない機器への予約

（☞ 44ページ）

■ 日時を指定して予約する（時間指定予約）

●1週間以上先の番組予約もできます。

●毎日、毎週などのくり返しの予約ができます。（☞ 40ページ）

「タイマー予約」「連動予約」対応機器（2009年1月現在）

■ Irシステムの対応機器…対応機器は以下のとおりです。

対応機器 / 予約方式	当社製 1995年製以降のビデオデッキ または DVDレコーダー	左記以前の当社製ビデオデッキ	他社製のビデオデッキ	他社製のDVDレコーダー
タイマー予約	○ ※1	×	×	×
連動予約	○	○	○ ※2	○ ※3

×印（対応外）の機器の場合は、テレビと録画機器の両方で通常の録画予約をしてください。

※1：NV-WV1、NV-WV10、NV-HV61、NV-H4K、DMR-E700BDを除く

※2：対応メーカー/ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC（ただし上記メーカーでも、一部使用できない機種あり）

※3：対応メーカー/パイオニア、三菱（ただし上記メーカーでも、一部使用できない機種あり）

■ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

●本機とHDMIケーブル（別売品）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。

●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。

●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その取扱説明書をご確認ください。

●本機はビエラリンク（HDMI）Ver.4に対応しています。
ビエラリンク（HDMI）Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2008年12月現在）

お知らせ

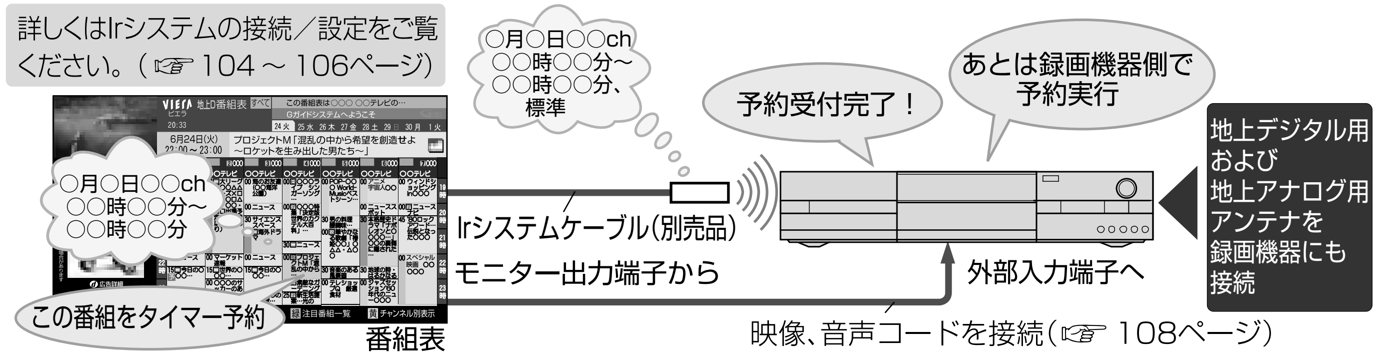
●ハイビジョン画質での録画に対応しているDVDレコーダーなどに録画予約する場合でも、本機のモニター出力からの録画（Irシステムケーブルを用いた録画など）では、ハイビジョン画質ではなく、地上アナログ放送と同程度の画質で録画されます。

当社製のビデオデッキやDVDレコーダーの録画予約設定を本機から行う

タイマー予約

※他社製の録画機器ではお使いいただけません。

詳しくはIrシステムの接続／設定をご覧ください。（☞ 104～106ページ）



	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	まず右の録画機器側の操作（①、②）を行う ❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「タイマー予約」の設定を行う（詳しくは☞38ページ）	本機側の操作（❶、❷、❸、❹）のまえに ①リモコンで電源を入れる ②テープやディスクを入れる （本機側の操作❶、❷、❸、❹のあと自動的に電源が切れる）
予約時刻になると	デジタル放送予約時は予約した番組の映像と音声を本機が出力します	・地上アナログ放送の予約時は録画機器側のチューナーより録画が実行されます ・デジタル放送の予約時は本機からの映像・音声信号により録画が実行されます

●深夜番組など日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。また、24時間以上の録画はできません。このような場合は、デジタル放送では連動予約をお使いください。

●予約の変更と取り消しは、録画機器側でも実施してください。

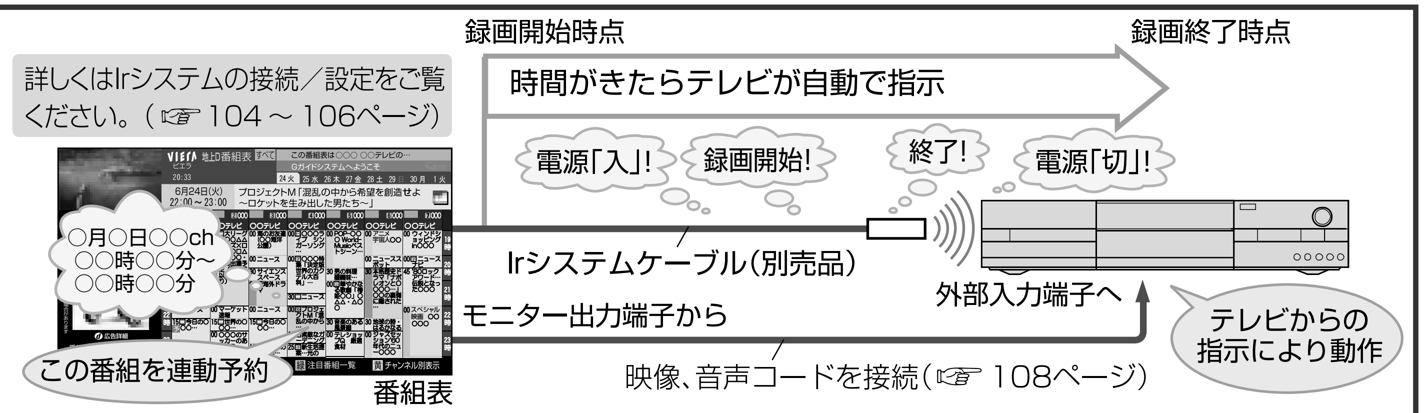
●番組の時間変更に合わせて録画したい ●他社製の機器にも録画予約したい

連動予約

（デジタル放送のみ）

※当社製の録画機器にもお使いいただけます。

詳しくはIrシステムの接続／設定をご覧ください。（☞ 104～106ページ）

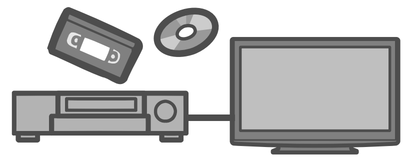


	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「連動予約」の設定を行う（詳しくは☞38ページ）	①テープやディスクを入れる ②本機から接続した外部入力に切り換える ③録画モードを設定する ④録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る（切らないと、録画開始できません）
予約時刻になると	電源「入／切」・録画開始の信号および、予約した番組の映像と音声を出力します（終了時刻には停止信号を出力します）	電源が入り、録画が実行されます（終了時刻には電源が切れます）

●他社製の録画機器をお使いの場合や、デジタル放送番組の放送時間や放送チャンネルが変更になったときでも自動的に追従して録画させたい場合などにご利用ください。（放送局から情報のあるときのみ）

録画予約の注意点(つづき)

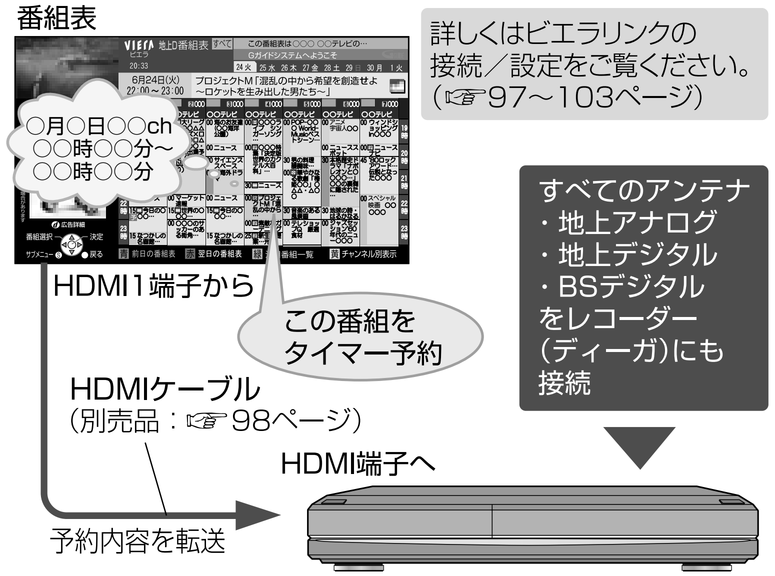
ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約
Irやビエラリンク(HDMI)が使えない機器への予約



ビエラリンク(HDMI)に対応した 当社製レコーダー(ディーガ)の録画予約設定を本機から行う

ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約

※他社製のHDMI機器では
お使いいただけません。



	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「タイマー予約」の設定を行う(詳しくは☞38ページ)	機器によっては、録画用のディスクを入れる必要があります
予約時刻になると		録画が実行されます

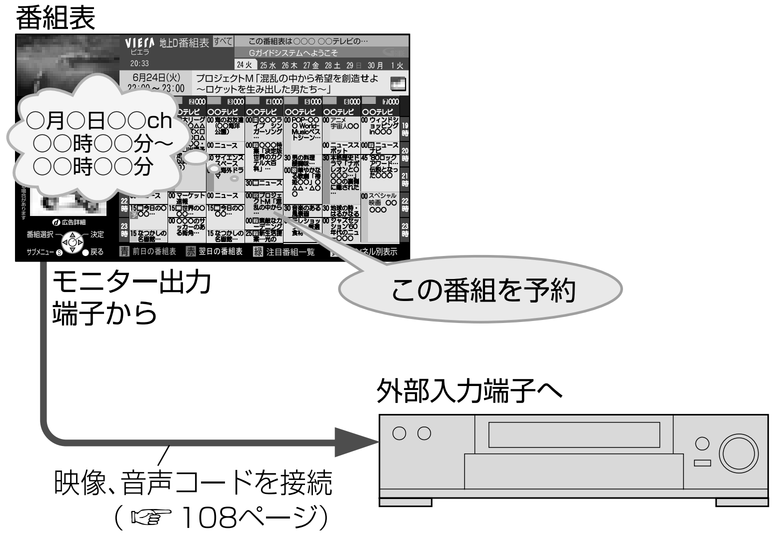
●予約した番組はレコーダー(ディーガ)側のチューナーで受信して録画されます。
(本機のHDMI端子から、予約した番組の映像や音声は出力しません。)

●有料番組や視聴制限、録画予約の重複については録画機器側の設定に依存します。
詳しくは、録画機器側の説明書をご覧ください。

Irシステムや ビエラリンク(HDMI) が使えないとき

Irやビエラリンク(HDMI)が使えない機器への予約

(デジタル放送のみ)

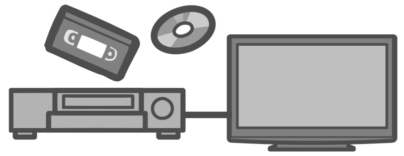


	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で録画機器を「モニターアウト」にする(詳しくは☞38ページ)	①テープやディスクを入れる ②本機から接続した外部入力に切り換える ③録画モード、録画開始、終了時刻を設定する
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声を出力します	録画が実行されます

●アナログ放送を録画予約される場合は、VHF／UHFアンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。

●デジタル放送のチューナーを内蔵している録画機器をご使用の場合、デジタル放送はデジタル放送用アンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。

録画予約の注意点(つづき)



録画についてのご注意事項

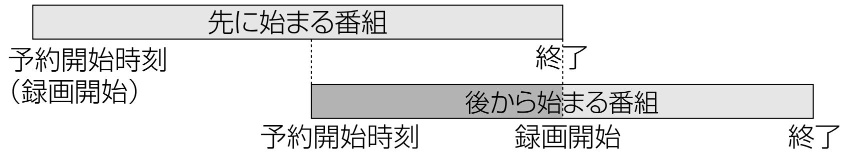
録画機器の事前設定	●予約の日時、入力(チャンネルなど)以外の機能は、あらかじめ録画機器で設定してください。(例えば、HDD内蔵のDVDレコーダーでのDVDとHDDの切り換えなど)
録画機器の電源	●放送中または、開始直前の番組を録画予約した場合は録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで準備時間が必要です。(当社製品での一例) ●ビデオデッキ：約15秒　●DVDレコーダー：約90秒 ●ハードディスクビデオレコーダー：約30秒
視聴制限時	●年齢制限時は、暗証番号の入力が必要です。(☞54ページ)
録画予約後の電源	●電源はリモコンで「切」にしてください。 デジタル放送の予約時に本体の電源を「切」にすると、録画予約は実行されません。(地上アナログ放送のタイマー予約時やビエラリンク(HDMI)での予約時は「切」にしても録画予約が実行されます)
デジタル放送番組の開始／終了時刻変更	●連動予約で放送局から番組開始が遅れる情報があった場合には、本機の予約開始時刻は情報に追従して遅れます。(3時間まで) タイマー予約時は、録画機器は遅れに追従しませんので最初の予約時刻から録画が始まります。
実行中の録画予約の中止	●地上アナログ放送のタイマー予約やビエラリンク(HDMI)での予約は録画機器側で中止してください。 ●デジタル放送の予約実行中は、予約一覧画面で予約実行中の番組を選び、黄ボタンを押して確認画面で「はい」を選ぶと予約中止されます。 ●デジタル放送のタイマー予約は、本機および録画機器側でも中止してください。
録画中のテレビ画面	●録画中は、現在録画中のチャンネルのみご覧いただけます。
デジタル放送録画の制限	●デジタル放送には、**「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号**が加えられ、CPRMに対応したデジタル録画機器と記録メディアの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。 (ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します) ●当社製レコーダー(ディーガ)の場合はCPRM対応のディスクの組み合わせで録画が可能になります。詳細は録画機器の取扱説明書をご覧ください。 ●アナログ方式のビデオデッキでは、個人的に利用される場合に限って、これまでどおりに録画可能です。(☞136ページ)
ハイビジョン放送の録画画質	●ハイビジョン放送の録画に対応しているDVDレコーダーなどを接続しても、本機のモニター出力から録画した場合は、地上アナログ放送と同程度の画質となります。
地上アナログ放送の録画方法	●地上アナログ放送の録画予約は当社製のDVDレコーダーやビデオデッキによる「タイマー予約」のみ可能です。他社製のDVDレコーダーやビデオデッキには本機から録画できません。(録画機器側で設定してください。)

●録画機器の取扱説明書もあわせてよくお読みください。

予約の優先順位

●予約した番組の放送開始時刻が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約開始時刻の早い番組を優先



※▭部分は録画されません。

●上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。
●タイマー予約と連動予約を混在させないでください。
予約が実行されない場合があります。

予約時のメッセージ

この番組は契約されていません。予約できません。	●契約が必要なチャンネルです。 放送事業者に問い合わせて、契約を行ってください。
予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。	●実行前の予約は64件までです。 「探して毎回予約する」で、まだ次回分が予約されていない項目がある場合、その分の予約数は実行前の予約可能件数(64件)からあらかじめ差し引かれます。 予約一覧で不要な実行前の予約を取り消してください。(☞40ページ)
予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。	●すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約しています。 ●地上アナログ放送の「タイマー予約」やビエラリンク(HDMI)での予約では、このメッセージは出ませんので録画機器側でご確認ください。
予約できませんでした。	●過去の時間帯を予約しようとした場合などに表示されます。

画面サイズを変える/画面位置やサイズの微調整/画面の設定/2画面で楽しむ

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

画面サイズを変える

		手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
(ハイビジョン映像以外のとき)自動で拡大画面にする	セルフワイド	[画面モード] 自動的に違和感の少ない映像に拡大します	ガイド[?]+3 2 10	お知らせ ガイド[?]+8 2 5
手動で画面モードを切り換える	画面モード	[画面モード] 画面モードを表示中に押す(押すたびに切り換わる) セルフワイド→ノーマル→ジャスト→ズーム→フル	ガイド[?]+3 2 3 お知らせ ガイド[?]+8 2 7	画面サイズの情報があるとき(D端子・S2映像・ID-1・ED2)(☞135ページ)
(ハイビジョン映像のとき)自動で拡大画面にする	サイドカット セルフワイド	[画面モード] 1回押す(「フル」と表示) ▶ [画面モード] 「フル」と表示中に再度押して切り換える(約7秒間メッセージを表示)	ガイド[?]+3 2 4	お知らせ ガイド[?]+8 2 8
手動で画面モードを切り換える	画面モード(サイドカット)	[画面モード] 画面モードを表示中に押す(押すたびに切り換わる) フル→サイドカット セルフワイド→サイドカット ノーマル→サイドカット ジャスト→サイドカット ズーム→サイドカット フル	ガイド[?]+3 2 7	外部入力時は「サイドカット セルフワイド」に切り換わりません。

画面位置やサイズの微調整/画面の設定

まず次の操作をする: [メニュー] 調整したい画面のときに押す ▶ (決定)「設定する」を選び決定 ▶ (決定)「画面の設定」を選び決定 — ガイド[?]を押すと、電子説明書でご覧になれます。

		手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
垂直の位置やサイズを細かく調整する(画面モードがノーマル以外・2画面以外のとき)	垂直位置/サイズ	「垂直位置/サイズ」を選び決定 ▶ 画面を見ながら調整する	ガイド[?]+3 3 4	お知らせ ガイド[?]+8 3 10
水平表示領域の調整(ハイビジョン映像以外・PC画面以外・2画面以外のとき)	水平表示領域	「水平表示領域」を選び設定する	ガイド[?]+3 3 7	お知らせ ガイド[?]+8 3 1
1080iや1080pのとき画面サイズを調整する(2画面以外のとき)	HD表示領域	「HD表示領域」を選び設定する	ガイド[?]+3 4 7	

■テレビ画面に戻るには [元の画面] を押す

項目	ページ	ガイド[?]+
セルフワイド	1/3	8 5 5
ID-1検出	1/3	8 4 9
ED2検出	1/3	8 5 10
3次元Y/C分離	2/3	8 4 8
480p色マトリックス	2/3	8 5 2
サイドカット固定	2/3	8 5 7
デジタルシネマリアリティ	3/3	8 5 1
Wスピード	3/3	8 5 6

各項目を選び設定する(画面の設定は3ページ構成です。▼を繰り返し押すと、次のページになります)

■終わったら [元の画面] を押す

2画面で楽しむ

		手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
2画面にする	2画面	[2画面] を押す もう一度押すと1画面に戻る ●デジタル放送と外部入力の組み合わせのみ2画面表示できます。		■本機でご覧になれる2画面の組み合わせは ガイド[?]+8 3 5
画面モードを選ぶ	画面モード	[画面モード] 2画面のときに押すたびに切り換わる	ガイド[?]+3 4 1	
左右の画面を入れ換える	左右入換	[左右入換] 2画面のときに押すたびに切り換わる ●デジタル放送とビデオ入力/D端子入力の組み合わせのみ切り換わります。	ガイド[?]+3 4 2	■左右の音声を切り換えたいとき(☞54ページ)
右画面を操作する	右画面操作	[右画面操作] ▶ [F] の表示中に操作する(約10秒間) ●右画面がデジタル放送時の選局操作や右画面がビデオ入力/D端子入力時の入力切り換えなどができます。 ■本機でご覧になれる2画面の組み合わせは ガイド[?]+8 3 5	ガイド[?]+3 4 3	■右画面操作を継続したいとき(☞54ページ)

画質をお好みで調整する／パソコンの画面を調整する

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

画質をお好みで調整する

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	[メニュー] 調整したい画面のときに押す ▶ [決定]「画質を調整する」を選び決定 ／ [ガイド ?]を押すと、電子説明書でご覧になれます。		
番組に合わせて映像を選ぶ 映像メニュー	[決定]「映像メニュー」を選び設定する（スタンダード→シネマ→ダイナミック→ユーザー(写真)→スタンダード）	ガイド[?]+[8][1][10]	●スタンダード：一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。 ●SDメモリーカード写真表示中は、「ユーザー」は「写真」と表示されます。
映像メニューをお好みに調整する（明るさや、色あいなど） 画質の調整	上記の手順で調整したい映像メニューを選ぶ ▶ [決定] 各項目ごとに調整する（画質の調整は2ページ構成です。▼を繰り返し押すと、次のページになります。） 調整できる項目 (1/2) バックライト、ピクチャー、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス (2/2) 液晶AI、色温度、ビビッド、色域自動切換、NR、HDオプティマイザー、明るさオート	ガイド[?]+[8][1][1]	
映像メニューが「ユーザー(写真)」「シネマ」のとき **きめ細かく画像を調整する** テクニカル	[決定]「テクニカル」を選び「入」にする ▶ [決定]「テクニカル」画面にする ▶ [決定] 各項目ごとに調整する 調整できる項目 エッジ補正、細部補正、輝度設定、黒伸張、白文字補正、ガンマ補正 Rゲイン※、Gゲイン※、Bゲイン※ ※:PC画面時のみ表示	ガイド[?]+[8][1][2]	
デジタル放送を見ているとき **番組内の映像を切り換える** 信号切換	サブメニュー[S] デジタル放送を視聴中に押す ▶ [決定]「信号切換」を選び決定 ▶ [決定] 項目を選び設定する	ガイド[?]+[3][1][7] (お知らせ) ガイド[?]+[8][2][1]	

■テレビ画面に戻るには [元の画面] を押す

パソコンの画面を調整する

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	**パソコンの接続**（☞107ページ） ▶ [入力切換]「PC」を選び決定 ▶ [画面モード] 調整したい画面にする ▶ [メニュー]を押す ▶ [決定]「設定する」を選び決定 ▶ [決定]「画面の設定」を選び決定	ガイド[?]+[3][7][3]	
接続したパソコンに合わせて調整する PC画面調整	[決定]「PC画面調整」を選び決定 [ガイド] ▶ [決定] 各項目ごとに調整する ■調整したら [戻る]を数回押す	(お知らせ) ガイド[?]+[8][6][10]	

音質をお好みで調整する

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、〔元の画面〕を押してから操作

音質をお好みで調整する	手順 ▷▷▷		詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	〔メニュー〕調整したい放送や外部入力のときに押す ▶ 〔決定〕「音声を調整する」を選び決定	〔ガイド ?〕を押すと、電子説明書でご覧になれます。		
番組に合わせて音声を選ぶ 音声メニュー	〔決定〕「音声メニュー」を選び設定する スタンダード → スタジアム → ミュージック → シネマ → ニュース → スタンダード	■テレビ画面に戻るには〔元の画面〕を押す	ガイド〔?〕+〔8〕〔1〕〔5〕	
音声をお好みに調整する 音声の調整	上記の手順で調整したい音声メニューを選ぶ ▶ 〔決定〕各項目ごとに調整する（音声の調整は3ページ構成です） 調整できる項目 （1/3）バス、トレブル、バランス、サラウンド （2/3）音量オート、イコライザー、低音補正 （3/3）音量補正		ガイド〔?〕+〔8〕〔1〕〔7〕 お知らせ ガイド〔?〕+〔8〕〔1〕〔6〕	
音声を切り換える 音声切換	〔音声切換〕1回押すと、現在の音声を表示 ▶ 〔音声切換〕現在の音声を表示中に押すたびに切り換わる（切り換えのできる音声があるときのみ）		ガイド〔?〕+〔8〕〔2〕〔10〕	

●音質をお好みで調整する

システム設定

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

システム設定

まず次の操作をする

手順 ▷▷▷ メニューを押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「システム設定」を選び決定

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

項目	手順		終わったら	詳しい解説を見る	関連情報
デジタル放送の字幕や文字スーパーがある場合に表示する 字幕の設定	「字幕の設定」を選び決定	各項目を選び設定する	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ?+8 7 10	字幕の「オフ」「オン」は 字幕 ボタンでも可能です。
チャンネル デジタル放送で押して順送りできるチャンネルを選ぶ 選局対象	「選局対象」を選び設定する	設定チャンネル→テレビ→すべて		ガイド ?+8 7 1	
2画面のとき 右画面の操作を継続する 右画面操作	「右画面操作」を選び「ロック」にする			ガイド ?+8 7 2	
2画面のとき 聞こえる音声(右または左)を選ぶ 音声出力	「音声出力」を選び設定する	左画面 左画面の音声を出力 右画面 右画面の音声を出力	■終わったら 戻る を数回押す	ガイド ?+8 3 6	
選局時に番組のタイトル表示のオン/オフを設定する タイトル表示	「タイトル表示」を選び設定する		■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ?+8 7 4	「オフ」設定時でもチャンネル番号は表示されます。
メニューなどの表示スタイルを変える 表示スタイル	「表示の設定」を選び決定	▶ 「表示スタイル」を選び、設定する		ガイド ?+8 8 10	
メニュー表示にアニメーションを使う アニメーション	「表示の設定」を選び決定	▶ 「アニメーション」を選び、設定する			「表示スタイル」が「スタンダード」のときは設定できません。

※ 文字入力設定 は「おすすめ語句一覧」(☞34ページ)やアクトビラで使用します。詳しくはネットワーク編(☞14ページ)をご覧ください。

※ 録画・視聴設定 について(☞40ページ)

システム設定(制限項目設定)

まず次の操作をする

手順 ▷▷▷ メニューを押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「システム設定」を選び決定 ▶ ガイド ▶ 「制限項目設定」を選び決定 ▶ 画面上の指示に従って暗証番号を入力する(4桁)

●初めて入力するときは、番号を2回入力して登録する。(番号は必ずメモしておく)

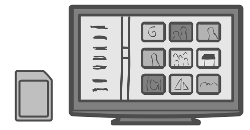
詳しい解説を見る: ガイド ?+3 8 7 お知らせ / ガイド ?+8 7 6

関連情報: 制限項目設定について ガイド ?+8 7 5

項目	手順			終わったら	詳しい解説を見る	関連情報
視聴できる年齢を制限する 視聴可能年齢	「視聴可能年齢」を選び設定する			■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ?+8 7 8	設定した年齢を超える番組を選んだとき ガイド ?+3 9 2
制限を超える番組を見るときの暗証番号を変更する 暗証番号変更	「暗証番号変更」を選び決定	▶ 新しい暗証番号を入力して決定	▶ 画面に従って再度暗証番号を入力		ガイド ?+3 9 10	
暗証番号を取り消す 暗証番号削除	「暗証番号削除」を選び決定	▶ 「はい」を選び決定			ガイド ?+3 9 1	

※ ブラウザ制限 はアクトビラで使用します。詳しくはネットワーク編(☞7ページ)をご覧ください。

SD（エスディー）メモリーカードを使う



■ビデオの再生について

本機にSDメモリーカードを挿入することで、SDメモリーカードに記録されたビデオデータを再生できます。

- 本機で再生できる動画は、SD-Video規格Ver1.2[MPEG-2(PS形式)※1]に対応していて音声フォーマットがMPEG-1／Layer-2形式またはドルビーデジタル※2形式のファイル、またはAVCHD規格に対応していて音声フォーマットがドルビーデジタル形式のファイルです。
  - ※1 MPEGとはカラー動画像のフォーマットの名称です。PSは(Program Stream)の略称です。
  - ※2 ドルビー、ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズの商標です。
- パソコンで編集したビデオデータは意図通り再生できないことがあります。

■写真の再生について

本機の画面で、デジタルカメラやデジタルビデオカメラで撮影された写真データを見たり、写真現像店に出すプリント枚数を設定することができます。（ただし、プリント枚数が設定できるのはファイル名が半角8文字以下の画像データに限ります。）

■パソコンなどを使って下記の条件で編集した静止画データも見ることができます

- JPEG形式の静止画データを見ることができます。拡張子は「.JPG」にしてください。また、長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。
- 本機では最小160×120画素～最大約1470万画素までの写真データの表示を確認しています。(2009年1月現在)
  例：4416×3312（14,625,792画素）
  4224×2376（10,036,224画素）
- JPEG形式以外の静止画(TIFF形式など)、音声、MOTION JPEG、プログレッシブJPEG、JPEG2000などのデータは再生できません。
- 当社製デジタルカメラ「LUMIX」シリーズなどに付属している編集ソフト以外で編集した写真データは正しく再生できない場合があります。
- SDメモリーカードのフォーマットはデジタルカメラなどの撮影機器で行うか、パソコンで行う場合はSDメモリーカード専用フォーマットソフトを使ってください。
- パソコンなどを使って編集・コピーした画像は、日付順に表示されない場合があります。

■作成されたファイルについて

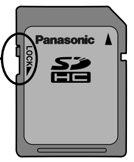
- 作成した機器によっては、ビデオや写真ファイルが本機で正しく再生されない場合があります。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
- ご使用のデジタルカメラなどによっては、編集後の画像を再生できない場合があります。詳しくは、デジタルカメラなどの取扱説明書をご覧ください。

■SDメモリーカード(別売品)について

- 24 mm×32 mm×2.1 mmの、切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーです。
- miniSDカードやmicroSDカードを本機にて使用する場合は、専用のアダプターに必ず装着してご使用ください。
- マルチメディアカードのご使用については保証いたしません。
- 本機では、当社製の2 GB※3までのSDメモリーカードおよび32 GB※4までのSDHCメモリーカードを動作確認しています。最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/tv(2009年1月現在)
  - ※3 使用可能領域は2 GBより少なくなります。
  - ※4 使用可能領域は32 GBより少なくなります。
- 最大転送速度が、10MB/秒に満たないSDメモリーカードでビデオ撮影した場合、本機で正しく再生できない場合があります。

■プロテクトについて

- スイッチを「LOCK」側にすると、誤消去や上書きを防止できます。写真現像店に出すときのプリント枚数設定(DPOFプリント設定)をするときは書き込み禁止(LOCK)スイッチを「LOCK」と逆側にしてください。

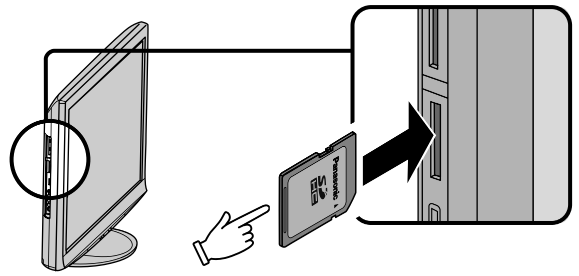


SDメモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い

パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■SDメモリーカードの出し入れ

- 本編58～61ページおよび、ネットワーク編12～13ページの操作中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。データが破壊されたり、本体が正常に動作しなくなる場合があります。
- miniSDカードやmicroSDカードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。
- SDメモリーカード以外の物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。



入れるとき

SDメモリーカードのラベル面を前面(画面側)に向けて、奥までゆっくりと差し込む

取り出すとき

部分(中央部)を押す

■フォルダ構造について[フォルダ(ディレクトリー)構造の例]

- DCIM ― XXXXXXXX ― XXXXXXXX.jpg：JPEG形式(xxxxxxxx.JPGなど)で記録された静止画
- MISC：写真ファイルの印刷設定情報が保存されます。（編集禁止）「DPOF」などの設定を持つ情報が入っていますので編集しないでください。
- SD_VIDEO
  - MGR_INFO：記録されているビデオデータを管理するファイルが保存されます。（編集禁止）
  - PRG001 ～：MPEG-2ファイルが記録されています。（編集禁止）この中にあるSDビデオのMPEG-2ファイルを再生します。
- PRIVATE ― AVCHD：AVCHDファイルが記録されています。（編集禁止）この中にあるAVCHDファイルを再生します。

お知らせ

- 本機は全フォルダ内のJPEGファイルを探して表示します。（ただし、DPOFプリント設定はファイル名が半角8文字以下の画像データのみ設定できます。）
- ファイル名やフォルダ名を変更すると、動画が再生できなくなる場合があります。

（フォルダの図）：フォルダ　XXXXXXXX.jpg：ファイル名　X：半角文字

ビデオ・写真

SD(エスディー)メモリーカードの再生

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

SDメモリーカードのビデオを再生する（MPEG-2/AVCHD動画再生）

手順 ▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する（☞ 57ページ） ▶ SDカード ［🗋］を押す ▶ ［決定］「ビデオ一覧を見る」を選び決定

［ガイド］ガイド ［?］を押すと、電子説明書でご覧になれます。

関連情報：SDメモリーカードの使用上のご注意（☞ 56ページ）

ビデオを再生する
SDビデオ再生

［決定］再生したい映像を選び決定 ▶ 再生が始まります

■停止するには
［決定］「SDビデオ一覧」に戻る

■テレビ画面に戻るには
［元の画面］を押す

ガイド ? + 7 6 6

SDメモリーカードの写真を再生する

手順 ▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する（☞ 57ページ） ▶ SDカード ［🗋］を押す ▶ ［決定］「写真を見る」を選び決定



写真一覧

ガイド ? + 1 2 2

お知らせ
ガイド ? + 7 5 6

関連情報：
SDメモリーカードの使用上のご注意（☞ 56ページ）
アクトビラでSDメモリーカードの静止画を見るときは（☞ ネットワーク編13ページ）

写真を連続して見る
スライドショー開始

青 ［ ］を押す ▶ 再生が始まります
■DPOF自動再生ファイルがあるときは、まず再生方法を選ぶ

■止めるとき ［決定］ ■再開するとき ［決定］

■終了するとき
戻る ◯ を押す

スライドショーの設定を変える
スライドショー設定

緑 ［ ］を押す ▶ ［決定］「スライドショー表示間隔」を選び設定する

■テレビ画面に戻るには
［元の画面］を押す

ガイド ? + 7 6 2

写真を1枚ずつ見る
シングル表示

［決定］拡大したい写真を選び決定 ▶ ［決定］押すたびに画像が切り換わる

■画像を回転するには
［決定］押すたびに90°ずつ時計回りに回転

■テレビ画面に戻るには
［元の画面］を押す

ガイド ? + 7 5 8

BGMを再生する
BGM設定

緑 ［ ］を押す ▶ ［決定］「BGM設定」を選び設定する

■終了するとき
戻る ◯ を押す

ガイド ? + 7 6 2

●SDメモリーカードの再生

SDメモリーカードの再生(つづき)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

写真現像店などに出す

プリント枚数の設定

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

SDメモリーカードの写真を再生する

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する
(☞ 57ページ)

▶ SDカード ［D］を押す

▶ 決定 「写真を見る」を選び決定

ガイド ？を押すと、電子説明書でご覧になれます。



写真一覧

詳しい解説を見る

ガイド ？ + 1 2 2

お知らせ

ガイド ？ + 7 5 6

関連情報

SDメモリーカードの使用上のご注意(☞ 56ページ)

写真を見やすく分類する

分類表示

赤 を押す

▶ 決定 項目を選び決定

日付別	写真を撮影日付別に分類表示します
月別	写真を撮影月別に分類表示します
フォルダ別	写真をフォルダ別に分類表示します

■「写真一覧」画面に戻るには

赤 を押す

詳しい解説を見る

ガイド ？ + 1 4 4

関連情報

SDメモリーカード内のファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかる場合があります。

写真現像店に出す プリント枚数を設定する

手順 ▷▷▷

写真のプリント枚数を設定する

DPOFプリント設定

※設定が可能な写真については
(☞ 56ページ)

黄 上記「写真一覧」画面で押し、

決定 プリントしたい写真を選び決定

▶ サブメニュー S を押し、

決定 「枚数設定」を選び決定

▶ 決定 枚数を設定し、

決定 「設定」を選び決定

■続けて別の写真のプリント枚数を設定するには左の手順を繰り返す

■終わったら

戻る を押す

詳しい解説を見る

ガイド ？ + 7 6 1

関連情報

SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると設定できません。
(☞ 56ページ)

ビエラリンク(HDMI)を使う

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず ご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定(☞97～103ページ)		ビエラリンク(HDMI)とは ガイド[?]+[9][2][5]
本機のリモコンで **レコーダー(ディーガ)のメニュー画面を操作する** ディーガ(操作一覧)	[ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「ディーガの操作一覧」を選び決定 ▶ 自動的にレコーダー(ディーガ)の画面に切り換わります。レコーダー(ディーガ)の電源「切」時は自動的に「入」になります。[決定]レコーダー(ディーガ)の画面に従い操作する ■終わったら [元の画面]を押す		レコーダー(ディーガ)の画面で使えるボタンについて ガイド[?]+[4][8][2]
レコーダー(ディーガ)の操作時に **テレビ画面をレコーダー(ディーガ)の画面に切り換える** 自動入力切換	レコーダー(ディーガ)の再生やメニュー操作などを始める ▶ 自動的にレコーダー(ディーガ)の画面に切り換わります。	ガイド[?]+[4][8][4]	
本機で予約設定してレコーダー(ディーガ)へ転送する 録画予約	番組表や検索結果などから予約したい番組を選び決定 ▶ 38ページの手順で「タイマー予約」の設定をする ※「ディーガ(ビエラリンク)」を選ぶ ▶ 予約の設定内容がレコーダー(ディーガ)へ転送されます。	ガイド[?]+[2][5][1]	
本機のリモコンで **今見ている番組の録画を始める** 見ている番組を録画	[ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「見ている番組を録画」を選び決定 ▶ レコーダー(ディーガ)の電源が入り録画が始まります。 ■録画を停止させるときは [ビエラリンク]を押して「録画を停止する」を選び決定 ●番組が終了しても、録画は自動停止しません。	ガイド[?]+[4][8][5]	
一時的にテレビから離れるときなどに **番組の視聴を一時停止/再生する** 番組キープ/再生	[番組キープ]を押す ／ [ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「番組キープ/再生」を選び決定 ▶ 見ていた番組が一時停止し、「再生操作パネル」を表示します。 ▶ [決定]「決定」を押す(番組の一時停止状態が解除されます)(「番組キープ」ボタンでも一時停止状態を解除できます) ■番組キープを終了するときは [決定]を押す 再生操作パネルを表示中に押す ▶ [決定]「はい」を選び決定(再生操作パネルが消えているときは「サブメニュー」ボタンを押す)	ガイド[?]+[5][4][10]	

■ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

●本機とHDMI ケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。

●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。

●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。
ビエラリンク(HDMI)Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2008年12月現在)

お知らせ

●「番組キープ/再生」メニューは、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応したレコーダー(ディーガ)をHDMI端子に接続しているときのみ操作できます。

●番組キープの内容は、レコーダー(ディーガ)のハードディスクに一時的に記録されますが、再生を停止すると消去されます。

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まずご確認ください	**ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定(☞97～103ページ)**		
本機のリモコンで **音声をAVアンプから出す** AVアンプ	[ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「音声をAVアンプから出す」を選び決定 ▶ 本機の音声が消え、AVアンプの電源が入ります。 ■テレビの音声に戻すには左ページの操作で「音声をテレビから出す」を選び決定 ■音量を調節するときは本機リモコンの音量ボタンで調整する		AVアンプのサウンドを切り換えるとき ガイド[?]+[4][9][10]
AVアンプのリモコンで **DVDを再生させる** ワンタッチ再生	AVアンプのリモコンをレコーダー(ディーガ)に向けて「ワンタッチ再生」ボタンを押す ▶ 各機器の電源が入りDVD再生が始まります。(音声はAVアンプから出ます)	ガイド[?]+[4][9][1]	
本機のリモコンで **ケーブルテレビを操作する** ケーブルテレビを見る	[ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「ケーブルテレビを見る」を選び決定 ▶ CATVデジタルSTBの電源が入り、画面が切り換わります。 ※CATVデジタルSTBを操作する場合は、CATVデジタルSTB側の設定が必要です。詳しくはCATVデジタルSTBの取扱説明書をご覧ください。 ■テレビ画面に戻るには[ビエラリンク]を押して「テレビに戻る」を選び決定 ■CATVデジタルSTBのメニュー画面を表示するには[ビエラリンク]を押して「ケーブルテレビの操作一覧」を選び決定	ガイド[?]+[5][3][10]	CATVデジタルSTBの画面で使えるボタンについて ガイド[?]+[5][3][3]

お願い

- ●DVDなどを再生中、手動でAVアンプの電源を「入」にした場合もAVアンプからの音声に自動的に切り換わりますが、本機のリモコンでの音量調整はできません。この場合、AVアンプ側で音量調整してください。

お知らせ

- ●ビエラリンク(HDMI)でDVDなどを見たりAVアンプから音声を出しているときに、手動でレコーダー(ディーガ)やアンプの電源を「切」にしても、本機の電源は「入」のままです。
- ●ビエラリンクメニューには、くらし機器設定で設定された項目も表示されます。
  →ネットワーク編(☞25、34～37ページ)をご覧ください。
- ●「ケーブルテレビを見る」「ケーブルテレビの操作一覧」メニューは、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応したCATVデジタルSTBをHDMI端子に接続しているときのみ表示します。

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷			詳しい解説を見る	関連情報
まず ご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定 (☞97～103ページ)				
本機のリモコンで **パソコンを操作する** [パソコンを操作する]	HDMI2端子に接続したパソコンの電源を入れる ▶ [ビエラリンク]を押す ▶ 「パソコンを操作する」を選び決定	▶ パソコンの操作画面に切り換わります。	■本機のリモコンでパソコンの画面を操作できます。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照ください。 ■テレビ画面に戻るには [元の画面] を押す	ガイド [?] + 4 9 5	
本機のリモコンで **デジタルビデオカメラを操作する** [ビデオカメラを操作する]	HDMI3端子に接続したデジタルビデオカメラの電源を入れる	▶ デジタルビデオカメラの画面に切り換わります。	■本機のリモコンでデジタルビデオカメラの画面を操作できます。詳しくはデジタルビデオカメラの取扱説明書を参照ください。	ガイド [?] + 4 9 2	
本機のリモコンで **デジタルカメラ(ルミックス)を操作する** [ルミックスを操作する]	HDMI3端子に接続したデジタルカメラ(ルミックス)の電源を入れる	▶ デジタルカメラ(ルミックス)の画面に切り換わります。	■本機のリモコンでデジタルカメラ(ルミックス)の画面を操作できます。詳しくはデジタルカメラ(ルミックス)の取扱説明書を参照ください。	ガイド [?] + 5 5 5	
本機のリモコンで **ブルーレイディスクプレーヤーなどを操作する** [プレーヤーを操作する]	HDMI2端子に接続したブルーレイディスクプレーヤーまたはポータブルプレーヤーの電源を入れる	▶ ブルーレイディスクプレーヤーまたはポータブルプレーヤーの画面に切り換わります。	■本機のリモコンでブルーレイディスクプレーヤーまたはポータブルプレーヤーの画面を操作できます。詳しくは接続した機器の取扱説明書を参照ください。	ガイド [?] + 5 5 6	このメニューで操作できる機器は今後発売予定です。(2009年1月現在)

(お知らせ)

●ビエラリンクメニューには、くらし機器設定で設定された項目も表示されます。
→ネットワーク編(☞25、34～37ページ)をご覧ください。

●「パソコンを操作する」メニューは、ビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応したパソコンをHDMI端子に接続しているときのみ表示します。対応したパソコンの最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。http://panasonic.jp/support/tv/(2009年1月現在)

接続した機器で楽しむ

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷			詳しい解説を見る	関連情報
まず各機器の接続と設定をご確認ください	レコーダー(ディーガ)の接続と設定(☞ 96、108〜109ページ)	オーディオ機器の接続と設定(☞ 112〜113ページ)	パソコンの接続と設定(☞ 107ページ)		
本機のリモコンで当社製 **レコーダー(ディーガ)を操作する** [レコーダー(ディーガ)]	[入力切換]を押す ▶ [決定] 切り換えたい入力を選び決定	本機リモコンふた内のレコーダー(ディーガ)操作用ボタンで操作する ディーガ [電源] 停止 [■] 一時停止 [II] 再生 [▶] ※リモコンをレコーダー(ディーガ)へ向けて操作してください。			リモコン設定については下記をご覧ください
オーディオ機器から画面の音声を出す [オーディオ機器]	[消音]を押す ▶	オーディオ機器を操作する(電源を入れ本機の音声入力に切り換える)			
パソコンの画面に切り換える [PC(パソコン)]	[入力切換]を押す ▶ [決定] PC(パソコン)を選び決定 ▶	パソコンを操作する	■画面モードを切り換えるには [画面モード]を押す(押すたびに切り換わる)	ガイド[?]+[7][5][3]	

■本機リモコンでレコーダー(ディーガ)が操作できない場合

本機リモコンのディーガボタンには３種類のリモコン設定があります。
動かない場合は、次の手順でリモコン設定を変えて動作を確認してください。

① ディーガ[電源]を押したまま、[1] ▶ [2](または[1] ▶ [3])の順に押す

② ディーガ[電源]をはなす

③本機リモコンをレコーダー(ディーガ)へ向けて動作を確かめる

リモコン設定	
設定するボタン	[1]と[1](初期設定)
	[1]と[2]
	[1]と[3]

お知らせ

- ●当社製レコーダー(ディーガ)／プレーヤーのみ操作できます。
- ●録画操作や特殊な機能には対応していません。
- ●電池を抜いたまま放置すると、設定は[1]・[1]に戻ります。

いろいろな情報を見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

まず次の操作をする

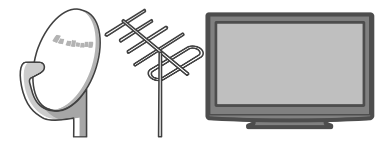
[メニュー]を押す ▶ [決定]「設定する」を選び決定 ▶ [決定]「情報を見る」を選び決定

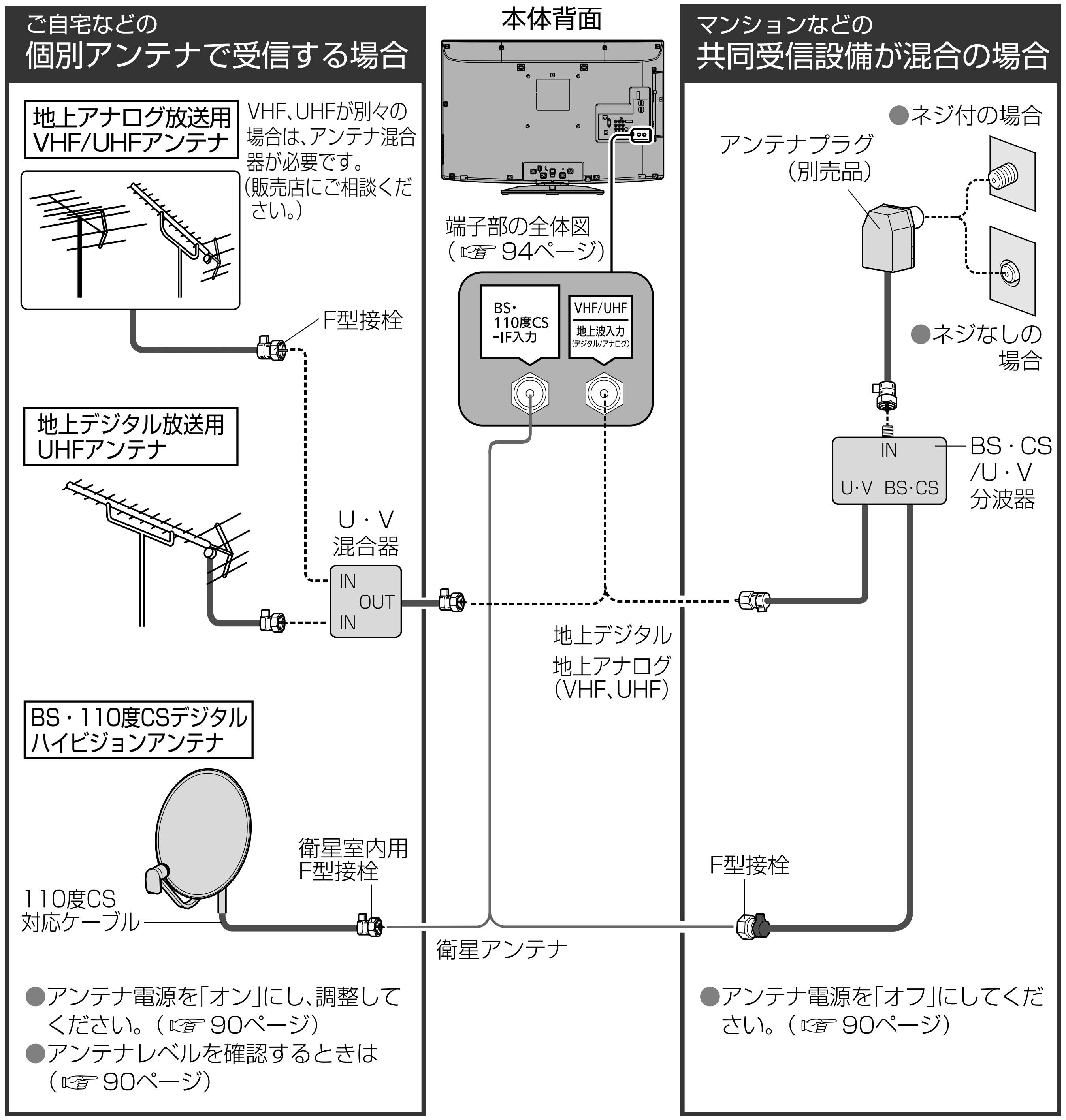
[ガイド]を押すと、電子説明書でご覧になれます。

	手順		詳しい解説を見る	関連情報
デジタル放送や本機からの **お知らせや情報を見る** 放送メール	[決定]「放送メール」を選び決定 [ガイド] ▶ [決定] 確認したい放送メールを選び決定 ●放送メール下部にダウンロード予約ボタンが表示されることがあります。（☞93ページ）	■終わったら [元の画面] を押す	[ガイド ?]+[7][7][5]	未読の放送メールがあるときは、メニュー画面に「放送メール」の項目が表示されます。
双方向通信の結果一覧を見る 双方向通信一覧	[決定]「双方向通信一覧」を選び決定 [ガイド]		[ガイド ?]+[1][6][4]	
B-CASカードの番号などを見る B-CASカード	[決定]「B-CASカード」を選び決定 [ガイド]		[ガイド ?]+[1][6][6]	
本機のソフトウエアに関する情報などを見る ID表示	[決定]「ID表示」を選び決定 [ガイド]		[ガイド ?]+[1][6][7]	
110度CSデジタル放送から送られる **情報を見る** ボード	[決定]「ボード」を選び決定 [ガイド] ▶ [決定]「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び決定 ▶ [決定] 確認したい情報を選び決定		[ガイド ?]+[1][6][8]	

● いろいろな情報を見る

アンテナ線の接続





●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞90ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞90ページ）

●アンテナ電源を「オフ」にしてください。（☞90ページ）

お知らせ

● 本機には、2つのアンテナ端子がありますので、間違えないように接続してください。
● 電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞90ページ）
● 映像や音声が乱れる場合は、お求めの販売店にご相談ください。
● レコーダー（ディーガ）などの録画機器を接続される場合は、録画機器を経由してアンテナ接続してください。（詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。）
● 接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの（ケーブル、分配器、分波器、アンテナプラグなど）は変わります。詳しくは販売店にご相談ください。

■地上デジタル放送について

●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。
●専用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要になる場合があります。
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
●放送出力が増大された場合に、受信設備（ブースターなど）の再調整、変更が必要になる場合があります。

■ケーブルテレビ（CATV）を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで「CATVパススルー方式」により配信されている場合は「受信帯域選択」を確認して設定してください。（☞80、87ページ）

■衛星（BS・110度CS）放送について

●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は90ページを参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。
レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

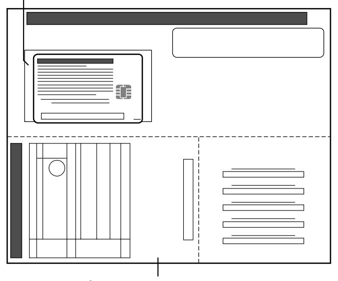
B-CAS（ビーキャス）カードの挿入

●カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
●**挿入しないとデジタル放送が映りません。**
●「使用許諾約款」を、よくお読みください。

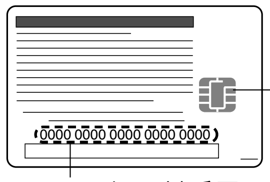
BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

B-CASカード（添付）
●デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。



ユーザー登録はがき
●はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。（登録は無料です）



B-CASカード番号
●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

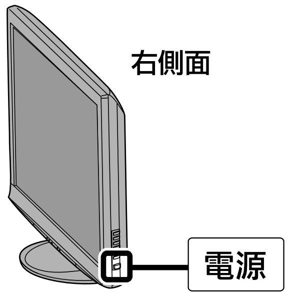
■B-CASカード取り扱い上の留意点

●折り曲げたり、変形させない。
●重いものを置いたり踏みつけたりしない。
●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
●IC（集積回路）部には手をふれない。
●分解加工は行わない。

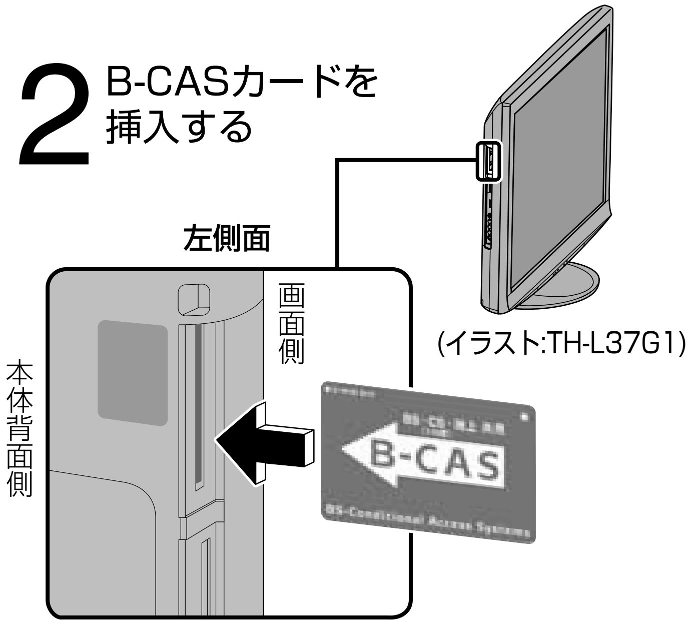
■B-CASカードについての
お問い合わせ（紛失時など）は

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る



2 B-CASカードを挿入する



（イラスト:TH-L37G1）

カードの矢印表示面を背面（画面と反対側）に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

●B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをするときは
（☞92ページ）

■B-CASカードを抜くとき

➡（1）本体の電源ボタンを「切」にする。
（2）B-CASカードを抜く。

●B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（☞132ページ）
●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。（☞92ページ）

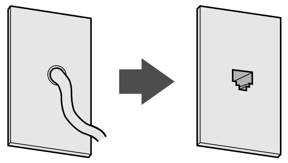
電話回線の接続

双方向サービスのあるデータ放送や視聴者参加番組を楽しむときに必要です。

■まず、電話回線コンセントを確認してください

●モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。

例：埋込み型プレートのとき



■工事をされる場合は

●電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。ご購入の販売店もしくはNTT営業所へご相談ください。

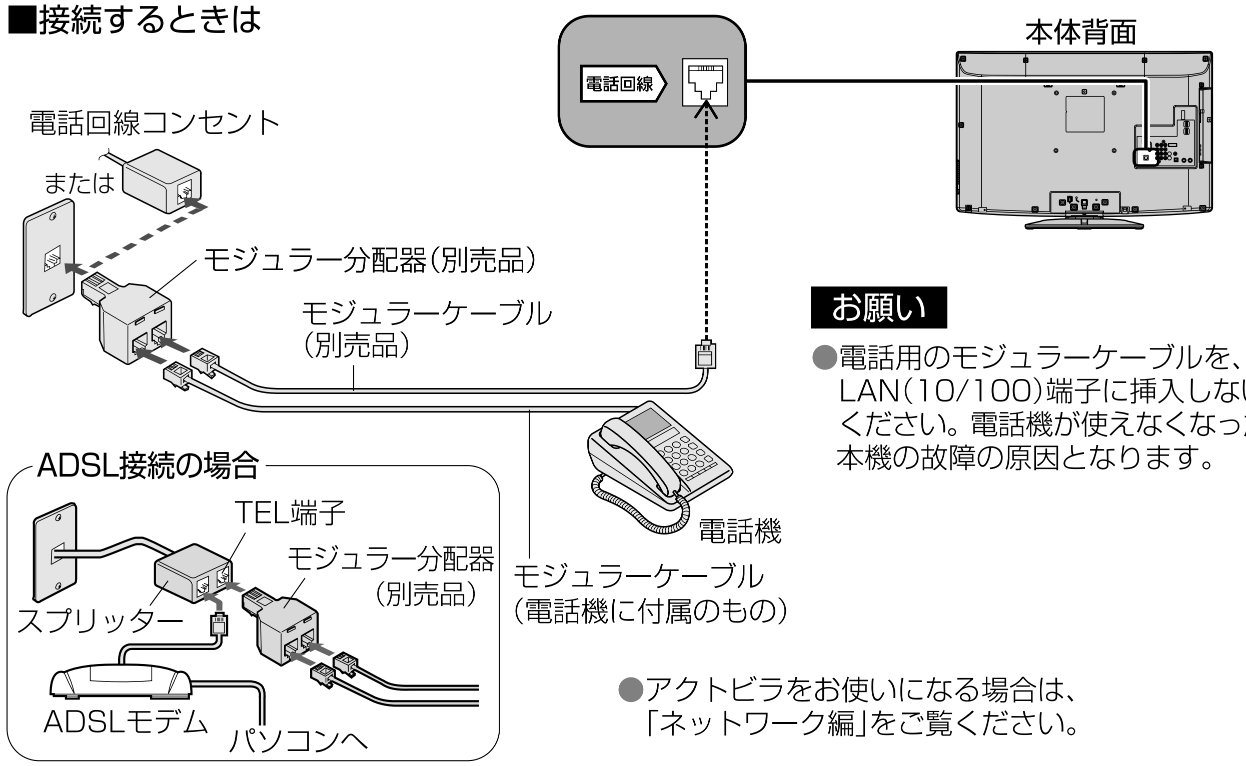
■次の電話回線には接続できません

●ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます）
●デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
●「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。
●ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）

■光IP電話をお使いの場合

●光IP電話では、データ放送の双方向サービスが利用できない場合があります。詳しくは、ご契約のIP電話業者に問い合わせください。

■接続するときは



お願い

●電話用のモジュラーケーブルを、LAN（10/100）端子に挿入しないでください。電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。

●アクトビラをお使いになる場合は、「ネットワーク編」をご覧ください。

■接続上のお願い

●モジュラー分配器について
- 本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。

●モジュラーケーブルについて
- 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。
- 市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。

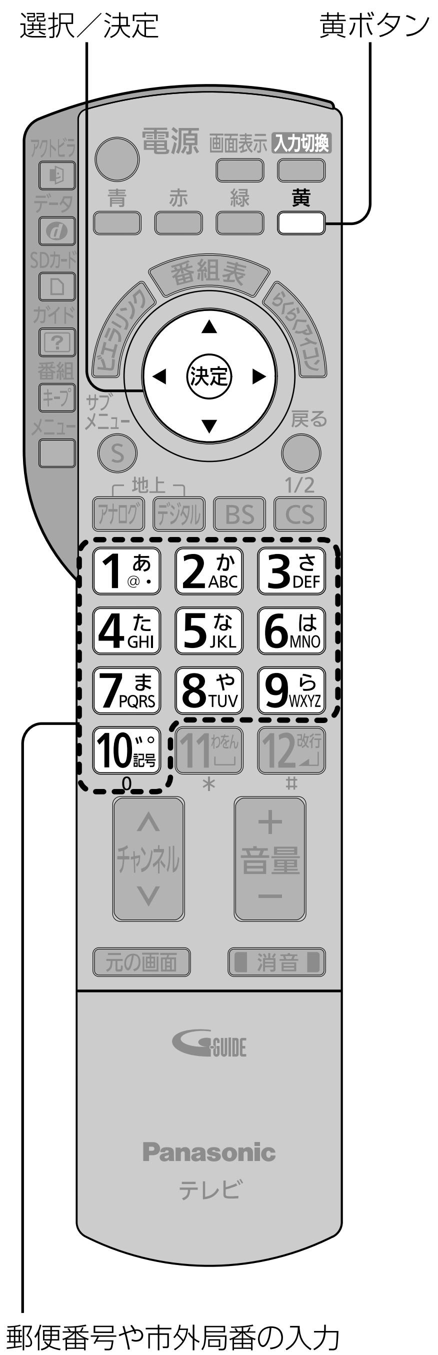
●ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。（☞91ページ）

かんたん設置設定

「かんたん設置設定」は最後の手順まで終了させてください。終了させないと、次回電源を入れたときにも「かんたん設置設定」の画面が表示されることがあります。

まず ご確認ください。

- アンテナの接続はお済みですか？（☞72ページ）
- B-CASカードは挿入されていますか？（☞74ページ）
- 電話回線の接続はお済みですか？（☞75ページ）
- リモコンの電池は入っていますか？（☞12ページ）

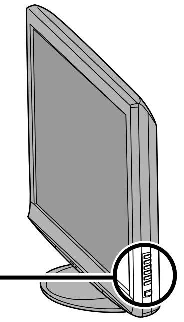


ご購入後初めて電源を入れたときは

画面の指示に従って、設置設定を行ってください

●引っ越しなどでやり直すときは（☞83ページ）

（本体右側面）



1 本体の電源を入れる

電源

> かんたん設置設定
> お買い上げありがとうございます。
> 正しくお使いいただくために各種設定を行います。

2 「決定」を押す

> かんたん設置設定
> 以下の準備はお済みですか?
> お済みでない場合は、一旦電源を切り、準備を終えた後、再度電源を「入」にしてください。
> ・アンテナ線の接続
> ・電話回線の接続
> ・B-CASカードの挿入
> ・接続機器の電源をお切りください

■本体操作部で設定するときは

（右側面） 設置設定 を押して、画面上の指示に従い操作してください。（リモコンは使えません。）

3 アンテナを接続済みのときは「決定」を押す

■アンテナが接続されていないときは

➡本体の電源を「切」にしてアンテナを接続する。（☞72ページ）

4 項目を選び「決定」を押す

> かんたん設置設定
> 画質の調整を設定します。
> テレビの画質をご家庭用に設定するか、店頭用に設定するかを選択してください。
> ご家庭用　店頭用

ご家庭用 映像メニューを「スタンダード」に設定します

店頭用 映像メニューを「ダイナミック」に設定します

※あとで映像メニューを変更することもできます。（☞50ページ）

（右ページへ続く☞）

地域の情報を受信するために **地域を登録する** 地域設定

5 お住まいの地域の郵便番号を入力し、「決定」を押す

1 ～ 10

> かんたん設置設定
> お住まいの地域の郵便番号を入力してください。
> データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
> 100－0011

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。

数字「0」は、10 を押します。

6 お住まいの都道府県を選び、「決定」を押す

> かんたん設置設定
> お住まいの都道府県を選択してください。
> データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
> 県域設定　東京都(島部除く)

- 伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

7 お住まいの地域の市外局番を入力し、「決定」を押す

（一覧表☞114ページ）

1 ～ 10

> かんたん設置設定
> お住まいの市外局番を入力してください。
> 地域に合った地上アナログチャンネル設定、地上アナログ放送と地上デジタル放送の番組データの受信を行うために必要です。
> 03－－－－

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。

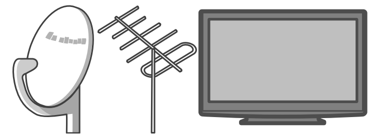
- ご購入後に初めて電源を入れられた場合は、表示内容をご確認の上「決定」を押してください。
- メニューからかんたん設置を実行された場合は、表示内容をご確認の上「はい」を選び、「決定」を押してください。
- 「1111」と入力すると工場出荷時（下記）のチャンネル設定になり手順**8**へ。

（次ページへ続く☞）

■工場出荷時の地上アナログ放送のチャンネル設定

リモコンボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	放送局名	リモコンボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	放送局名
1	1	1	----	予備5	52	スキップ0	----
2	2	2	----	予備6	62	スキップ0	----
3	3	3	----	予備7	C16	スキップ0	----
4	4	4	----	予備8	C22	スキップ0	----
5	5	5	----	予備9	C24	スキップ0	----
6	6	6	----	予備10	C25	スキップ0	----
7	7	7	----	予備11	C35	スキップ0	----
8	8	8	----	予備12	C36	スキップ0	----
9	9	9	----	予備13	C37	スキップ0	----
10	10	10	----	予備14	C38	スキップ0	----
11	11	11	----	予備15	C39	スキップ0	----
12	12	12	----	予備16	55	スキップ0	----
予備1	13	スキップ0	----	予備17	56	スキップ0	----
予備2	38	スキップ0	----	⟆	⟆	⟆	
予備3	48	スキップ0	----	予備23	62	スキップ0	----
予備4	50	スキップ0	----				

かんたん設置設定(つづき)



地上アナログ放送のチャンネルを確認する　受信チャンネルの確認・修正

8 地上アナログ放送の受信設定を確認する

■入力した市外局番の設定(114ページ)で良い場合
➡「次へ」を選び、「決定」を押す

修正確認
修正する　次へ
項目選択　決定　戻る

(☞ 80ページ手順10へ)

共同受信でチャンネルがずれているときなど
■修正したい場合 ➡「修正する」を選び、「決定」を押す

修正確認
修正する　次へ
項目選択　決定　戻る

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ
5	16	16	放送大学

9 修正・変更する方法を選ぶ

受信できる放送局を自動で探して「予備」に追加したい場合

※「リモコン」の1～12に「スキップ0」が設定されている場合は、「スキップ0」に先に上書き追加します。(「スキップ0」については☞右ページ)

青ボタンを押す

青

オートサーチの画面になり数分程度乱れた映像になります。

順番に受信内容を確認する

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

■この設定で良い場合 戻る を押す
(☞ 80ページの手順10へ)
■リモコンの行を入れ換えたいときや個々に修正したいときは下欄参照

行(リモコン)を入れ換えたいとき

緑 を押す　(85ページ「マニュアル」の項目を参照)

「CH」「表示」「放送局名」個々に修正したい場合

① 修正したい行(リモコン)を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

例 リモコン1の修正
●リモコンの番号は修正できません。

② 修正したい「CH」「表示」「放送局名」のいずれかを選ぶ

リモコン番号設定 1

CH	1
表示	1
放送局名	NHK総合東京

例 表示を選んだ場合

(右ページへ続く☞)

受信チャンネルの確認・修正(つづき)

「CH」「表示」「放送局名」個々に修正する(つづき)

CHの修正

③ リモコンのチャンネルボタンに割りあてられたCH(チャンネル番号)を修正する

で、チャンネルを選ぶ

1～62→C13～C63 の順に変化。

➡ 終わったら 戻る を押す
●続けて他の「CH」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

表示の修正

③ 選局時、画面に表示されるチャンネル番号を修正する

で、番号を選ぶ

スキップ0〈飛び越し〉→1～99→C13～C63
表示なし←BS1～BS15←VTR1～VTR9←VTR
の順に変化。

●うまく受信できなかったチャンネルは「スキップ0」が設定され、順送り選局時は飛び越し(スキップ)ます。

➡ 終わったら 戻る を押す
●続けて他の「表示」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

放送局名の修正

③ 放送局名を修正する

で、修正したい放送局を選ぶ

➡ 終わったら 戻る を押す
●続けて他の「放送局名」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

●正しい放送局名が設定されていない場合は番組表で表示されません。
●Gガイド地域一覧表でお住まいの地域にない放送局名は設定しても番組表に表示されません。(☞ 119ページ)

■放送局コード(118ページ)を入力して修正するとき

(1)左記手順②で「放送局名」の欄を選んだ後、「決定」を押す(入力モードになります)

放送局名設定
①～⑩ ボタンを使って、4桁の放送局コードを入力してください。
－－－－
青　赤　緑　黄 1文字削除
番号変更
桁移動　決定　戻る　①～⑩ 番号入力

(2)放送局コードを入力する

10 5 2 4　0524

例：「0524」テレビ東京

(3)入力したら、「決定」を押す
手順②の画面に戻り、放送局名を表示します。

修正が終わったら

④ 手順①の画面で、「戻る」を押して終了する

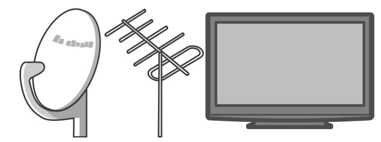
戻る

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

(次ページへ続く☞)

かんたん設置設定(つづき)



B-CASカードテスト

10 「決定」を押す(B-CASカードテストが開始される)

かんたん設置設定
B-CASカードテストを行います。
これは、デジタル放送を視聴するために
必要です。B-CASカードが挿入されているか
確認してください。
カードの挿入方向については、
テレビ本体のB-CASカード挿入部の表示
もしくは、取扱説明書を確認してください。

11 「OK」の表示を確認し、「決定」を押す

かんたん設置設定
テストが正しく終了しました。
デジタル放送やデータ放送を利用することができます。
次へお進みください。
B-CASカードテスト：OK

■「NG」が出たときは

➡ B-CASカードを正しく挿入し(☞74ページ)「はい」を選び、再度テストを行ってください。

●再度テストしない場合は「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押し手順**12**へ。

●「NG」では、デジタル放送をご覧いただけません。

地上デジタル放送を受信する　受信チャンネル設定

12 「はい」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
地上デジタルチャンネル設定を行いますか?
次の場合、何も受信しない可能性があります。
・アンテナが地上デジタルに対応していない。
・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局
　していない。
「いいえ」を選択すると、次の設定へ進みます。
はい　いいえ

●設定しないときは
➡「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押し82ページの手順**16**へ

13 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域設定
地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が
削除されます。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になります
ので、ご注意ください。
地域選択　東京

14 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

受信帯域選択
通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ(CATV)等で、地上デジタル放送が受信でき
なかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
(詳しくはCATV会社にご確認ください)
UHF　全帯域

●通常は「UHF」を選択してください。

●ケーブルテレビをお使いの場合で、ケーブルテレビ局からの信号が「CATVパススルー」方式の場合は「全帯域」を選んでください。
(VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします)

▼

お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを調べて設定しますので、しばらくお待ちください。

VHF帯などは、現在地上アナログ放送で使用されておりますが、2011年7月に地上アナログ放送は終了し、テレビ放送以外の用途に使用されることが国の方針で決定されています。
このため、UHF帯以外で地上デジタル放送の受信を継続される場合に受信障害が発生する可能性があります。

■地上デジタル放送について

●物理チャンネルについて
地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており(13～62ch)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

●3桁チャンネル番号
デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、ある放送は物理チャンネルの25chを使って「101」～「103」の3つの放送を提供します。この「101」「102」「103」を3桁チャンネル番号と呼びます。この内、下位1桁が「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。(この場合「101」)

●リモコンのチャンネルボタン
テレビ放送の場合、3桁チャンネル番号の上位2桁(上記の場合は「10」)は、リモコンのチャンネルボタンの番号と同じとする割り当てになります。(本機はできる限り自動でこの割り当てを行います)
即ち、この場合であれば 10 を押すと、3桁チャンネル番号の「101」(その放送局の代表チャンネル)が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。(☞116ページ)

●3桁チャンネル番号に枝番がつく場合
多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てる放送が複数受信できた場合に枝番がつきます。例:「011-0」、「011-1」、「011-2」

●地上デジタル放送の送信状況が変わったとき
「地上デジタル放送の送信状況が変わりました。」という放送メール(☞70ページ)が届くことがあります。このときは、地上デジタル放送のチャンネル設定(☞87ページ)の「初期スキャン」を実施してください。

●代表チャンネル以外の選局
下の手順**15**で「修正する」を選ぶと代表チャンネル以外の放送を設定できます。
また、チャンネル設定してない場合でも、チャンネル∧∨や3桁入力で、選局できます。

受信チャンネル設定(つづき)

15 設定内容を確認しない場合は、修正確認画面で「次へ」を選び、「決定」を押す

■設定内容を確認する場合は

①「修正する」を選び、「決定」を押す

②▲▼で内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	ーーーー	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ

放送局名

3桁チャンネル番号

放送サービスの種類(テレビ、データなど)

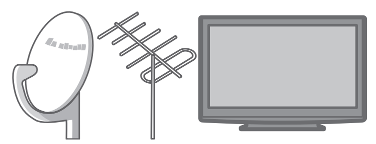
リモコンの選局ボタン(13～36に設定のチャンネルは、チャンネル∧∨で選局)

●受信エリア外の場合などは受信できません(☞73ページ)

■修正をしたいときは
87ページの「マニュアル」の項目を参照

■入れ換えをしたいときは
① 左図の画面で緑ボタンを押す
② ▲▼で入れ換えたい行(リモコン)を選び、「決定」を押す
③ ▲▼で入れ換え先の行(リモコン)を選び、「決定」を押す
④「戻る」を押す

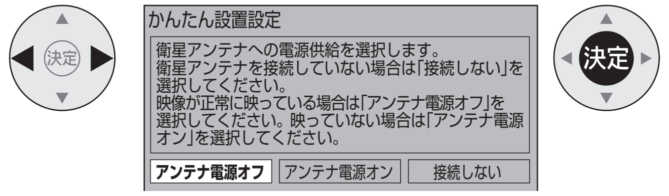
(次ページへ続く☞)



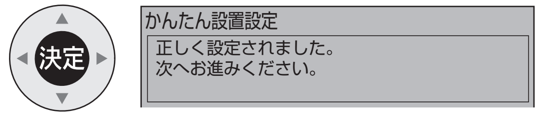
衛星アンテナへの電源を選択する

衛星アンテナ設定

16 衛星アンテナへの電源供給を選び、「決定」を押す



17 「正しく設定されました」の表示を確認し、「決定」を押す



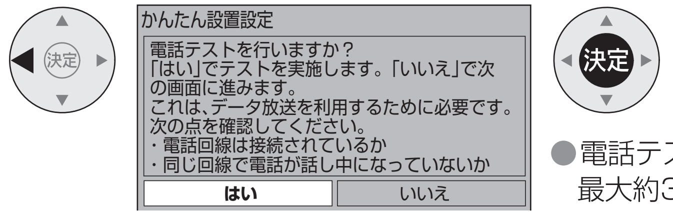
■正しく設定されない場合は

●「衛星アンテナのレベルが不足しています。」または「衛星アンテナのレベルが取得できません。」と表示されます。アンテナの接続や調整を確認し、「再設定」を選び、「決定」を押して再確認してください。(再設定しない場合は「次へ」を選び、「決定」を押してください。)

電話回線の接続を確認する

電話テスト

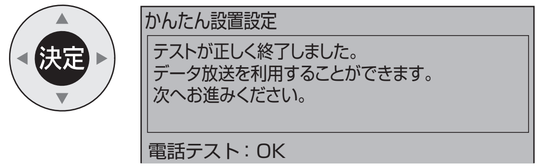
18 「はい」を選び、「決定」を押す(電話テストが開始される)



●電話テストの画面が表示され最大約3分間かかります。

●電話回線を接続していない場合は、「いいえ」を選び、「決定」を押してそのまま手順**20**に進んでください。

19 「OK」の表示を確認し、「決定」を押す



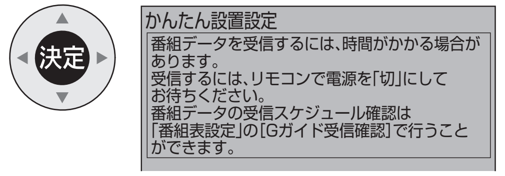
■「NG」が出たときは

➡ そのまま「決定」を押して手順**20**に進み、手順**21**終了後に電話設定を行う。(☞91ページ)

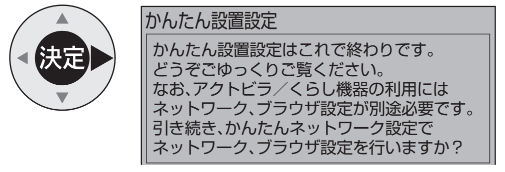
●視聴者参加番組や双方向のデータ放送を利用しないときは、電話回線接続は不要です。このときは、「NG」が出ますが問題ありません。

「かんたん設置設定」を終了する

20 番組表の注意事項を確認し、「決定」を押す



21 「いいえ」を選び「決定」を押して、終了する



●実行結果によっては、追加のメッセージが表示される場合があります。表示された場合は、表示内容を確認の上、その内容に従ってください。

●「はい」を選び「決定」を押すと、引き続きかんたんネットワーク設定を行うことができます。画面上の指示に従って操作してください。

●ネットワーク設定、ブラウザ設定、くらし機器設定は、後からそれぞれ設定することができます。(☞ネットワーク編 20〜23、34〜37ページ)
また、かんたんネットワーク設定だけを後からやり直すこともできます。
(☞ネットワーク編 18ページ)

●「衛星デジタル放送の受信ができないため、地上アナログ番組表データが受信できません。」と表示された場合は、まず衛星アンテナの電源(☞90ページ)を「オフ」にしてアンテナ線の接続(☞72ページ)をご確認ください。

引っ越しなどで「かんたん設置設定」をやり直したいとき

■メニューから「かんたん設置設定」をする

➡ ①「メニュー」を押す。
②「設定する」を選び、「決定」を押す。
③「初期設定」を選び、「決定」を押す。
④「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す。
⑤76ページの手順**4**に続く。

本体右側面の設置設定ボタンを3秒以上押しても、かんたん設置設定ができます。このときは、画面上の指示に従って操作してください。(リモコンは使えません。)

■メニューから一部の項目を設定する

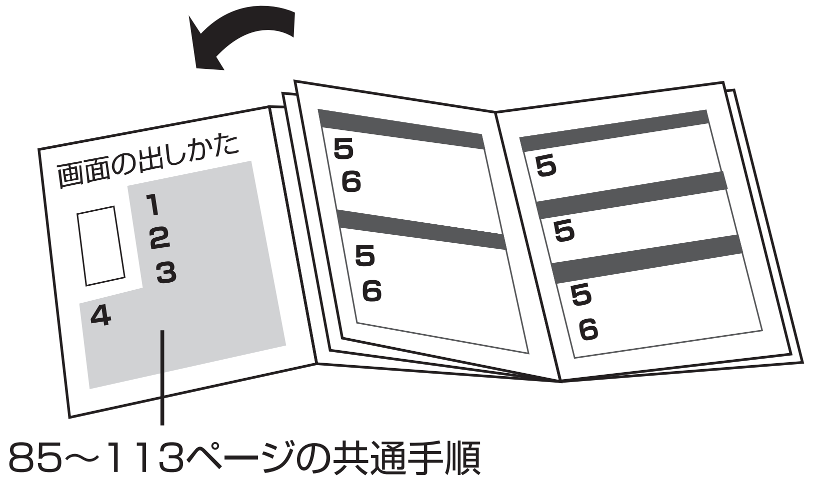
➡ やり直したい項目を選ぶ。(☞84〜92ページ)

■電源「入」時で「かんたん設置設定」を最初からやり直すには(お買い上げ時の状態にしたいとき)

➡ (1)上記の『メニューから「かんたん設置設定」をする』の手順①〜⑤を行う。
(2)77ページ手順**7**の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
(3)確認の画面で「はい」を選び、「決定」を押す。
(4)電源を「切」にし、再度「入」にする。(76ページの「かんたん設置設定」手順**1**の画面を表示)
※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

このページの裏面には
次ページ以降の項目で設定画面を出すための共通手順を記載しています。

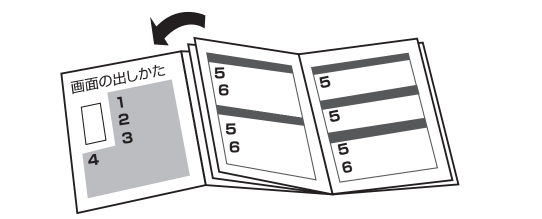
このように左側へ、広げてお使いください。

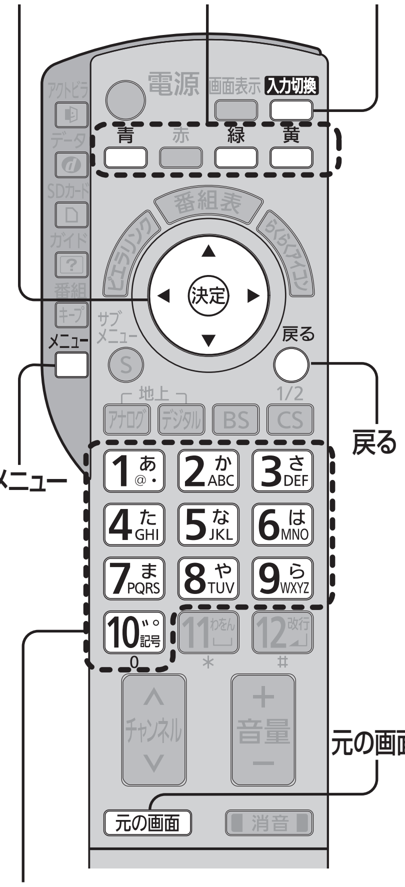


「設置設定」・「接続機器関連設定」画面の出しかた

次のような場合は、下記の手順で設定をしてください。
- ●引っ越しでテレビ放送の受信地域が変わったとき
- ●ブロードバンド環境の接続状況などが変わったとき
- ●接続している機器を変更したとき

左側のページを広げてお使いください。





1 「メニュー」を押して、「設定する」を選び、「決定」を押す

メニュー

VIERA メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組の内容を見る
- 番組を探す/予約する
- **設定する**
- 機器を操作する

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

- 画面の設定
- システム設定
- **初期設定**

3 「設置設定」、「接続機器関連設定」、「自動更新設定」または「設定リセット」を選び、「決定」を押す

- かんたん設置設定
- かんたんネットワーク設定
- **設置設定**
- 省エネ設定
- **接続機器関連設定**
- **自動更新設定**
- **設定リセット**

「設置設定」「設定リセット」の場合、「決定」を3秒以上押す

4 設定したい項目を選び、「決定」を押す（または◀▶で設定する）

■「設置設定」画面

設置設定 1／2	
受信対象設定	（☞86ページ）
チャンネル設定	（☞85～87ページ）
番組表設定	（☞88ページ）
地域設定	（☞88ページ）
受信設定	（☞89,90ページ）
電話設定	（☞91,92ページ）
クイックスタート　切｜入	（☞92ページ）
B-CASカードテスト　—	（☞92ページ）

設置設定 2／2	
ネットワーク設定	（☞ネットワーク編）
ブラウザ設定	（☞ネットワーク編）
くらし機器設定	（☞ネットワーク編）

■「接続機器関連設定」画面

接続機器関連設定 1／2	
ビエラリンク(HDMI)設定	（☞101ページ）
Irシステム設定	（☞106ページ）
HDMI音声入力設定	（☞96ページ）
ビデオ入力表示書換	（☞109ページ）
デジタル音声出力　自動	（☞113ページ）
デジタル音声予約録画連動　する｜しない	（☞112ページ）

接続機器関連設定 2／2	
モニター出力停止設定	（☞109ページ）
入力自動スキップ　オフ｜オン	（☞111ページ）
PCスキップ　オフ｜オン	（☞107ページ）
HDMI1スキップ　オフ｜オン	（☞96ページ）
HDMI2スキップ　オフ｜オン	（☞96ページ）
HDMI3スキップ　オフ｜オン	（☞96ページ）

以降の操作（手順**5**～）は、各ページをご覧ください。

85ページの手順5へ、つづく

左記以外のメニュー画面の早見一覧

VIERA メニュー
- 画質を調整する（☞48ページ　PC入力時は50ページ）
- 音声を調整する（☞50ページ）
- 番組の内容を見る（☞52ページ）
- 番組を探す/予約する（☞22ページ）
- 設定する（☞28, 32ページ）
- 機器を操作する
- 放送メール
- ネットで使い方ガイド（☞24ページ）
- タイマー（☞70ページ）

「放送メール」は未読の放送メールがある時のみ表示

設定する
- 画面の設定
- システム設定
- 初期設定（左下参照）
- 情報を見る

システム設定
- おすすめ番組設定（☞34ページ）
- 字幕の設定（☞54ページ）
- 制限項目設定（☞ネットワーク編）
- 文字入力設定
- 選局対象　すべて
- 右画面操作　解除｜ロック
- 音声出力　左画面｜右画面（☞54ページ）
- タイトル表示　オフ｜オン
- 表示の設定
- 録画・視聴設定（☞40ページ）

情報を見る
- 放送メール
- 双方向通信一覧
- B-CASカード（☞70ページ）
- ID表示
- ボード

機器を操作する
- ビエラリンク
- SDカード

初期設定
- かんたん設置設定（☞76ページ）
- かんたんネットワーク設定（☞ネットワーク編18ページ）
- 設置設定（☞左ページ）
- 省エネ設定（☞26ページ）
- 接続機器関連設定（☞左ページ）
- 自動更新設定（☞93ページ）
- 設定リセット

VIERA SDカード
- スライドショー開始
- 写真を見る
- ビデオ一覧を見る

（☞58ページ）

SDカード を押して、直接、呼び出すこともできます。

VIERA Link
- ディーガの操作一覧
- 見ている番組を録画
- 録画を停止する
- 番組キープ／再生
- 音声をAVアンプから出す

（☞62～67ページ）
接続している機器によって表示内容は変わります。

ビエラリンク を押して、直接、呼び出すこともできます。

地上アナログ放送のチャンネル修正

- ●引越しなどで放送局を設定したいときは、左ページの手順**3**で「かんたん設置設定」を選び、76ページの手順**4**から設定してください。
- ●チャンネルを修正したいときは、下記の「マニュアル」の手順で、修正してください。（地上デジタル放送の普及で地上アナログ放送の受信状況が変わったときなどは、「オート」の手順で再設定してください。）

チャンネル設定を修正したいとき マニュアル　映りが悪いとき 微調整

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

6 「マニュアル」を選び、「決定」を押す

マニュアル｜オート

7 修正したい行（リモコン）を選び、「決定」を押す

地上アナログチャンネル設定			
リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

8 78・79ページの手順②③を行う

9 修正が終わったら 戻る を押して終了する

■リモコン番号ごとに設定した項目（「CH」や「表示」など）を行ごと全て入れ換えたいときは
1. ① 手順**7**の画面で緑ボタンを押す。
2. ② ▲▼で入れ換えたい行（リモコン）を選び、「決定」を押す。
3. ③ ▲▼で入れ換え先の行（リモコン）を選び、「決定」を押す。
4. ④「戻る」を2回押して、終了する。

■映りが悪いときは（微調整）
1. ① 手順**7**の画面で、微調整したいチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
2. ② ◀▶で見やすくなるように調整する。（約10秒間、ボタン操作しないと手順**7**の画面に戻ります。）
3. ③「戻る」を押すと、手順**7**の画面に戻ります。

（終わったら 元の画面 を押す）

地上アナログ放送の受信状況が変わったとき 受信できる局を自動で探す オート

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

6 「オート」を選び、「決定」を押す

マニュアル｜**オート**

オートサーチの画面になり数分程度、乱れた映像になります。

7 内容を確認する

地上アナログチャンネル設定			
リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	—
2	14	14	—
3	3	3	—
4	4	4	—

8 確認したら 戻る を押して終了する

- ●「オート」を選ぶとこれまでの設定をリセットし、受信可能な放送局を設定しなおします。
- ※別途、放送局名の設定が必要です。（☞79ページ）

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送の チャンネル修正／受信対象設定

●BS、CS1、CS2は工場出荷時に設定されますが、お好みに合わせて変更することもできます。
●よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンに登録すると便利です。
●チャンネル設定のリモコン1〜12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1〜12で選局できます。

リモコンのボタンに割り当てられた 衛星デジタルのチャンネルを変える チャンネル設定（デジタル放送） （BS・CS1・CS2）

84ページの手順1〜4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で、「BS」または「CS1」または「CS2」を選び、「決定」を押す

6 「変えたい」行（リモコン番号）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	**141**	**BS日テレ**	**テレビ**
5	151	BS朝日1	テレビ
6	161	BS-iテレビ⑥	テレビ
7	171	BSジャパン	テレビ

7 「CH」のチャンネル番号を変えて、「戻る」を押す

リモコン番号設定 4

CH	200
チャンネル名	スター・チャンネル
種類	テレビ

戻る

●選局対象（☞54ページ）を「設定チャンネル」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

使わない放送を操作できないようにする 受信対象設定 （地上アナログ BS・CS）

※テレビ本体とリモコンの両方で設定が必要です。

84ページの手順1〜4で「受信対象設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信対象設定

5 テレビ本体の設定

受信しない放送を選び、「使わない」に設定する

受信対象設定

地上アナログ	**使う**	**使わない**
BS	使う	使わない
CS	使う	使わない

●「使わない」に設定した放送は、放送切換ボタンで、その放送を選べません。

（テレビ本体の設定が終わったら 元の画面 を押す）

6 リモコンの設定

リモコンの「電源」と放送切換ボタン、順送り選局ボタンの下側を同時に約3秒間押す

例：地上アナログ放送を操作できなくする場合

電源 ＋ アナログ ＋ チャンネル∨

を同時に約3秒間押す

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を操作できなくする場合は、アナログ の代わりに BS や CS を押してください。

●リモコンの設定が完了すると、リモコンの放送切換ボタンが3回点滅します。
●この操作を行うと、設定した放送へのリモコンを使った放送切換や、選局の操作ができなくなります。
●設定を解除するときは、チャンネル∨ の代わりに ∧チャンネル を押してください。

地上デジタル放送の チャンネル設定

●地上デジタル放送用UHFアンテナの接続はお済みですか？（☞72ページ）

引っ越しなどで受信地域が変わって再設定したいときや、新しく地上デジタル放送をご覧になりたいとき 改めて自動で受信設定する 初期スキャン

放送局とチャンネル番号の組み合わせは（☞116ページ）

84ページの手順1〜4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン｜再スキャン

7 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択｜東京

8 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

UHF｜全帯域

●通常は「UHF」を選んでください。
（受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します）
（今までの設定はすべてリセットされます）
●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13〜C63の帯域をスキャンします。
●10分程度かかり、乱れた映像になることがあります。

9 設定内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	**011**	**NHK総合**	**テレビ**
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	―――――	
4	041	日本テレビ	テレビ

戻る

■修正したいときは（☞マニュアルの手順**7**へ）

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送の チャンネル修正

●地上デジタル放送の受信状況が変わったときなどにチャンネル修正をしてください。

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき 受信できる局を自動で追加 再スキャン

84ページの手順1〜4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「再スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン｜再スキャン

●10分程度かかり、乱れた映像になることがあります。

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

7 設定内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	**011**	**NHK総合**	**テレビ**
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	―――――	

戻る

■修正したいときは（☞マニュアルの手順**7**へ）

（終わったら 元の画面 を押す）

自動で設定したチャンネル設定を 修正したいとき マニュアル

84ページの手順1〜4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「マニュアル」を選び、「決定」を押す

再スキャン｜マニュアル

7 修正したいチャンネルを選び、「決定」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	**011**	**NHK総合**	**テレビ**
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	―――――	
4	041	日本テレビ	テレビ

8 修正したいチャンネル番号に変えて、「戻る」を2回押す

リモコン番号設定 1

CH	011
チャンネル名	NHK総合・東京
種類	テレビ

戻る
2回押す

■設定した項目（「放送局名」や「CH」など）を他のリモコン番号と入れ換えたいときは（☞81ページ手順**15**の「■入れ換えをしたいときは」①〜④へ）

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表設定／地域設定

●番組表を使うために必要な設定です。
●Gガイド地域設定と地域設定は、「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。
変更が必要な場合のみ設定してください。

番組表設定　お住まいの地域に合った 番組表を表示させる　Gガイド地域設定

84ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5「Gガイド地域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

Gガイド地域設定　東京23区
Gガイド受信確認

●設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。
（☞76ページ）

お願い
●選んだ地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表に表示されません。Gガイド地域一覧表（☞119ページ）で必ずお確かめください。

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表設定　番組表データの受信スケジュールを確認する　Gガイド受信確認

84ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5「Gガイド受信確認」を選び、「決定」を押す

Gガイド地域設定　東京23区
Gガイド受信確認

Gガイド受信確認
地上D　Gガイド受信スケジュール
地上デジタル　XX：XX～XX：XX
BS　Gガイド受信スケジュール
地上アナログ　XX：XX～XX：XX
BS　XX：XX～XX：XX
CS1　XX：XX～XX：XX
CS2　XX：XX～XX：XX
テレビの視聴、または予約実行などによって、予定時間に番組データが受信できないことがあります。

●地上デジタル放送のGガイド受信スケジュールが表示された後、衛星デジタル放送のGガイド受信スケジュールが表示されます。
結果の表示に最大で6分かかります。

●受信スケジュールが表示されないときは（「番組データの受信ができません」と表示）アンテナの接続および上記の設定をご確認ください。

（終わったら 元の画面 を押す）

地域設定　データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために 地域を変更する　地域設定

84ページの手順1～4で「地域設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 地域設定

5「県域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

県域設定　東京都（島部除く）
郵便番号　100-0011

お知らせ
●伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

6「郵便番号」を選び、「決定」を押す

県域設定　東京都（島部除く）
郵便番号　100-0011

郵便番号を入力し、「決定」を押す

1 ～ 10　100-0011

●間違えたときは➡ 黄 を押す。

7 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

■「県域設定」と「郵便番号」を削除するには
（1）▼で「地域設定削除」を選び、「決定」を押す。
（2）◀で「はい」を選び、「決定」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定（地上デジタル）

●アンテナを調整するときに受信設定をしてください。

地上デジタルアンテナ（UHF）が個別のとき アンテナのレベルを最大にする　アンテナレベル（地上デジタル）　●共同アンテナのときは不要。

84ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

受信設定
地上アナログ
地上デジタル
衛星

6「決定」を押す

受信設定
アッテネーター　オフ　オン
物理チャンネル選択　○○CH
アンテナレベル
受信状況　○○○○受信中
受信レベル　現在 45　最大 50

受信中の放送局名
最大感知レベル
現在のアンテナ入力レベル（受信の目安は44以上）

物理チャンネルについて
●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

アンテナレベルについて
●アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
●アンテナレベルは天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。

7「物理チャンネル」を入力し、「決定」を押す

1 ～ 10

物理チャンネル入力
①～⑩、黄ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
20CH

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

●間違えたときは➡ 黄（黄ボタン）を押す。
●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（80、87ページ）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、緑 2 10 と入力します。
（「C」は、リモコンの 緑（緑ボタン）で入力／削除）

8 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定(地上デジタル・地上アナログ)

●放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときに、設定してください。

映像が不安定になるとき　アッテネーター(地上デジタル・地上アナログ)

84ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5 「地上アナログ」または「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

受信設定
- 地上アナログ
- 地上デジタル
- 衛星

6 「アッテネーター」を選び、「オン」を選ぶ

例：地上デジタル放送のとき

受信設定

アッテネーター	オフ	オン
物理チャンネル選択	○○CH	

● 強すぎる電波を弱めます。

(終わったら 元の画面 を押す)

受信設定(衛星)

●アンテナを調整するときに受信設定をしてください。

衛星アンテナが個別のとき　アンテナのレベルを最大にする　アンテナ電源　アンテナレベル(衛星)

●共同アンテナのときは不要。

84ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5 「衛星」を選び、「決定」を押す

受信設定
- 地上アナログ
- 地上デジタル
- 衛星

6 「アンテナ電源」を選び、「オン」を選ぶ

受信設定

アンテナ電源	オフ	オン
トランスポンダ選択	BS○○○	
衛星周波数	11.9960GHz	

アンテナレベル

受信状況	○○○○受信中
受信レベル	現在 52　最大 60

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。(ブースターなどからコンバーターへの電源を供給しているときは「オフ」にしてください。)

7 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

アンテナレベル

受信状況	○○○○受信中
受信レベル	現在 52　最大 60

受信可能レベルに達したときに表示

現在のアンテナレベル(受信の目安は50以上)

最大感知レベル

(お知らせ)

●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。

「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定

●双方向通信を利用した番組を楽しむために必要な設定です。
●電話回線の接続はお済みですか？(☞75ページ)

電話設定　電話回線を設定する　回線設定　トーン検出

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「回線設定」または「トーン検出」を選び、設定する

電話設定　1／2

回線設定	自動	
トーン検出	する	しない

トーン検出
●通常ご使用のとき→「する」
●受話器を上げても『ツー』音が聞こえないとき→「しない」

回線設定
●電話テストで自動的に選ぶとき→「自動」
●自動でうまく設定できないとき→
- ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合は「プッシュ」
- 出ない場合は「ダイヤル20(20pps)」か「ダイヤル10(10pps)」を選ぶ。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定　外線使用時に 0発信などが必要な電話のとき　内線設定

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「内線設定」を選び、「決定」を押す

- 内線設定
- 電話テスト　－－

0発信の電話のときは「0」を入力し、決定を押す

(例) 10 → 内線設定 0－－－－－－－

6 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

●間違えたときは➡ 黄 (黄ボタン)を押す。
●0発信の後、外線につながるまで時間のかかる電話のとき
➡ 青 (青ボタン)を押す。
(画面に「，」を表示。1つで3秒の待ち時間)

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定　電話設定が正しく設定されているか 確認する　電話テスト

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「電話テスト」を選び、「決定」を押す

- 内線設定
- 電話テスト　－－

OK	正常終了。
NG	画面の指示に従ってください。
テスト中	テスト中。(最大約3分間かかります)

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定　相手に電話番号を通知するか決める　発信者番号通知

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「発信者番号通知」を選び、設定する

電話設定　2／2
- 発信者番号通知　指定なし
- 電話会社設定

通知する	相手に常に通知する。
通知しない	相手に常に通知しない。
指定なし	電話会社との契約に従う。

※この設定が有効になる放送(サービス)は、2009年1月現在ありません。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定（つづき）

電話設定　本機から電話をかけるときのみ 電話会社を変えたいとき

電話会社設定※　マイラインプラス※

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「電話会社設定」を選び、「決定」を押す

電話会社設定
マイラインプラス　解除する　解除しない

6 電話会社の番号を入力し、「決定」を押す

1～10

電話会社設定
0077－－－－

●間違えたときは ➡ 黄（黄ボタン）を押す。

7 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

8 マイラインプラスを契約のとき、「マイラインプラス」を選び、「解除する」を選ぶ

電話会社設定
マイラインプラス　解除する　解除しない

※この設定が有効になる放送（サービス）は、2009年1月現在ありません。　（終わったら 元の画面 を押す）

クイックスタート／B-CASカードテスト

電源を入れてからの出画時間を早める　クイックスタート

84ページの手順1～3で「設置設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定

4 「クイックスタート」を選び、「入」にする

電話設定
クイックスタート　切　入
B-CASカードテスト　－－

入	リモコンで電源「切」のとき、出画時間が早くなります。 ●1日以上本機を使用しなかったときは、通常の出画時間となります。
切	通常の出画時間となります。

（終わったら 元の画面 を押す）

B-CASカードの動作を確認する　B-CASカードテスト

※B-CASカードを挿入（☞74ページ）して3秒以上たってから行ってください。

84ページの手順1～3で「設置設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定

4 「B-CASカードテスト」を選び、「決定」を押す

電話設定
クイックスタート　切　入
B-CASカードテスト　－－

電話設定
クイックスタート　切　入
B-CASカードテスト　OK ― 結果

●「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。（☞74ページ）

（終わったら 元の画面 を押す）

自動更新設定／設定リセット

自動更新設定
●デジタル放送で送られる新しい情報のダウンロード方法を選びます。

設定リセット
●本機を初期状態にするための設定です。

自動更新設定　デジタル放送で送られる新しい情報の 放送ダウンロードの方法を選ぶ　ダウンロード予約

84ページの手順1～3で「自動更新設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 自動更新設定

4 「自動」または「手動」を選ぶ

自動更新設定
ダウンロード予約　自動　手動

放送ダウンロードについて
●デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

自動	通常は「自動」をおすすめします。 情報が届いた場合は、リモコンで電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。
手動	情報が届いた場合、メールでお知らせします。 ➡ メールを確認し、「ダウンロード予約」を「する」か「しない」を選ぶ。 （☞「放送メール」70ページ）

（終わったら 元の画面 を押す）

設定リセット　アンテナ電源（衛星デジタル）、電話設定の設定値を 工場出荷状態に戻す　設定項目リセット

84ページの手順1～3で「設定リセット」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設定リセット

4 「設定項目リセット」を選び、「決定」を押す

設定リセット
設定項目リセット
個人情報リセット

5 「はい」を選び、「決定」を押す

設定項目リセット
はい　いいえ

●「アンテナ電源（衛星デジタル）」「電話設定」の各項目が、工場出荷状態に戻ります。

（終わったら 元の画面 を押す）

設定リセット　本機を廃棄されるときなどに 情報をすべて削除する　個人情報リセット

84ページの手順1～3で「設定リセット」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設定リセット

4 「個人情報リセット」を選び、「決定」を押す

設定リセット
設定項目リセット
個人情報リセット

3秒以上押す

5 「はい」を選び、「決定」を押す

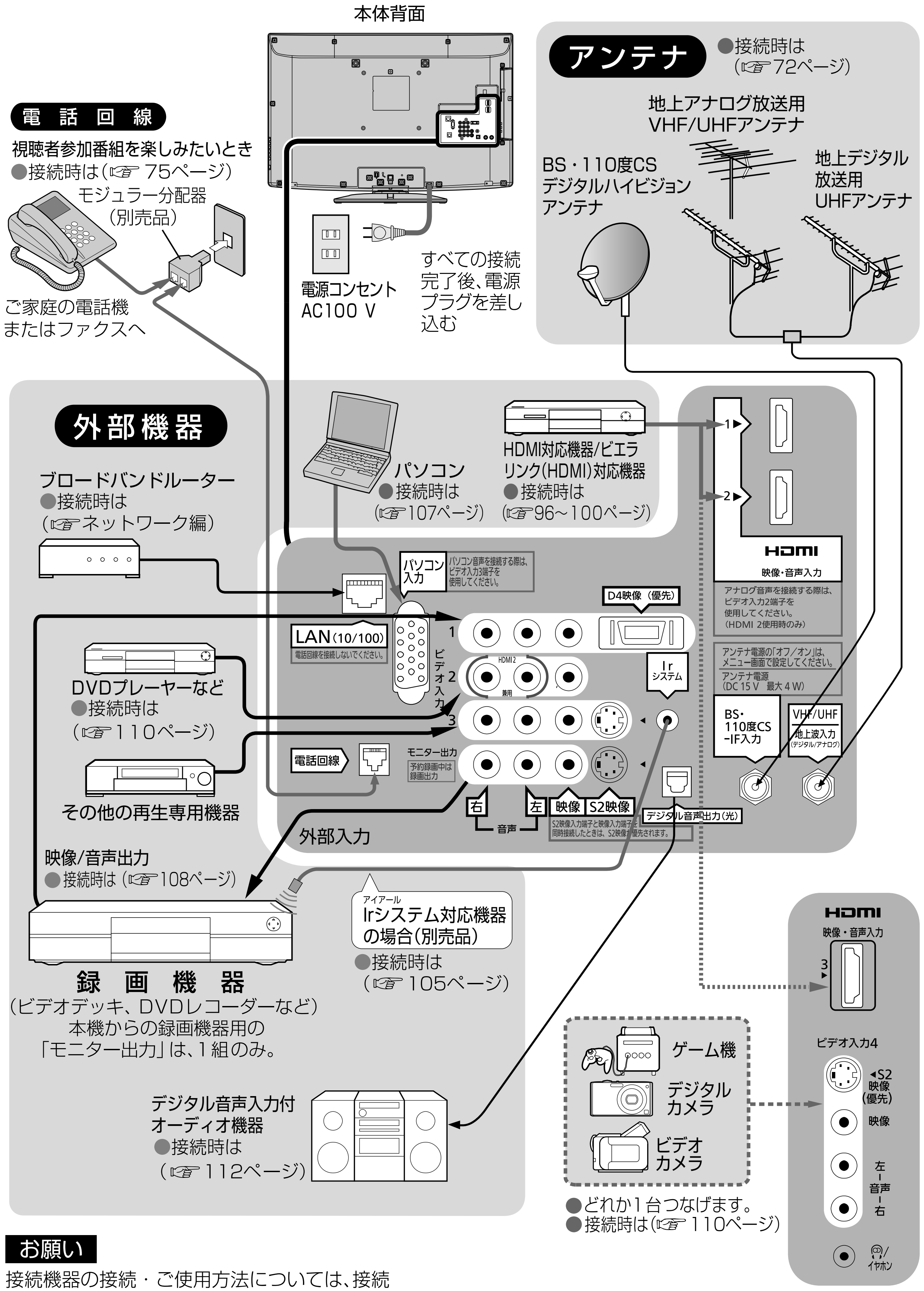
個人情報リセット
はい　いいえ

●本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（アクトビラ有料サービスの購入情報やメール、データ放送のポイント、暗証番号など）が、すべて削除されます。
●本操作後は、本体の電源を「切」にしてください。

（終わったら 元の画面 を押す）

お願い
●廃棄などで本機を手放される以外には、実行しないでください。
●双方向データ放送やアクトビラをご利用の場合、本機からの操作により、放送局やインターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作（退会手続きなど）を行ってください。

いろいろな機器との接続



(左側面)

お願い

接続機器の接続・ご使用方法については、接続
される機器側の取扱説明書もご確認ください。

録画・再生機器の接続の前に

録画機器の接続と設定

●VHSのビデオデッキ、DVDレコーダーなどの接続と設定は、
下記の通り行ってください。

ビエラリンク(HDMI)対応の機器ですか？

- はい → ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定(☞98～103ページ)
- いいえ → Irシステム対応の機器ですか？(わからないときは☞42ページ)
  - はい → Irシステムの接続と設定(☞104～106ページ)
  - いいえ
  - → D端子付きの機器ですか？
    - はい → D端子付きの録画機器の接続(☞108ページ)
    - いいえ → D端子のない録画機器の接続(☞108ページ)

再生専用機器の接続と設定

●DVDプレーヤーやビデオ
カメラ、デジタルカメラ
などの接続と設定は、下記の
通り行ってください。

左側面に接続する
機器を決める
(頻繁に取り外しをする機器)

↓

再生専用機器の接続
(☞110ページ)

↓

ビデオ入力表示書換やモニター出力停止設定(☞109ページ)　入力自動スキップ(☞111ページ)

接続のご注意

●本機への入力接続について
アナログビデオ入力は3種類あります。一般的に画質の優れている順番は下記の通りです。
お使いの状況に合わせてお選びください。

ビデオ入力端子 → S2映像入力端子 → D端子(D4映像入力端子) → 高画質

●本機からのモニター出力について
●地上アナログ放送は、本機のS2映像出力端子からは、出力されません。地上アナログ放送を録画される場合は、本機のS2映像出力端子を録画機器に接続しないでください。
●コピーガードがかかっている番組の映像を本機の映像出力端子から出力し、録画機器を経由して他の録画機器およびテレビを接続した場合、正常に録画・視聴できないことがあります。

●ハイビジョン放送の録画について
地上アナログ放送と同程度の画質で録画されます。

接続コード(別売品)

●映像／音声コード(長さ2 m)

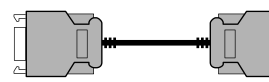
品番：RP-CVP3G20

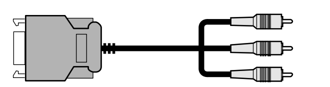
●ステレオ音声コード(長さ2 m)

品番：RP-CAP3G20

●映像コード(長さ2 m)

品番：RP-CVP0G20

●D端子映像コード(長さ1.5 m)

品番：RP-CVDG15A

●D端子ーピン映像コード(長さ1.5 m)

品番：RP-CVCDG15

●S映像コード(長さ2 m)

品番：RP-CVS0G20

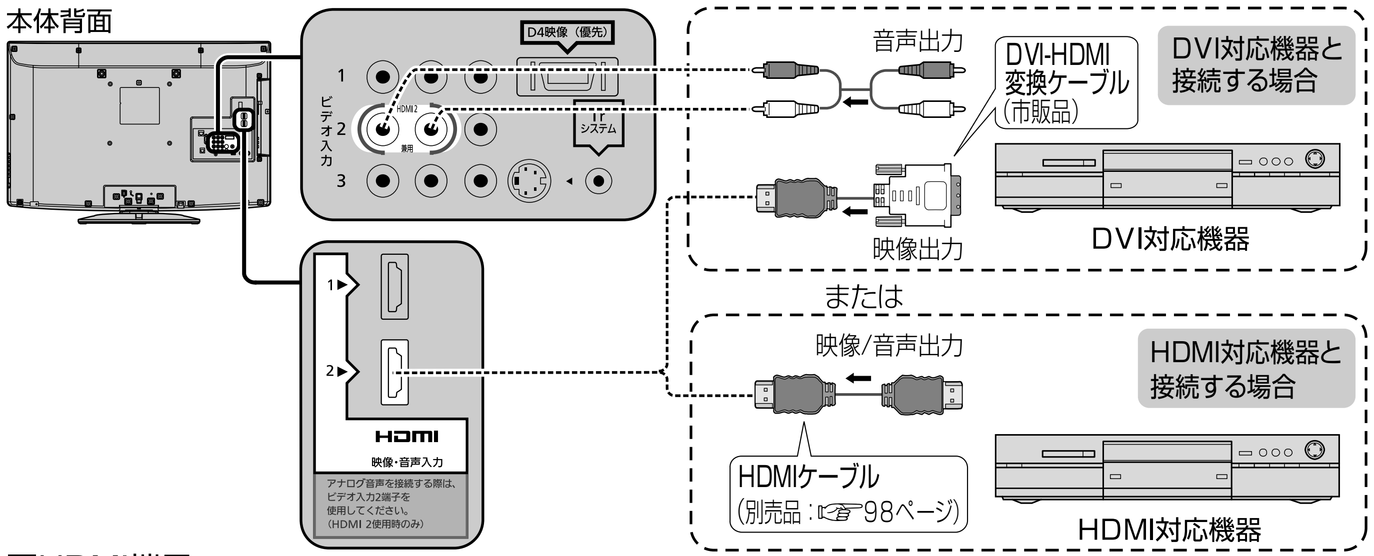
●HDMIケーブル(☞98、100ページ)

エッチディーエムアイ

HDMI対応機器の接続と設定

●➡は、信号の流れを示します。

接　　続



■HDMI端子

●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI2とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」が必要です。

- 対応している映像信号
  480i、480p、720p、1080i、1080p(24 Hz/59.94 Hz/60 Hz)
- 対応している音声信号
  種類：リニアPCM、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

お知らせ

●本機はHDMIおよびDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

●HDMI1、3端子では、アナログ音声を使用できません。

●HDMI3端子(本体左側面)にHDMI機器を接続しているとき、本機の入力をHDMI3以外に切り換えると、HDMI接続機器が正常に動作しなくなることがあります。この場合は、入力をHDMI3にすると直ります。

お願い

●HDMIケーブルは、HDMIロゴのついているケーブルをご使用ください。

●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、アナログ音声端子に音声コードを接続してください。

HDMI対応機器と接続したとき　HDMI音声入力設定

84ページの手順1～4で「HDMI音声入力設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ HDMI音声入力設定

5 「HDMI2音声入力設定」を選び、設定する

HDMI2 音声入力設定　HDMI

HDMI …HDMI対応機器に接続するとき
(工場出荷時)

アナログ …DVI対応機器に接続するとき

●HDMI1、3端子はHDMI音声入力設定ができません。

(終わったら 元の画面 を押す)

入力切換ボタンを押したとき HDMI入力を飛ばす　HDMIスキップ

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 設定したいHDMI入力を選び、「オン」を選ぶ

PCスキップ	オフ	オン
HDMI1 スキップ	オフ	オン
HDMI2 スキップ	オフ	オン
HDMI3 スキップ	オフ	オン

オン … 入力切換 を押しても、HDMI入力には切り換わりません。

オフ … 入力切換 を数回押してHDMI入力を選択できます。
(工場出荷時)

(終わったら 元の画面 を押す)

ビエラリンク(HDMI)について

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

●本機とHDMI ケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作できる機能です。

※すべての操作ができるものではありません。

●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。

●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その取扱説明書をご確認ください。

●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。ビエラリンク(HDMI)Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2008年12月現在)

接続／設定方法は ☞ 98～103ページ

ビエラリンク(HDMI)の簡単操作とは…

●本機のリモコン１つでレコーダー(ディーガ)の操作ができます。

- 簡単再生(画面をレコーダー(ディーガ)に切り換え、再生します)
- レコーダー(ディーガ)のメニューの操作
- 今見ている番組を簡単録画
- 本機の番組表から録画予約

●本機の電源を「切」にするとレコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も連動して「切」にできます。

●本機のリモコンでAVアンプの音声に切り換え、音量調整ができます。

●AVアンプのリモコンで簡単シアター再生ができます。
(ワンタッチでレコーダー(ディーガ)の映像、AVアンプの音声に切り換え、再生します)

詳しい操作方法は ☞ 62～67ページ

ご使用の際のご注意点

●電源オフ連動を「する」に設定しても録画中など、接続機器の状態によっては、すべての機器の電源が「切」にならない場合があります。

●電源オン連動を「する」に設定時は、リモコンで本機の電源を「切」にするとテレビ本体の電源ランプは橙色になります。これは、電源オン連動の機能が待機状態であることを示すためで、消費電力は電源ランプが赤色のときとほとんど変わりません。
(データ取得ランプ点灯時は除く)

●ビエラリンク(HDMI)が正しく動作しなかった場合は、下記をご覧ください。

ビエラリンク(HDMI)に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、**HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認の上**、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す。

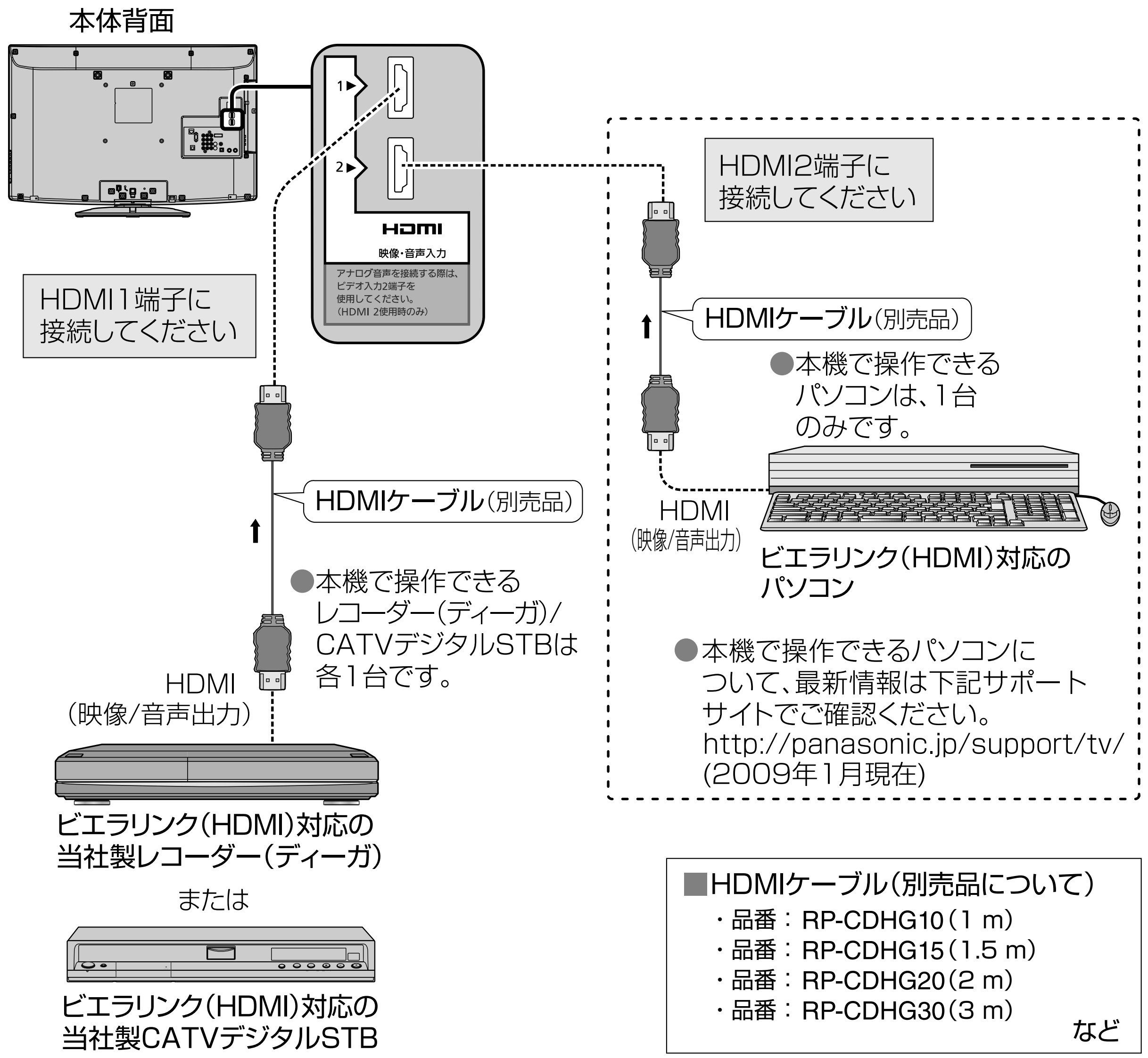
② 入力切換 を押して入力を切り換え(☞22ページ)、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する。

③62～67ページの手順で機器が操作できることを確認する。

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続

レコーダー(ディーガ)、CATVデジタルSTB、パソコン、AVアンプ

■本機とレコーダー(ディーガ)または CATVデジタルSTB、パソコンを接続する場合



■HDMIケーブル(別売品について)
・品番：RP-CDHG10(1 m)
・品番：RP-CDHG15(1.5 m)
・品番：RP-CDHG20(2 m)
・品番：RP-CDHG30(3 m)
など

接続後の本機の設定(☞ 101～103ページ)

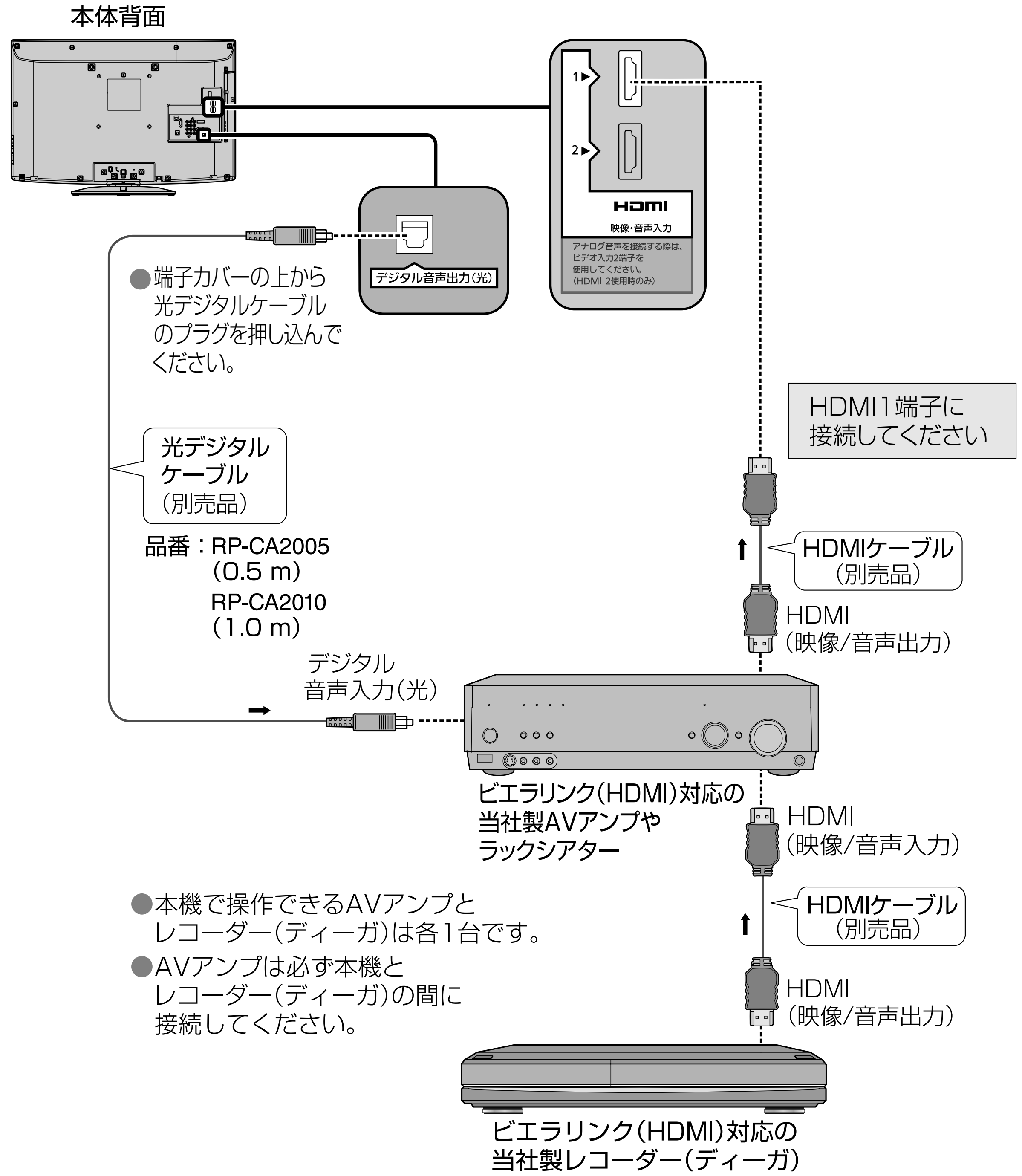
●上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定してください。
●レコーダー(ディーガ)や、CATVデジタルSTBを操作したときに連動して本機の電源を「入」にしたいときは「電源オン連動」を「する」にしてください。

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)対応機器を最初に接続したときは、[入力切換]を押して接続したHDMI入力に切り換えてください。
●当社製HDMIケーブルを推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したレコーダー(ディーガ)側、CATVデジタルSTB側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器 [レコーダー(ディーガ)など] を何台か接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器がビエラリンク(HDMI)の操作対象になります。

●➡は、信号の流れを示します。

■本機とレコーダー(ディーガ)とAVアンプを接続する場合



接続後の本機の設定(☞ 101～103ページ)

●上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」と「電源オン連動」を「する」に設定してください。

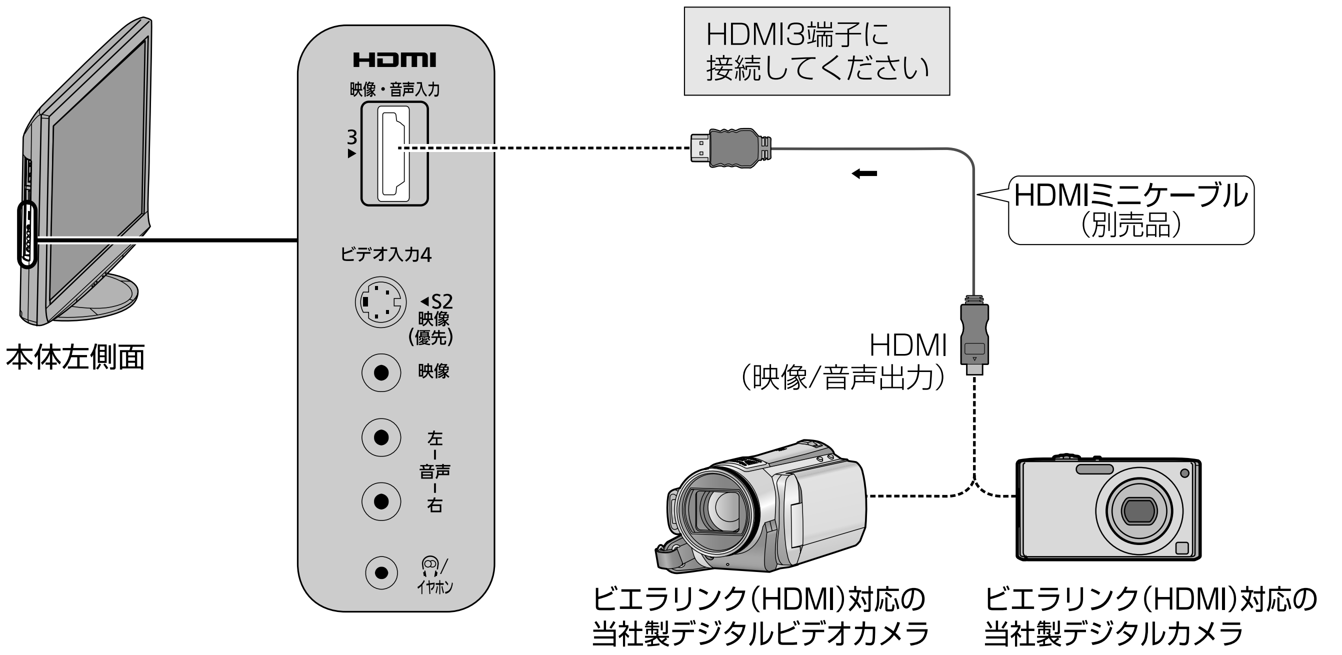
お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したAVアンプ側とレコーダー(ディーガ)側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●ビエラリンク(HDMI)で本機とAVアンプを接続時、ビエラリンク(HDMI)で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル光音声出力端子より、5.1chで出力します。
(レコーダー(ディーガ)はビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応している機種のみ対応)

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続 ／ビエラリンク(HDMI)の設定

デジタルビデオカメラ/デジタルカメラ(ルミックス)

接　続



■HDMIミニケーブル(別売品について)
- 品番：RP-CDHM10(1.5 m)
- 品番：RP-CDHM30(3 m)

接続後の本機の設定

- 上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定してください。
- デジタルビデオカメラ/デジタルカメラを操作したときに、連動して本機の電源を「入」にしたいときは「電源オン連動」を「する」にしてください。

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)対応機器を最初に接続したときは、[入力切換]を押して接続したHDMI入力に切り換えてください。
- 当社製デジタルビデオカメラや当社製デジタルカメラを接続するHDMIミニケーブル(接続機器によりHDMIケーブル)については、デジタルビデオカメラやデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したデジタルビデオカメラやデジタルカメラ側の設定も必要です。詳しくは、デジタルビデオカメラやデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

ビエラリンク(HDMI)制御を有効にする　［ビエラリンク(HDMI)制御］

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5　「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	**する**	**しない**
電源オン連動	する	しない

［する］…ビエラリンク(HDMI)を使うとき
(工場出荷時)
［しない］…使わないとき

(終わったら［元の画面］を押す)

本機の電源が「切」のとき ビエラリンク(HDMI)の制御信号で電源を「入」にする　［電源オン連動］

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5　「電源オン連動」を選び、「する」を選ぶ

電源オン連動	**する**	**しない**
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない

［する］…本機の電源が「切」のときでもレコーダー(ディーガ)やAVアンプの操作に連動して本機の電源を「入」させるとき
［しない］…連動させないとき
(工場出荷時)

(終わったら［元の画面］を押す)

本機の電源を「切」にしたとき レコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も「切」にする　［電源オフ連動］

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5　「電源オフ連動」を選び、「する」を選ぶ

電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	**する**	**しない**
ECOスタンバイ	する	しない

［する］…本機の電源オフに連動して
(工場出荷時)　レコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も「切」させる
［しない］…連動させないとき

(終わったら［元の画面］を押す)

接続機器の設定を、待機電力が少ない設定に切り換える　［ECOスタンバイ］

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5　「ECOスタンバイ」を選び、「する」を選ぶ

電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	**する**	**しない**

［する］…本機の電源を「切」にしたとき、接続機器の設定を、本機に連動して起動できる設定のうち、消費電力が最小になる設定に切り換える
※切り換わる設定は、接続機器によって異なります。
［しない］…機能を使わないとき
(工場出荷時)

お知らせ

- 「ECOスタンバイ」は、ビエラリンク(HDMI)Ver.4対応の機器に有効です。

(終わったら［元の画面］を押す)

ビエラリンク(HDMI)の設定

ビエラリンク(HDMI)で

使っていない機器の電源を個別に自動で「切」にする　こまめにオフ

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5 「こまめにオフ」を選び、「する」を選ぶ

ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ		しない
電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ

しない（工場出荷時）…ビエラリンク(HDMI)で使わない機器の電源を「入」のままにする

する(表示あり)／する(表示なし)…入力をHDMI以外に切り換えたときや、音声出力をAVアンプからテレビに切り換えたときなど、ビエラリンク(HDMI)で使わなくなった機器の電源を個別に自動で「切」にする

「する(表示あり)」に設定すると、「こまめにオフ」が働いたとき、画面に表示が出ます。

お知らせ

● 「こまめにオフ」は○印の機器に有効です。

対応機器＼ビエラリンク	ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上	ビエラリンクVer.2	左記以前のビエラリンクバージョン
レコーダー(ディーガ)	○	○	○
AVアンプ	○	○	×
CATVデジタルSTB	○	×	×

（2009年1月現在）

（終わったら 元の画面 を押す）

本機の電源を「入」にしたとき

AVアンプに音声を出力する　電源オン時の音声出力

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オン時の音声出力」を選び、「AVアンプ」を選ぶ

こまめにオフ		しない
電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない

テレビ（工場出荷時）…本機の電源を「入」にしたとき、音声をテレビから出力する

AVアンプ…本機の電源を「入」にしたとき、音声をAVアンプに出力する

（終わったら 元の画面 を押す）

本機の電源を「入」にしたとき

CATVデジタルSTBの電源も「入」にする　ケーブルテレビ電源オン連動

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ケーブルテレビ電源オン連動」を選び、「する」を選ぶ

電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大

する…本機の電源を「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源も「入」にする

● ケーブルテレビを主にお使いの場合におすすめします。

しない（工場出荷時）…連動させないとき

（終わったら 元の画面 を押す）

本機のリモコンでレコーダー(ディーガ)を操作するとき

操作に使うことができるボタンを追加する　ディーガの操作

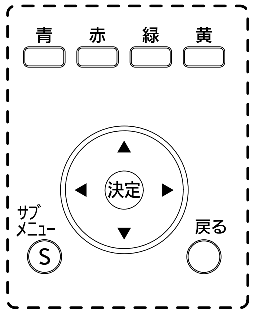
84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ディーガの操作」を選び、「拡大」を選ぶ

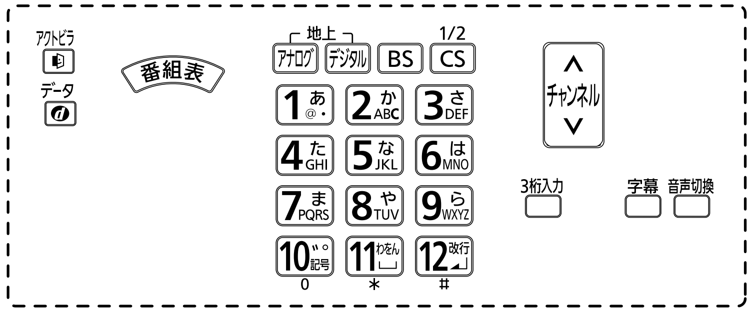
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大
テスト(ディーガ電源オン)		

ビエラリンク(HDMI)でディーガ視聴中に使えるボタンを追加します。

通常（工場出荷時）



拡大　「通常」に加えて、下記のボタンも使えます。



お知らせ

● リモコンを本機のリモコン受信部に向けて操作してください。

● 「拡大」設定で使えるボタンは、接続するディーガのビエラリンクバージョンによって異なります。

ディーガの操作＼ビエラリンク	ビエラリンク(HDMI)Ver.4	ビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3	左記以前のビエラリンクバージョン
「拡大」で追加されるボタン	上図「拡大」のボタンすべて	「番組表」「チャンネル ∧∨」ボタンのみ	なし(拡大できません)

［ビエラリンク(HDMI)Ver.4の場合、接続するディーガの機能により操作できないボタンがあります。］

（終わったら 元の画面 を押す）

接続したレコーダー(ディーガ)の

動作を確認する　テスト(ディーガ電源オン)　テスト(ディーガ電源オフ)

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5 「テスト(ディーガ電源オン)」または「テスト(ディーガ電源オフ)」を選び、「決定」を押す

ディーガの操作	通常	拡大
テスト(ディーガ電源オン)		
テスト(ディーガ電源オフ)		

レコーダー(ディーガ)の電源が「入」または「切」すれば、正常です。※動作しない場合は、接続をご確認ください。

（終わったら 元の画面 を押す）

本機のビエラリンク(HDMI)バージョンを確認する　ビエラリンク(HDMI)バージョン表示

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビエラリンク(HDMI)設定

5 ビエラリンク(HDMI)のバージョンを確認する

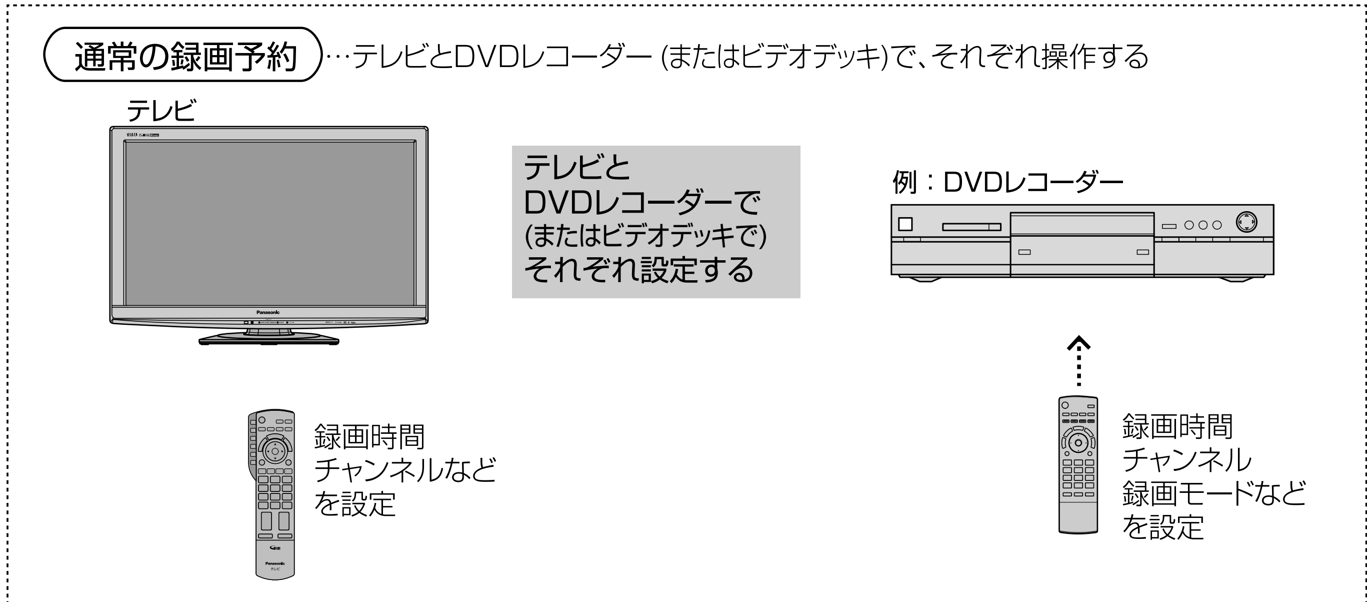
テスト(ディーガ電源オン)	
テスト(ディーガ電源オフ)	
バージョン	ビエラリンク(HDMI)Ver.4

● 本機のビエラリンク(HDMI)のバージョン情報を表示します。

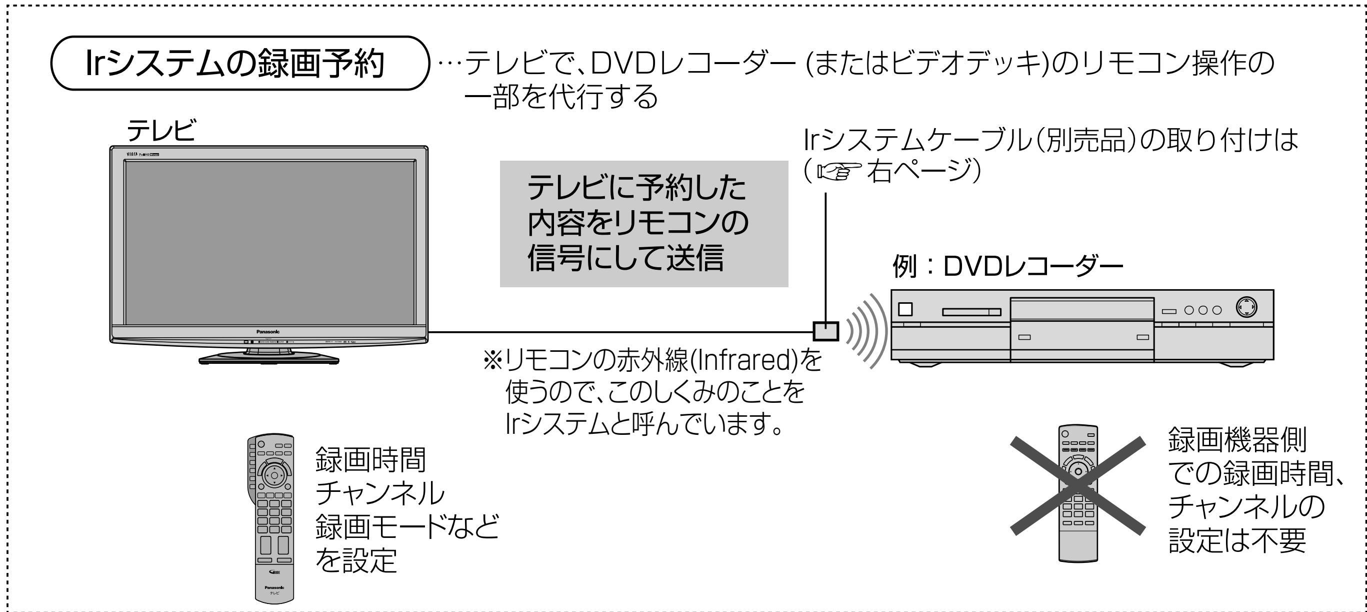
（終わったら 元の画面 を押す）

便利な録画予約をするために(Ir(アイアール)システム)

便利なIrシステムのしくみについて



Irシステムを使うと

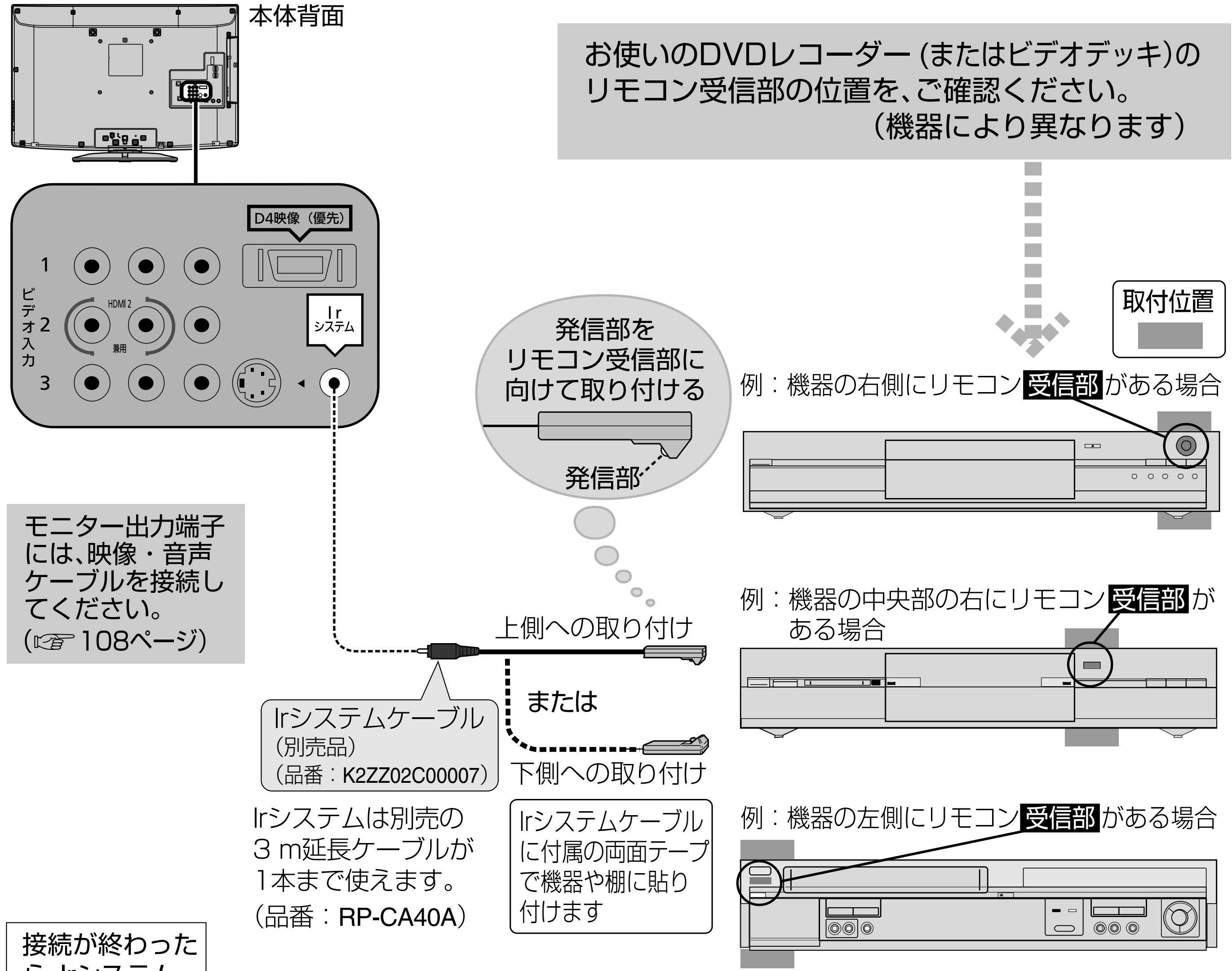


※録画時間やチャンネルなどの基本以外の設定はDVDレコーダー(またはビデオデッキ)側で設定が必要です。
(HDD付きDVDレコーダーでの、DVDとHDDの切り換えなど)

「番組タイトル情報」について

- 当社製のDVDレコーダーで録画予約を行うと録画予約情報の他に番組タイトルの情報が送られます。
  (番組表で番組タイトルが取得できていない場合は送られません)
  〈対応機種〉
  当社製DVDレコーダー(含むHDD／ビデオ複合機)の機種すべて。
  ただし、2002年以前に発売されたレコーダーおよび以下の機種については、Irシステムでの
  番組タイトル受け付けはできません。(2009年1月現在)
  ・DMR-E90H(2003年モデル)
- 番組タイトルが、正しく表示されないときは(☞127ページ)

Irシステムケーブルの接続について



モニター出力端子には、映像・音声ケーブルを接続してください。
(☞108ページ)

Irシステムは別売の3 m延長ケーブルが1本まで使えます。
(品番：RP-CA40A)

Irシステムケーブルに付属の両面テープで機器や棚に貼り付けます

接続が終わったら、Irシステムの設定をしてください
(☞106ページ)

- 貼り付ける個所のゴミやほこりは、しっかり取り除いてください。
- 別売のIrシステムケーブルに付属の両面テープは接着力が強いため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷めることがありますので、ご注意ください。

Irシステムケーブル、Irシステムの延長ケーブルは販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
CLUB Panasonic PanaSense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

Irシステムの設定

アイアール

Irシステムで接続した機器を 使えるように設定する Irシステム設定

84ページの手順1～4で「Irシステム設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ Irシステム設定

5 「Irシステム」を選び、「オン」にする



6 「メーカー」を選び、接続した機器のメーカーを選ぶ



設定できるメーカー（録画機器）
ビデオデッキ：パナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC
DVDレコーダー：パナソニック、パイオニア、三菱

一部、使用できない商品もあります。

7 「リモコン種別」を選び、種別を選ぶ



●メーカーによってはリモコン種別が複数あります。手順**9**のテストを実行しても機器が動作しない場合は、他のリモコン種別に切り換えてみてください。
●当社製DVDレコーダーの場合は、「DVDレコーダー1」の設定から、お試しください。

8 「外部入力」を選び、設定する



当社製の録画機器で「タイマー予約」をするときのみ設定してください

他メーカーの機器では設定できません
→接続したビデオデッキやDVDレコーダー側の外部入力の番号（1、2、3）に合わせる。

9 「テスト」を選び、「決定」を押す



●「送信中」と表示され、電源「入」「切」のリモコン信号がくり返し送信されます。
（録画機器の電源が「入」「切」するか、確認する）

■正しく動作したときは
→●「決定」を押して設定終了（くり返し送信が終了）

■録画機器の電源が「入」「切」しないときは
→●Irシステムケーブルの接続、取り付けを確認する。（☞105ページ）
→●リモコン種別を変える。（手順**7**）

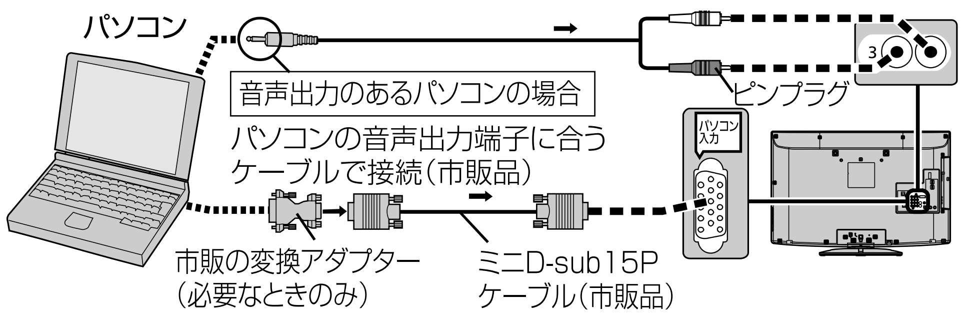
（終わったら 元の画面 を押す）

●タイマー予約を行うときは録画機器の時刻とチャンネル設定は、本機に合わせてください。
●「Irシステム設定」を変更する場合は、事前に予約を全て取り消してください。（☞40ページ）
●DVDレコーダーとビデオデッキの複合機の場合、「DVDレコーダー1」に設定すると、ビデオ機能に対してはIrシステムを使っての予約はできません。
※2003年以降発売の当社製DVD／ビデオ／（HDD）複合機すべて
（2009年1月現在）

パソコンの接続と設定

※パソコンは接続例です。
●➡は、信号の流れを示します。

接　続



音声はビデオ入力3の音声端子に接続
※ビデオ入力3に他の機器を接続すると、入力をパソコンに切り換え時、ビデオ入力3に接続している機器の音声が出ますのでご注意ください。

■本機が対応しているパソコン信号（単位：水平周波数 kHz、垂直周波数 Hz）

信号名	表示解像度	水平周波数	垂直周波数	ビデオクロック	信号名	表示解像度	水平周波数	垂直周波数	ビデオクロック
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	25.18	WVGA60	852 × 480	31.44	59.89	33.54
VGA70	640 × 400	31.47	70.07	25.18	XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	65.00
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	31.50	XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	75.00
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	30.24	XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	78.75
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	40.00	XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	94.50
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	49.50	MAC21	1152 × 870	68.68	75.06	100.00
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	56.25	SXGA60	1280 ×1024	63.98	60.02	108.00
MAC16	832 × 624	49.73	74.55	57.28	WXGA60	1366 × 768	48.39	60.04	86.71

●一覧表の信号以外の入力信号は画面が映っても適正な状態で映すことができない場合があります。
●WXGA（WVGA）については「PC画面調整」で「入力解像度」の設定が必要です。（☞50ページ）

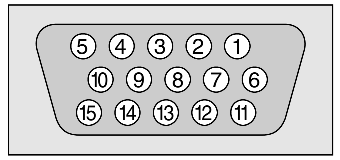
■本機の画面モードによる表示画素数

	画面モードが「ノーマル」のとき	画面モードが「フル」のとき
37V型	1440×1080	1920×1080(16：9画面)
32V型	1024×768	1366×768(16：9画面)

パソコンからの入力信号は、左記の画素数に拡大表示されます。

■パソコン入力端子（ミニD-sub15P）の信号名

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
①	R	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G	⑦	GND(アース)	⑫	NC(無接続)
③	B	⑧	GND(アース)	⑬	HD
④	NC(無接続)	⑨	NC(無接続)	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	NC(無接続)



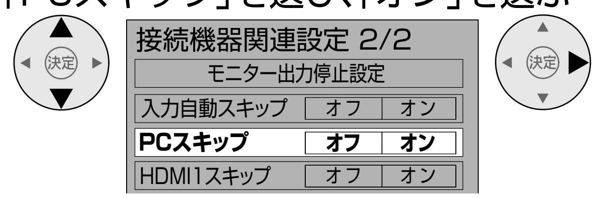
パソコン入力端子のピン配列

お知らせ
●パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
●D-sub15P端子のパソコンと接続する場合は、必要に応じて変換アダプター（市販品）をお使いください。
※パソコンのミニD-sub15P端子がDOS/Vに対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
●MACを接続する場合は、変換アダプター（市販品）の取扱説明書をご覧のうえ接続してください。
●ミニD-sub15Pケーブルは確実に取り付けてください。
●接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。

入力切換ボタンを押したとき PC入力を飛ばす PCスキップ

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「PCスキップ」を選び、「オン」を選ぶ



オン …入力切換を押したときPC（パソコン）には切り換わりません。
オフ …入力切換を押したときPC（パソコン）へ切り換わります。
（工場出荷時）

（終わったら 元の画面 を押す）

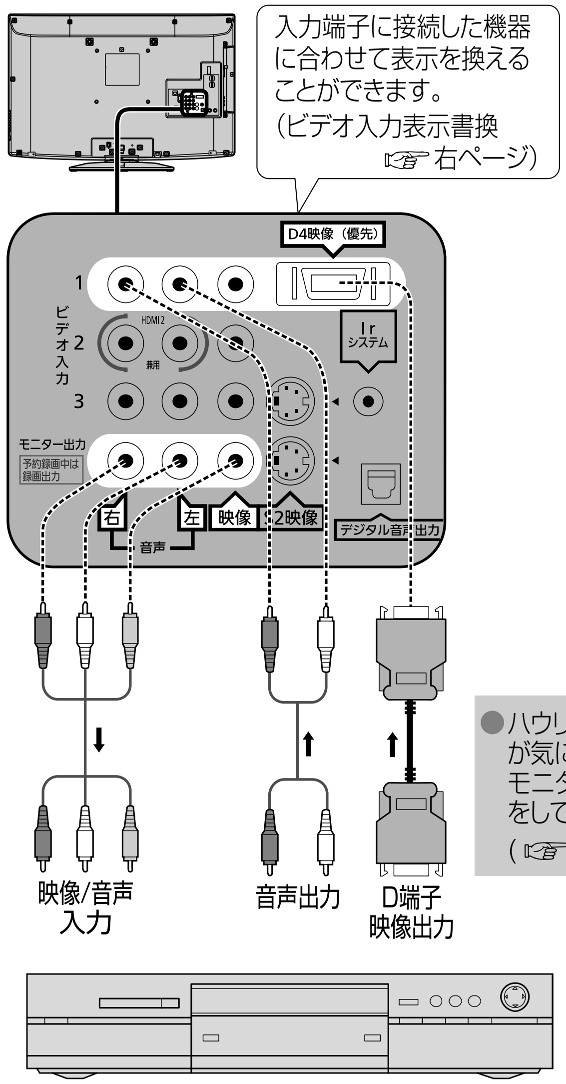
DVD(ディーブイディー)レコーダーなどの接続

●➡は、信号の流れを示します。
●接続コードは別売です。(☞95ページ)
●音声コードは必ず接続してください。

D端子付きの録画機器の接続(例)

本体背面

入力端子に接続した機器に合わせて表示を換えることができます。(ビデオ入力表示書換 ☞右ページ)



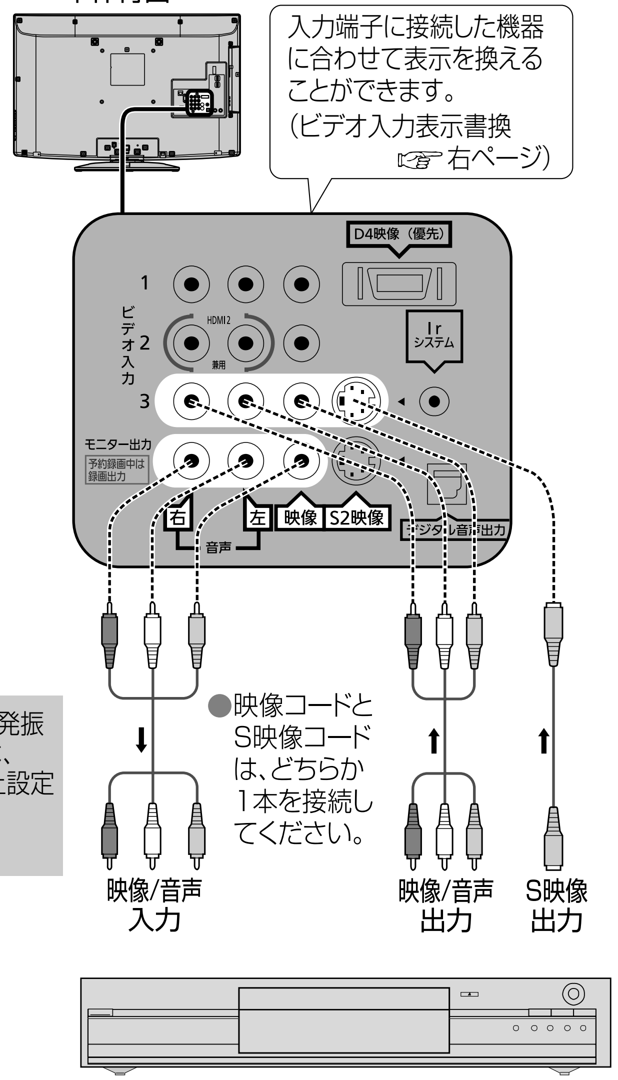
例:DVDレコーダー

●ハウリングや映像発振が気になる場合は、モニター出力停止設定をしてください。(☞右ページ)

D端子のない録画機器の接続(例)

本体背面

入力端子に接続した機器に合わせて表示を換えることができます。(ビデオ入力表示書換 ☞右ページ)



●映像コードとS映像コードは、どちらか1本を接続してください。

例:VHSビデオデッキ

■モニター出力端子(1組)

●ビデオデッキなどの「映像」と「音声」の入力端子に接続します。
●以下の信号を視聴時に出力します。
- ●本機で受信できる放送(ハイビジョン放送はアナログ放送と同程度の画質になります)
- ●ビデオ入力に接続した機器の映像、音声
- ●D端子に接続した機器の音声(映像信号は出ません)
- ●HDMI入力に接続した機器の音声(映像信号は出ません)
- ●SDビデオの映像、音声

●デジタル放送の録画予約の実行中は、そのチャンネルの映像、音声を出力します。

お願い

●**S2映像出力端子からは、地上アナログ放送およびビデオ入力の「映像」端子に入力した信号は出力されません。これらを録画される場合は、本機のS2映像出力端子を録画機器に接続しないでください。**(デジタル放送時はID-1信号を重畳したS出力となります)

お知らせ

●SDメモリーカードの写真を見ているときは、映像信号は出力されません。
●地上アナログ放送の予約は録画機器側のチューナーで録画されます。
●ハイビジョン放送も地上アナログ放送と同程度の画質で出力されます。
●接続機器にD端子がなく、コンポーネント(色差)端子のみの場合は、別売のD端子-ピン映像コード(☞95ページ)で接続できます。

ビデオ入力表示書換/モニター出力停止設定

入力端子に接続した 機器に合わせて表示を変える ビデオ入力表示書換

84ページの手順1~3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「ビデオ入力表示書換」を選び、「決定」を押す

接続機器関連設定 1/2	
ビエラリンク(HDMI)設定	
Irシステム設定	
HDMI音声入力設定	
ビデオ入力表示書換	
デジタル音声出力	自動
デジタル音声予約録画連動	する しない

5 録画(再生)機器を接続したビデオ入力端子を選び、機器に合わせて表示を選ぶ

ビデオ入力表示書換	
ビデオ1/D端子	ビデオ1/D端子
ビデオ2	ビデオ2
ビデオ3	ビデオ3
ビデオ4	ビデオ4
HDMI1	HDMI1
HDMI2	HDMI2
HDMI3	HDMI3
PC	PC

●▶を押すたびに切り換わります。

元の表示 → DVD1 → DVD2 → ブルーレイ → ゲーム → CATV → チューナー → VTR → ディスク → 表示なし → 元の表示

●PC入力時は▶を押すたびに切り換わります。

PC → パソコン → 表示なし → PC

(終わったら 元の画面 を押す)

接続した録画機器(☞左ページ)の映像・音声の モニター出力を停止する モニター出力停止設定

●ハウリング(ブー音)や映像発振の防止のため

●モニター出力端子については(☞左ページ)

84ページの手順1~3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「モニター出力停止設定」を選び、「決定」を押す

接続機器関連設定 2/2	
モニター出力停止設定	
入力自動スキップ	オフ オン
PCスキップ	オフ オン
HDMI1スキップ	オフ オン

5 録画機器を接続したビデオ入力端子を選び、「する」を選ぶ

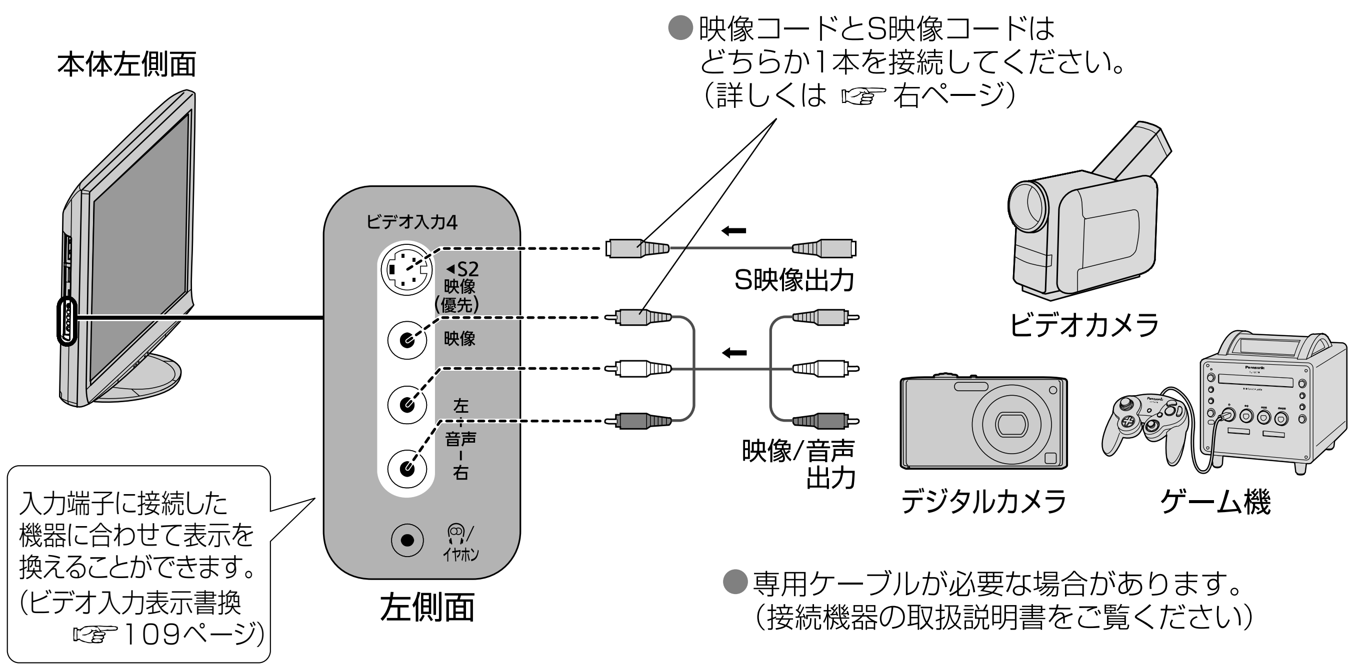
モニター出力停止設定		
ビデオ1/D端子	する	しない
ビデオ2	する	しない
ビデオ3	する	しない
ビデオ4	する	しない
HDMI1	する	しない
HDMI2	する	しない
HDMI3	する	しない

(終わったら 元の画面 を押す)

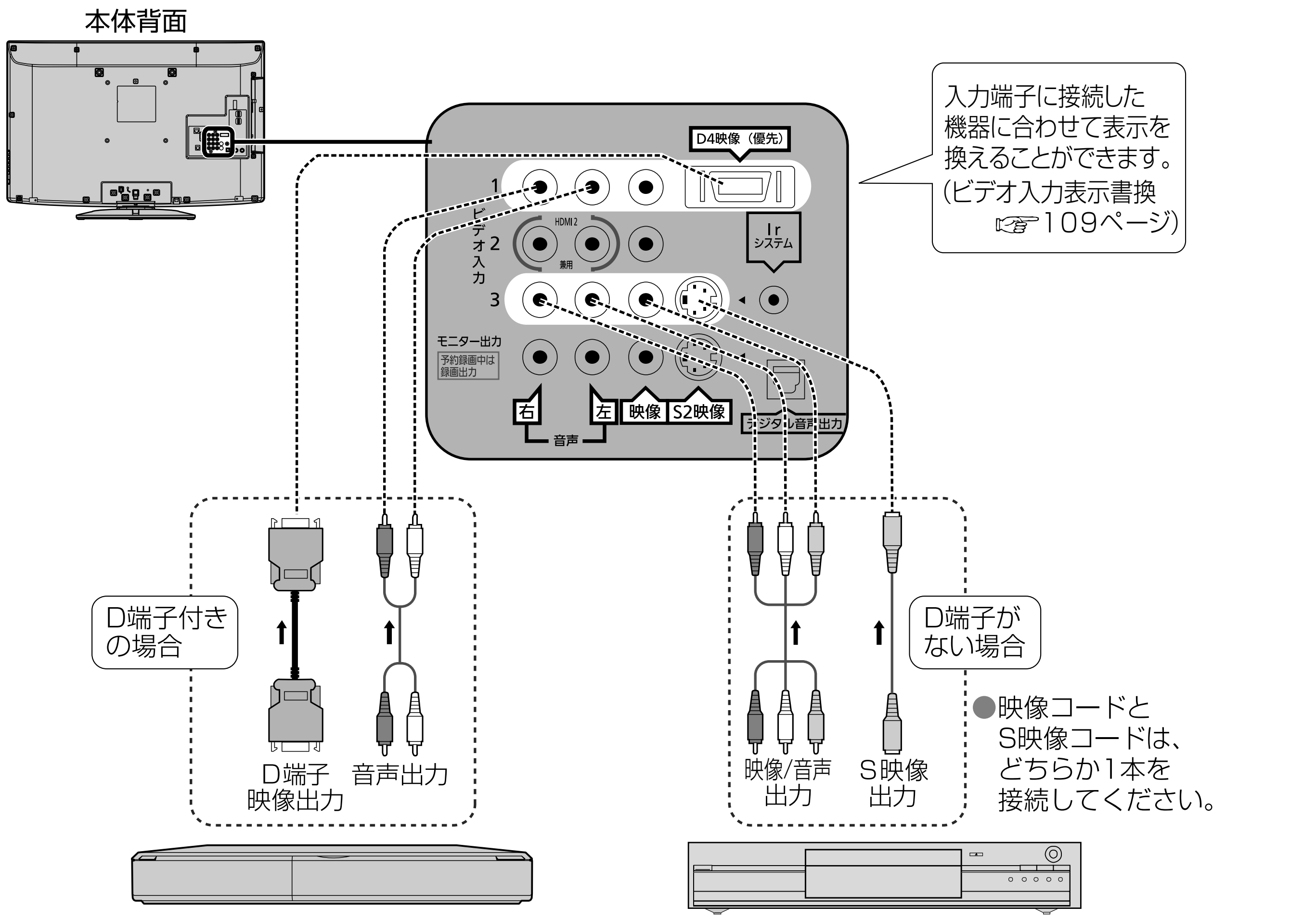
再生専用機器の接続

●➡は、信号の流れを示します。
●接続コードは別売です。（☞95ページ）
●音声コードは必ず接続してください。

ビデオカメラ、デジタルカメラなどの接続例(左側面)

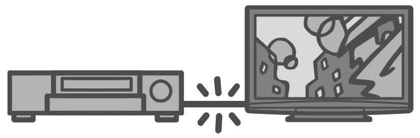


DVDプレーヤーやビデオなどの接続(例)(背面端子部)



例：DVDプレーヤー　　例：再生専用ビデオデッキ

入力自動スキップ



「入力切換」を押したとき **接続のない外部入力を飛ばす**　入力自動スキップ　●PC入力、HDMI入力は除きます。

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で
「入力自動スキップ」を選び、「オン」を選ぶ

接続機器関連設定 2/2		
モニター出力停止設定		
入力自動スキップ	**オフ**	**オン**
PCスキップ	オフ	オン
HDMI1スキップ	オフ	オン
HDMI2スキップ	オフ	オン
HDMI3スキップ	オフ	オン

●接続コード類がしっかり差し込まれていないと入力切換が正しく動作しません。

オン … 入力切換 を押したとき、接続のない入力には切り換わりません。

オフ … 接続にかかわらず、入力切換 を押すごとに、
（工場出荷時） 全ての入力を選択できます。

お知らせ
●接続機器に合った入力切換の表示は、109ページの「ビデオ入力表示書換」で変更ができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

■ビデオ入力端子（背面：ビデオ1～3、左側面：ビデオ4）
●ビデオデッキなどの映像と音声の出力端子に接続します。

S2映像入力端子
●「映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
●再生機器の「S」「S1」「S2」出力端子と接続します。
- S端子　：色のにじみが少ない
- S1端子：Sにワイドテレビ対応を追加
- S2端子：S1にワイドクリアビジョン対応を追加

●「S2映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「S2映像」の画像が優先されます。
●「S2映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

D4映像入力端子
●「S2映像」入力端子よりも、さらに色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、PB、PR」「Y、CB、CR」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ピンケーブル（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、1080i、720p
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

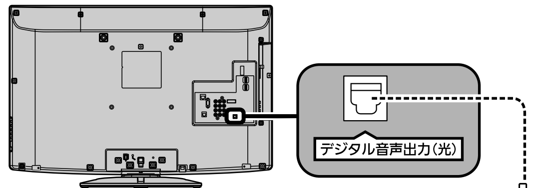
お知らせ
●ビデオ入力2～4には、「D4映像」入力端子はありません。
●ビデオ入力1、2には、「S2映像」入力端子はありません。
●ビデオ入力端子を同時に接続したときの優先順位は、①D4映像入力 ②S2映像入力 ③映像入力の順となります。

オーディオ機器の接続と設定

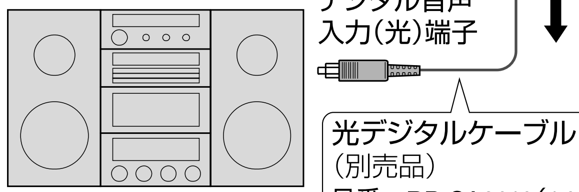
●➡は信号の流れを示します。

接続

本体背面



●端子カバーの上から光デジタルケーブルのプラグを押しこんでください。
●光デジタルケーブルは折り曲げないでください。



デジタル音声入力(光)端子

光デジタルケーブル
(別売品)
品番：RP-CA2010(1.0 m)

オーディオ機器

■接続できるオーディオ機器
●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーターを内蔵したオーディオ機器。

■デジタル音声出力(光)端子について
●デジタル音声出力(光)端子からは、本体スピーカーと同じ音声信号を出力します。
(録画予約実行中を除く)
●HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。
●本機のデジタル音声出力(光)端子は、デジタル放送の信号をそのまま出力していますので、サンプリングレートコンバーターのないオーディオ機器は使用できません。
●オーディオ機器の説明書も、よくお読みください。

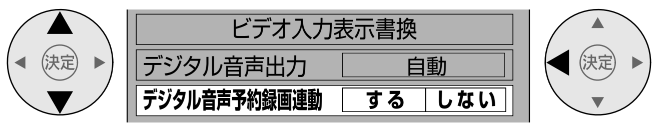
録画予約でデジタル音声出力(光)端子から録音中に

チャンネルを切り換えても確実に録音する

デジタル音声予約録画連動

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「デジタル音声予約録画連動」を選び、「する」を選ぶ



する 録画予約実行中は、録画番組の音声を出力。
●右ページの「デジタル音声出力」を「PCM」にしてください。
(「自動」にしていると、3ch以上のステレオ放送では「AAC」出力になります)

しない 選局中の番組の音声を出力。
(工場出荷時)

お知らせ

●デジタル放送の番組によっては、録音できない場合があります。

(終わったら 元の画面 を押す)

ドルビーデジタル、AAC対応の

オーディオ機器を接続したとき

デジタル音声出力

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「デジタル音声出力」を選び、設定する



設定項目について

PCM
オーディオ機器がAACフォーマットや、ドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき。
常に「PCM」出力します。

ビットストリーム
入力や放送がAACフォーマット時は常に「AAC」出力します。
ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」出力します。
AACフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「PCM」出力します。

自動 (工場出荷時)
入力や放送が3ch以上の音声フォーマットのときは自動的に「AAC」出力します。
ただしSDビデオ・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットで、サラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」出力します。
※ドルビーデジタル、PCM、AACについては(☞ 135ページ)

お知らせ

●「ビットストリーム」に設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。「PCM」にするか、モニター出力の音声端子をご使用ください。
●地上アナログ放送や、ビデオ入力端子、D端子に接続した機器を視聴中は、設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
●AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。

■予約実行中の音声出力について
●デジタル放送の録画予約実行中は、録画中の番組の音声を出力します。
●上記の設定を「PCM」にしてください。
(「自動」にしていると、3ch以上のステレオ放送では「AAC」出力になります)

(終わったら 元の画面 を押す)

地上アナログ放送チャンネル一覧表（市外局番入力）

●チャンネル設定で入力された市外局番は、自動的に以下66地域の中で近い市外局番に変換され、その地域の各放送局が設定されます。例えば大阪府茨木市（072）を入力すると、一覧表の大阪市（06）の内容が自動的に設定されます。※一部の地域は自動変換されない場合があります。

●お住まいの地域の受信チャンネルが表に記載の都市名（市外局番）に一致しない場合は、ふだんご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。

■表の見かた

1		
受信CH	表示CH	放送局名
1	1	NHK 総合東京

■リモコンボタン
リモコンのチャンネルボタンの番号

■表示チャンネル
テレビ画面に表示されるチャンネルの番号

■受信チャンネル
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルの番号

（2009年1月現在）

リモコンボタンと受信チャンネル・表示チャンネル・放送局名（1～6）

都道府県	都市	市外局番	1			2			3			4			5			6		
			受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名
北海道	札幌	011	1	1	HBCテレビ				3	3	NHK総合札幌	17	17	TV北海道	5	5	STVテレビ			
	旭川	0166				2	2	NHK教育札幌				33	33	TV北海道						
	北見	0157				2	2	NHK教育札幌												
	帯広	0155	34	34	HTBテレビ							4	4	NHK総合札幌				6	6	HBCテレビ
	釧路	0154				2	2	NHK教育札幌				29	29	TV北海道						
	室蘭	0143				2	2	NHK教育札幌				29	29	TV北海道						
	函館	0138	21	21	TV北海道	27	27	UHBテレビ	35	35	HTBテレビ	4	4	NHK総合札幌				6	6	HBCテレビ
青森	青森	017	1	1	青森放送				3	3	NHK総合青森				5	5	NHK教育青森			
	八戸	0178										31	31	青森朝日放送						
岩手	盛岡	019	1	1	東北放送	33	33	めんこいテレビ	35	35	テレビ岩手	4	4	NHK総合盛岡	31	31	IATテレビ	6	6	IBCテレビ
宮城	仙台	022	1	1	東北放送				3	3	NHK総合仙台				5	5	NHK教育仙台			
秋田	秋田	018				2	2	NHK教育秋田							31	31	秋田朝日放送			
	大館	0186	1	1	青森放送							4	4	NHK総合秋田	59	59	秋田朝日放送	6	6	秋田放送
山形	山形	023										4	4	NHK教育山形	30	30	さくらんぼ	36	36	テレビユー山形
	鶴岡	0235	1	1	山形放送				3	3	NHK総合山形				24	24	さくらんぼ	6	6	NHK教育山形
福島	福島	024	1	1	東北放送	2	2	NHK教育福島				31	31	テレビユー福島				33	33	福島中央テレビ
	会津若松	0242	1	1	NHK総合福島				3	3	NHK教育福島	47	47	テレビユー福島				6	6	福島テレビ
	いわき	0246				32	32	テレビユー福島				4	4	NHK総合福島				34	34	福島中央テレビ
茨城	水戸	029	44	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	46	3	NHK教育東京	42	4	日本テレビ	16	16	放送大学	40	6	TBSテレビ
栃木	宇都宮	028	51	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	49	3	NHK教育東京	53	4	日本テレビ	31	31	とちぎテレビ	55	6	TBSテレビ
群馬	前橋	027	52	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	50	3	NHK教育東京	54	4	日本テレビ	48	48	群馬テレビ	56	6	TBSテレビ
埼玉	さいたま	048	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ
千葉	千葉	043	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ
東京	東京	03	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ
神奈川	横浜	045	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ
新潟	新潟	025							21	21	新潟テレビ21	29	29	テレビ新潟	5	5	新潟放送			
富山	富山	0764	1	1	北日本放送	6	6	MROテレビ	3	3	NHK総合富山	37	37	石川テレビ				32	32	チューリップ
石川	金沢	076	1	1	北日本放送				34	34	富山テレビ	4	4	NHK総合金沢				6	6	MROテレビ
福井	福井	0776							3	3	NHK教育福井							6	6	MROテレビ
山梨	甲府	055	1	1	NHK総合甲府				3	3	NHK教育甲府	4	4	日本テレビ	5	5	山梨放送	37	37	テレビ山梨
長野	長野	026				2	2	NHK総合長野				20	20	abn				30	30	テレビ信州
	飯田	0265	44	44	abn				3	3	NHK教育長野	4	4	NHK総合長野				6	6	信越放送
岐阜	岐阜	058	1	1	東海テレビ				39	3	NHK総合名古屋				5	5	CBCテレビ	25	25	テレビ愛知
静岡	静岡	054				2	2	NHK教育静岡				31	31	静岡第一テレビ				33	33	あさひテレビ
	浜松	053	1	1	東海テレビ	30	30	静岡第一テレビ				4	4	NHK総合静岡	5	5	CBCテレビ	6	6	静岡放送
愛知	名古屋	052	1	1	東海テレビ				3	3	NHK総合名古屋				5	5	CBCテレビ	37	37	岐阜テレビ
三重	津	059	1	1	東海テレビ	25	25	テレビ愛知	31	3	NHK総合名古屋	4	4	毎日放送	5	5	CBCテレビ	6	6	ABCテレビ
滋賀	大津	077				28	28	NHK総合大阪				36	4	毎日放送				38	6	ABCテレビ
京都	京都	075				32	2	NHK総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送				6	6	ABCテレビ
大阪	大阪	06				2	2	NHK総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送				6	6	ABCテレビ
兵庫	神戸	078				28	2	NHK総合大阪	36	36	サンテレビ	31	4	毎日放送	19	19	テレビ大阪	41	6	ABCテレビ
奈良	奈良	0742				2	2	NHK総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送	51	51	NHK総合大阪	6	6	ABCテレビ
和歌山	和歌山	073				32	2	NHK総合大阪				42	4	毎日放送	30	30	テレビ和歌山	44	6	ABCテレビ
鳥取	鳥取	0857	1	1	日本海テレビ				3	3	NHK総合鳥取	4	4	NHK教育鳥取						
島根	松江	0852	30	30	日本海テレビ													6	6	NHK総合松江
	浜田	0855				2	2	NHK総合松江	54	54	日本海テレビ				5	5	山陰放送			
岡山	岡山	086	35	35	OHKテレビ	23	23	テレビせとうち	3	3	NHK教育岡山				5	5	NHK総合岡山			
広島	広島	082	31	31	テレビ新広島				3	3	NHK総合広島	4	4	中国放送						
	福山	084	54	54	テレビ新広島				3	3	NHK教育広島				5	5	NHK総合広島			
山口	山口	083	1	1	NHK教育山口	2	2	KBCテレビ	23	23	TVQ九州放送	28	28	山口朝日放送	5	5	大分放送			
徳島	徳島	088	1	1	四国放送	19	19	テレビ大阪	3	3	NHK総合徳島	4	4	毎日放送	55	55	テレビ和歌山	6	6	ABCテレビ
香川	高松	087	19	19	テレビせとうち				39	39	NHK教育高松	4	4	毎日放送	37	37	NHK総合高松	6	6	ABCテレビ
愛媛	松山	089	23	23	テレビせとうち	2	2	NHK教育松山	12	12	広島テレビ	35	35	広島ホーム	31	31	テレビ新広島	6	6	NHK総合松山
	新居浜	0897	23	23	テレビせとうち	2	2	NHK総合松山	12	12	広島テレビ	4	4	NHK教育松山	31	31	テレビ新広島	6	6	南海放送
高知	高知	0888										4	4	NHK総合高知				6	6	NHK教育高知
福岡	福岡	092	1	1	KBCテレビ	36	36	サガテレビ	3	3	NHK総合福岡	4	4	RKB毎日放送	19	19	TVQ九州放送	6	6	NHK教育福岡
	北九州	093				2	2	KBCテレビ	35	35	FBSテレビ	36	36	サガテレビ	23	23	TVQ九州放送	6	6	NHK総合福岡
佐賀	佐賀	0952	57	57	KBCテレビ	40	40	NHK教育佐賀	52	52	FBSテレビ	36	36	サガテレビ	14	14	TVQ九州放送	34	34	テレビ熊本
長崎	長崎	095	1	1	NHK教育長崎	57	57	KBCテレビ	3	3	NHK総合長崎	4	4	RKB毎日放送	5	5	長崎放送	34	34	テレビ熊本
熊本	熊本	096	1	1	KBCテレビ	2	2	NHK教育熊本	16	16	熊本朝日放送	22	22	KKTテレビ	5	5	長崎放送	34	34	テレビ熊本
大分	大分	097	1	1	KBCテレビ				3	3	NHK総合大分	4	4	RKB毎日放送	5	5	大分放送	10	10	南海放送
宮崎	宮崎	0985	1	1	南日本放送				35	35	テレビ宮崎									
	延岡	0982				2	2	NHK教育宮崎				4	4	NHK総合宮崎				6	6	宮崎放送
鹿児島	鹿児島	099	1	1	南日本放送	34	34	テレビ熊本	3	3	NHK総合鹿児島	35	35	テレビ宮崎	5	5	NHK教育鹿児島	10	10	宮崎放送
	阿久根	0996	17	17	鹿児島読売	34	34	テレビ熊本				23	23	鹿児島放送				35	35	鹿児島テレビ
沖縄	那覇	098	28	28	琉球朝日放送	2	2	NHK総合沖縄												

リモコンボタンと受信チャンネル・表示チャンネル・放送局名（7～12）

都道府県	都市	市外局番	7			8			9			10			11			12		
			受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名
北海道	札幌	011				27	27	UHBテレビ				35	35	HTBテレビ				12	12	NHK教育札幌
	旭川	0166	7	7	STVテレビ	37	37	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	39	39	HTBテレビ	11	11	HBCテレビ			
	北見	0157	7	7	STVテレビ	59	59	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	61	61	HTBテレビ	53	53	HBCテレビ			
	帯広	0155				32	32	UHBテレビ				10	10	STVテレビ				12	12	NHK教育札幌
	釧路	0154	7	7	STVテレビ	41	41	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	39	39	HTBテレビ	11	11	HBCテレビ			
	室蘭	0143	7	7	STVテレビ	37	37	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	39	39	HTBテレビ	11	11	HBCテレビ			
	函館	0138										10	10	NHK教育札幌				12	12	STVテレビ
青森	青森	017				27	27	UHBテレビ				34	34	青森朝日放送	35	35	HTBテレビ	38	38	青森テレビ
	八戸	0178	7	7	NHK教育青森				9	9	NHK総合青森				11	11	青森放送	33	33	青森テレビ
岩手	盛岡	019	34	34	ミヤギテレビ	8	8	NHK教育盛岡				32	32	東日本放送				12	12	仙台放送
宮城	仙台	022	32	32	東日本放送				34	34	ミヤギテレビ							12	12	仙台放送
秋田	秋田	018							9	9	NHK総合秋田				11	11	秋田放送	37	37	秋田テレビ
	大館	0186				8	8	NHK教育秋田										57	57	秋田テレビ
山形	山形	023				8	8	NHK総合山形				10	10	山形放送				38	38	山形テレビ
	鶴岡	0235				22	22	テレビユー山形										39	39	山形テレビ
福島	福島	024	32	32	東日本放送	34	34	ミヤギテレビ	9	9	NHK総合福島	35	35	福島放送	11	11	福島テレビ	12	12	仙台放送
	会津若松	0242	32	32	東日本放送	37	37	福島中央テレビ	34	34	ミヤギテレビ	41	41	福島放送				12	12	仙台放送
	いわき	0246				8	8	福島テレビ				10	10	NHK教育福島				36	36	福島放送
茨城	水戸	029				38	8	フジテレビ	39	46	チバテレビ	36	10	テレビ朝日				32	12	テレビ東京
栃木	宇都宮	028				57	8	フジテレビ				41	10	テレビ朝日				44	12	テレビ東京
群馬	前橋	027	40	16	放送大学	58	8	フジテレビ	38	38	テレ玉	60	10	テレビ朝日				62	12	テレビ東京
埼玉	さいたま	048	38	38	テレ玉	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	48	48	群馬テレビ	12	12	テレビ東京
千葉	千葉	043	42	42	tvk	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	38	38	テレ玉	12	12	テレビ東京
東京	東京	03	42	42	tvk	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	38	38	テレ玉	12	12	テレビ東京
神奈川	横浜	045	42	42	tvk	8	8	フジテレビ				10	10	テレビ朝日				12	12	テレビ東京
新潟	新潟	025				8	8	NHK総合新潟				35	35	新潟総合テレビ				12	12	NHK教育新潟
富山	富山	0764										10	10	NHK教育富山				34	34	富山テレビ
石川	金沢	076	25	25	北陸朝日放送	8	8	NHK教育金沢				33	33	テレビ金沢				37	37	石川テレビ
福井	福井	0776							9	9	NHK総合福井				11	11	福井放送	39	39	福井テレビ
山梨	甲府	055	6	6	TBSテレビ	8	8	フジテレビ				10	10	テレビ朝日				12	12	テレビ東京
長野	長野	026							9	9	NHK教育長野	38	38	長野放送	11	11	信越放送			
	飯田	0265				42	42	テレビ信州				40	40	長野放送						
岐阜	岐阜	058	37	37	岐阜テレビ	33	33	三重テレビ	9	9	NHK教育名古屋				11	11	メ～テレ	35	35	中京テレビ
静岡	静岡	054							9	9	NHK総合静岡				11	11	静岡放送	35	35	テレビ静岡
	浜松	053	25	25	テレビ愛知	8	8	NHK教育静岡				28	28	あさひテレビ				34	34	テレビ静岡
愛知	名古屋	052	35	35	中京テレビ	33	33	三重テレビ	9	9	NHK教育名古屋				11	11	メ～テレ	25	25	テレビ愛知
三重	津	059	33	33	三重テレビ	8	8	関西テレビ	9	9	NHK教育名古屋	10	10	読売テレビ	11	11	メ～テレ	35	35	中京テレビ
滋賀	大津	077	34	34	京都テレビ	40	8	関西テレビ	30	30	びわ湖放送	42	10	読売テレビ				46	46	NHK教育大阪
京都	京都	075	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ				12	12	NHK教育大阪
大阪	大阪	06	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ				12	12	NHK教育大阪
兵庫	神戸	078				43	8	関西テレビ				47	10	読売テレビ				45	12	NHK教育大阪
奈良	奈良	0742	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ	55	55	奈良テレビ	12	12	NHK教育大阪
和歌山	和歌山	073				46	8	関西テレビ				48	10	読売テレビ				25	12	NHK教育大阪
鳥取	鳥取	0857										22	22	山陰放送				24	24	山陰中央テレビ
島根	松江	0852				34	34	山陰中央テレビ				10	10	山陰放送				12	12	NHK教育松江
	浜田	0855				58	58	山陰中央テレビ	9	9	NHK教育松江									
岡山	岡山	086	25	25	瀬戸内海放送				9	9	西日本放送				11	11	山陽放送			
広島	広島	082	7	7	NHK教育広島				35	35	広島ホーム							12	12	広島テレビ
	福山	084	7	7	中国放送				57	57	広島ホーム				11	11	広島テレビ			
山口	山口	083	38	38	テレビ山口	8	8	RKB毎日放送	9	9	NHK総合山口	10	10	テレビ西日本	11	11	山口放送	35	35	FBSテレビ
徳島	徳島	088	36	36	サンテレビ	8	8	関西テレビ				10	10	読売テレビ				38	12	NHK教育徳島
香川	高松	087	33	33	瀬戸内海放送	8	8	関西テレビ	9	9	西日本放送	10	10	読売テレビ	29	29	山陽放送	31	31	OHKテレビ
愛媛	松山	089	25	25	愛媛朝日テレビ	29	29	あいテレビ	9	9	西日本放送	10	10	南海放送	11	11	山陽放送	37	37	テレビ愛媛
	新居浜	0897	33	33	瀬戸内海放送	27	27	あいテレビ	9	9	西日本放送	14	14	愛媛朝日テレビ	11	11	山陽放送	36	36	テレビ愛媛
高知	高知	0888				8	8	高知放送				38	38	テレビ高知	40	40	高知さんさん			
福岡	福岡	092							9	9	テレビ西日本				11	11	RKKテレビ	37	37	FBSテレビ
	北九州	093				8	8	RKB毎日放送				10	10	テレビ西日本	11	11	RKKテレビ	12	12	NHK教育福岡
佐賀	佐賀	0952	5	5	長崎放送	48	48	RKB毎日放送	38	38	NHK総合佐賀	60	60	テレビ西日本	11	11	RKKテレビ	37	37	テレビ長崎
長崎	長崎	095	25	25	長崎国際テレビ	9	9	テレビ西日本	27	27	長崎文化放送	11	11	RKKテレビ	37	37	テレビ長崎	22	22	KKTテレビ
熊本	熊本	096	37	37	テレビ長崎	36	36	サガテレビ	9	9	NHK総合熊本	19	19	TVQ九州放送	11	11	RKKテレビ	4	4	RKB毎日放送
大分	大分	097	36	36	テレビ大分	37	37	FBSテレビ	24	24	大分朝日放送	19	19	TVQ九州放送	9	9	テレビ西日本	12	12	NHK教育大分
宮崎	宮崎	0985	32	32	鹿児島放送	8	8	NHK総合宮崎	38	38	鹿児島テレビ	10	10	宮崎放送				12	12	NHK教育宮崎
	延岡	0982				39	39	テレビ宮崎												
鹿児島	鹿児島	099	32	32	鹿児島放送	22	22	KKTテレビ	38	38	鹿児島テレビ	16	16	熊本朝日放送	30	30	鹿児島読売			
	阿久根	0996	22	22	KKTテレビ	8	8	NHK総合鹿児島	16	16	熊本朝日放送	10	10	南日本放送	11	11	RKKテレビ	12	12	NHK教育鹿児島
沖縄	那覇	098				8	8	沖縄テレビ				10	10	琉球放送				12	12	NHK教育沖縄

地上デジタル放送チャンネル一覧表（地域名入力）

●かんたん設置設定（☞80ページ）や初期スキャン（☞87ページ）で選択された地域の、放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。他地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
●割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

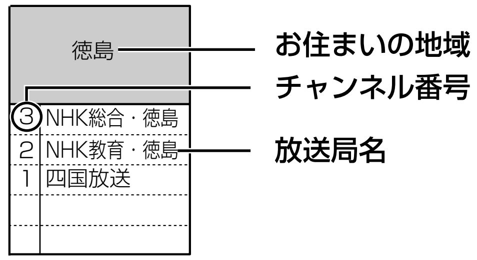
お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・福島	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・東京
	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央ﾃﾚﾋﾞ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ山形	8 めんこいﾃﾚﾋﾞ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼﾃﾚﾋﾞ	5 岩手朝日ﾃﾚﾋﾞ	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・長野
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn
	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良
	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYﾃﾚﾋﾞ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSﾃﾚﾋﾞ山口
	8 関西テレビ	5 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

■表の見方



（2009年1月現在）

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
放送局名	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・静岡	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・富山
	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBCテレビ	1 KNB北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT富山テレビ
	6 メ～テレ	6 メ～テレ	6 メ～テレ	6 MRO	4 静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		6 ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾃﾚﾋﾞ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 岐阜テレビ				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK総合・松山	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎	3 NHK総合・鹿児島
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎	2 NHK教育・鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送	1 MBC南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州	8 TKUﾃﾚﾋﾞ熊本	8 KTNﾃﾚﾋﾞ長崎	8 KTS鹿児島ﾃﾚﾋﾞ
	6 あいテレビ		8 さんさんﾃﾚﾋﾞ	1 KBC九州朝日放送	4 KKTくまもと県民	5 NCC長崎文化放送	5 KKB鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 NIB長崎国際ﾃﾚﾋﾞ	4 KYT鹿児島讀賣TV
				5 FBS福岡放送			
				7 TVQ九州放送			
				8 TNCﾃﾚﾋﾞ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄			
放送局名	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇			
	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・那覇			
	6 MRT宮崎放送	3 OBS大分放送	3 STSｻｶﾞﾃﾚﾋﾞ	3 RBCテレビ			
	3 UMKﾃﾚﾋﾞ宮崎	4 TOSﾃﾚﾋﾞ大分		5 QAB琉球朝日放送			
		5 OAB大分朝日放送		8 沖縄ﾃﾚﾋﾞ(OTV)			

■物理チャンネル一覧表（物理チャンネルについて☞81ページ）

東京			愛知			大阪		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
27	1	NHK総合・東京	20	3	NHK総合・名古屋	24	1	NHK総合・大阪
26	2	NHK教育・東京	13	2	NHK教育・名古屋	13	2	NHK教育・大阪
25	4	日本テレビ	21	1	東海テレビ	16	4	MBS毎日放送
22	6	TBS	18	5	CBC	15	6	ABCテレビ
21	8	ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	22	6	メ～テレ	17	8	関西テレビ
24	5	テレビ朝日	19	4	中京テレビ	14	10	読売テレビ
23	7	テレビ東京	23	10	テレビ愛知	18	7	テレビ大阪
20	9	TOKYO MX						
28	12	放送大学						

富山			茨城			岐阜		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
27	3	NHK総合・富山	20	1	NHK総合・水戸	29	3	NHK総合・岐阜
24	2	NHK教育・富山	13	2	NHK教育・東京	30	8	岐阜テレビ
28	1	KNB北日本放送						

兵庫			神奈川		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
22	1	NHK総合・神戸	18	3	tvk
26	3	サンテレビ			

●お住まいの場所によっては、中継局を経由するために、本表の物理チャンネルと異なる場合があります。
●掲載外の地域については、販売店にご相談ください。

地上アナログ放送放送局コード一覧表

●地上アナログ放送の設定（☞78、85ページ）で「放送局名」を変更するときに、
下表の放送局コード（4桁の数字）を直接入力することもできます。

（2009年1月現在）

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK総合札幌	0336
	NHK教育札幌	0346
	HBCテレビ	0257
	STVテレビ	0261
	UHBテレビ	0283
	HTBテレビ	0291
	TV北海道	0273
青森	NHK総合青森	0592
	NHK教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	4386
秋田	NHK総合秋田	1360
	NHK教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	4383
岩手	NHK総合盛岡	0848
	NHK教育盛岡	0858
	IATテレビ	0276
	テレビ岩手	0547
	IBCテレビ	0262
	めんこいテレビ	4385
山形	NHK総合山形	1616
	NHK教育山形	1626
	山形放送	0266
	さくらんぼ	0286
	テレビユー山形	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK総合仙台	1104
	NHK教育仙台	1114
	東北放送	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK総合福島	1872
	NHK教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	4641
	テレビユー福島	0543
	福島テレビ	0523
関東 東京	NHK総合東京	2128
	NHK教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBSテレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MXテレビ	0270
関東 埼玉	テレ玉	0806
関東 千葉	チバテレビ	0302
関東 神奈川	tvk	4394
関東 群馬	群馬テレビ	0304
関東 栃木	とちぎテレビ	4631
新潟	NHK総合新潟	2384
	NHK教育新潟	2394
	新潟放送	0517
	新潟総合テレビ	5155
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ21	0533
長野	NHK総合長野	2640
	NHK教育長野	2650
	長野放送	1062
	abn	4628
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK総合甲府	2896
	NHK教育甲府	2906

地区	放送局名	放送局コード
山梨	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK総合静岡	3920
	NHK教育静岡	3930
	静岡放送	1291
	テレビ静岡	1315
	あさひテレビ	5153
	静岡第一テレビ	4895
中部	NHK総合名古屋	4176
	NHK教育名古屋	4186
中部（愛知）	東海テレビ	1281
	CBCテレビ	1029
	メ~テレ	5643
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
中部 岐阜	岐阜テレビ	1061
中部 三重	三重テレビ	1313
富山	NHK総合富山	3152
	NHK教育富山	3162
	チューリップ	4640
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK総合金沢	3408
	NHK教育金沢	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	4377
	MROテレビ	0774
福井	NHK総合福井	3664
	NHK教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西 大阪	NHK総合大阪	4432
	NHK教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	ABCテレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
関西 京都	京都テレビ	1058
関西 兵庫	サンテレビ	0548
関西 奈良	奈良テレビ	0311
関西 和歌山	テレビ和歌山	5150
関西 滋賀	びわ湖放送	0798
岡山	NHK総合岡山	5200
	NHK教育岡山	5210
	山陽放送	1803
	OHKテレビ	1827
	テレビせとうち	4375
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	0772
	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	5151
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	5633
	山陰放送	1034
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	5410
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	4380

地区	放送局名	放送局コード
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	4889
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TVQ九州放送	0531
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	2315
	熊本朝日放送	4624
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	5145
	長崎文化放送	4635
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第1	0074
	衛星第2	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

Gガイド地域一覧表

●「Gガイド地域設定」（☞88ページ）で、お住まいの地域を選んだときに地上
アナログ放送の番組表に表示される放送局は、下表の通りに決められています。
●選んだ地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも
番組表に表示されません。

（2009年1月現在）

札幌 小樽 旭川 名寄 稚内 室蘭 苫小牧 函館 釧路	帯広 網走 北見	青森 八戸 むつ	盛岡 釜石 二戸	仙台 石巻 気仙沼	秋田 大館 大曲	山形 鶴岡 米沢	福島 いわき 会津若松	水戸 日立	宇都宮 矢板
HBC テレビ NHK 総合札幌 STV テレビ UHB テレビ HTB テレビ TV 北海道 NHK 教育札幌	UHB テレビ NHK 総合札幌 HBC テレビ HTB テレビ STV テレビ NHK 教育札幌	青森放送 NHK 総合青森 青森朝日放送 NHK 教育青森 青森テレビ	NHK 総合盛岡 IBC テレビ NHK 教育盛岡 テレビ岩手 IAT テレビ めんこいテレビ	東北放送 NHK 総合仙台 NHK 教育仙台 東日本放送 ミヤギテレビ 仙台放送	NHK 教育秋田 秋田朝日放送 NHK 総合秋田 秋田放送 秋田テレビ	NHK 教育山形 テレビユー山形 NHK 総合山形 山形放送 さくらんぼ 山形テレビ	NHK 教育福島 テレビユー福島 福島中央テレビ NHK 総合福島 福島放送 福島テレビ	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレビ東京 MX テレビ チバテレビ	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレビ東京 とちぎテレビ MX テレビ

前橋 桐生	さいたま	熊谷 秩父	千葉	銚子	横浜 平塚 秦野 小田原	23区 八王子 多摩	新潟 上越	甲府	長野 松本 飯田 岡谷・諏訪
NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 群馬テレビ テレビ東京 MX テレビ テレ玉	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレ玉 テレビ東京	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレ玉 テレビ東京	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京 tvk	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京 tvk	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 tvk テレビ東京 MX テレビ	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ テレ玉 フジテレビ tvk テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京	新潟テレビ21 テレビ新潟 新潟放送 NHK 総合新潟 新潟総合テレビ NHK 教育新潟	NHK 総合甲府 NHK 教育甲府 山梨放送 テレビ山梨	NHK 総合長野 abn テレビ信州 長野放送 NHK 教育長野 信越放送

富山 高岡	金沢 七尾	福井 敦賀	岐阜 高山 中津川 名古屋 豊橋 豊田	静岡 浜松 富士 三島・沼津 島田 藤枝	津 伊勢 名張	京都 舞鶴 福知山 大阪	奈良 五條	神戸 神戸灘 川西 三木 姫路 明石	大津 彦根
北日本放送 NHK 総合富山 富山テレビ NHK 教育富山 チューリップ	石川テレビ NHK 総合金沢 MRO テレビ NHK 教育金沢 テレビ金沢 北陸朝日放送	NHK 教育福井 NHK 総合福井 福井放送 福井テレビ	東海テレビ NHK 総合名古屋 CBC テレビ 中京テレビ NHK 教育名古屋 岐阜テレビ メ~テレ テレビ愛知 三重テレビ	NHK 教育静岡 静岡第一テレビ あさひテレビ テレビ静岡 NHK 総合静岡 静岡放送	東海テレビ NHK 総合名古屋 CBC テレビ 中京テレビ NHK 教育名古屋 三重テレビ メ~テレ テレビ愛知	NHK 総合大阪 京都テレビ 毎日放送 テレビ大阪 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ NHK 教育大阪 サンテレビ	NHK 総合大阪 奈良テレビ 毎日放送 テレビ大阪 ABC テレビ 関西テレビ サンテレビ 読売テレビ NHK 教育大阪 京都テレビ	NHK 総合大阪 サンテレビ 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ テレビ大阪 NHK 教育大阪	NHK 総合大阪 毎日放送 ABC テレビ 京都テレビ 関西テレビ 読売テレビ びわ湖放送 NHK 教育大阪

和歌山 海南・田辺	鳥取	松江 浜田	岡山 津山 笠岡	広島 福山 尾道 呉	山口 下関 宇部 岩国	徳島	高松 丸亀	高知	松山 新居浜 今治 宇和島
NHK 総合大阪 テレビ和歌山 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ NHK 教育大阪	日本海テレビ NHK 総合鳥取 NHK 教育鳥取 山陰中央テレビ 山陰放送	日本海テレビ NHK 総合松江 NHK 教育松江 山陰中央テレビ 山陰放送	テレビせとうち NHK 教育岡山 NHK 総合岡山 瀬戸内海放送 OHK テレビ 西日本放送 山陽放送	テレビ新広島 NHK 総合広島 中国放送 NHK 教育広島 広島ホーム 広島テレビ	NHK 教育山口 山口朝日放送 テレビ山口 NHK 総合山口 山口放送	四国放送 NHK 総合徳島 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ NHK 教育徳島	テレビせとうち NHK 教育高松 NHK 総合高松 瀬戸内海放送 OHK テレビ 西日本放送 山陽放送	NHK 総合高知 NHK 教育高知 高知放送 テレビ高知 高知さんさん	NHK 教育松山 あいテレビ NHK 総合松山 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ 南海放送

福岡 久留米 大牟田 北九州 行橋	佐賀1	佐賀2	熊本	大分 中津	長崎 佐世保 諫早	鹿児島 阿久根 鹿屋	宮崎 延岡	沖縄
KBC テレビ NHK 総合福岡 RKB 毎日放送 NHK 教育福岡 テレビ西日本 TVQ九州放送 FBS テレビ	NHK 教育佐賀 KBC テレビ RKB 毎日放送 TVQ九州放送 サガテレビ NHK 総合佐賀 FBS テレビ	NHK 教育佐賀 KBC テレビ TVQ九州放送 サガテレビ NHK 総合佐賀 FBS テレビ RKK テレビ	NHK 教育熊本 熊本朝日放送 KKT テレビ テレビ熊本 NHK 総合熊本 RKK テレビ	NHK 総合大分 大分放送 テレビ大分 大分朝日放送 NHK 教育大分	NHK 教育長崎 NHK 総合長崎 長崎放送 長崎国際テレビ 長崎文化放送 テレビ長崎	南日本放送 NHK 総合鹿児島 NHK 教育鹿児島 鹿児島放送 鹿児島テレビ 鹿児島読売	テレビ宮崎 NHK 総合宮崎 宮崎放送 NHK 教育宮崎	NHK 総合沖縄 琉球朝日放送 沖縄テレビ 琉球放送 NHK 教育沖縄

アイコンの一覧

●本機はアイコン(機能や情報表示のシンボルマーク)によって、番組や表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
テレビ	デジタルテレビ放送(映像＋音声)の番組。
データ	データ放送の番組。
＋d テレビ	デジタル放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
＋d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。
モノラル	モノラル音声の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。
デジタル XCOPY	DVDレコーダーなどのデジタル録画機器でコピー禁止の番組。(録画できません)
アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組。(アナログで録画できません)
アナログ X出力	モニター出力端子から映像や音声信号を出力しない番組。(録画できません)
デジタル 1COPY	DVDレコーダーなどのデジタル録画機器で1回だけコピー可能な番組。(録画後ダビングができません)
ラジオ	ラジオ放送の番組。
d テレビ	デジタル放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
16:9 1080i	番組の映像信号情報。 上：画面の横縦比(16：9、4：3) 下：信号方式(1080i、720p、480p、480i)
主＋副	二重音声信号で、「主＋副」音声の番組
サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組。
有料	有料のデータを含む番組。
マルチビュー	マルチビュー放送の番組。
字幕	番組の中に字幕(日本語／英語)の情報が含まれている番組。
20才～	視聴年齢制限がある番組。(表示される年齢は4～20才まであります)

お知らせ

● 「デジタル1COPY」などのアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。
● デジタル放送では、上記のアイコンの他に、デジタル放送用のアイコンが表示されることがあります。

デジタル放送用のアイコン

● デジタル放送では、番組表の番組欄や番組内容画面で、番組内容画面のアイコン(上記)に加えて、下記などのアイコン(デジタル放送用のアイコン)が表示されることがあります。

★★★　🔄　旬　ⓘ

● デジタル放送用のアイコンの説明を見たいときは、デジタル放送の番組表を表示中に サブメニュー(S) を押して「アイコン一覧」を選択し、「決定」ボタンを押してください。(情報がない場合は表示されません。)

※すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

予約一覧画面

アイコン	説明
録画 HDMI / 録画 Ir	録画予約した番組(下：録画機器、方式)
録画	上記以外の機器で録画予約した番組。
見るだけ	見るだけ予約した番組。
変更 おしらせ	放送開始時間を変更して予約が実行される番組。
探して毎回★	探して毎回予約で予約した番組。
次回未定	探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。
月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約。
重複	予約時間が重なっていた場合の、優先順位が低い予約。
済	予約時間が終了した予約。
検索中	番組追従を実行中。(時間確認中)
済 取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。
済 おしらせ	予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。
済 送信	ビエラリンク(HDMI)などによるタイマー予約を、録画機器に送信済みの番組。
警告	この予約は実行できません。(受信チャンネルが変更になったときなど)
リレー	番組追従でリレーが実行されたリレー先の予約。(☞ 40ページ)
注目番組	放送局おすすめの番組。
先取	9日以上先の番組。
実行中	現在、実行中の予約。

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。(☞ 28、30ページ)

映画	音楽	ニュース／報道	劇場／公演
ドラマ	バラエティ	アニメ／特撮	趣味／教育
スポーツ	情報／ワイドショー	ドキュメンタリー／教養	福祉

その他の画面

アイコン	説明
✉	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。(未読メール)
✉(開封)	メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。(既読メール)
予	番組表で予約された番組
★	おすすめアイコン
予(探)	探して毎回予約で予約された番組
回線使用中	電話回線に接続中、表示します。

●アイコンの一覧

故障かな!?

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
共通の項目	映像が出ないなど表示がおかしい、また急にリモコンが操作できなくなった	●本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、約5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。 ※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。	—
共通の項目	電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？	— ☞14ページ
共通の項目	リモコンで操作できない	●チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？ ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。	☞12ページ ☞12ページ ☞14ページ —
共通の項目	リモコンの放送切換ボタンを押しても、放送が切り換わらない	●リモコンの放送切換ボタンを押したとき、押した放送切換ボタンが点滅する。 →テレビ本体のメニュー設定で、放送切り換えをできないようにしていませんか？ ●リモコンの放送切換ボタンを押したとき、押した放送切換ボタンが点滅しない。 →リモコンのボタン操作で放送切り換えをできないようにしていませんか？ ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？	☞86ページ ☞86ページ ☞12ページ
共通の項目	テレビから時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。 性能その他に影響ありません。	—
共通の項目	テレビ内部から「カチッ」と音がする	●番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。 ●デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。 ※本体内部の回路が動作中は、データ取得ランプが点灯します。	— — ☞14ページ
共通の項目	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。 再度設定をやり直してください。	—
共通の項目	接続した機器の映像が出ない、入力切換のとき入力が選べない	●各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？ 端子の奥までしっかり差し込んでください。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
共通の項目	テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い	●本体天面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。 （本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください。）	—
共通の項目	液晶パネルが動くカタカタ音がする	●液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。	—
テレビ放送のとき	映像が揺れる 映像が不鮮明 色模様が出る 色が消える	●アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？ ●アンテナ線は正しく接続されていますか？	— ☞72、73ページ
テレビ放送のとき	「セルフワイド」のとき画面のサイズがときどき変わる	セルフワイドは、映像の明るい部分などを検出して自動で画面サイズを拡大する機能です。映像によっては下記のような動作をすることがあります。 ●最初暗いシーンのときは、しばらく自動拡大しないことがあります。 ●4：3映像でも上下が暗いシーンでは、自動拡大することがあります。 →気になる場合は手動で画面モードを設定してください。	— ガイド ? + 3 2 2 （テレビを見ているときに押す）
テレビ放送のとき	DVDレコーダーなどの録画機器で選局すると、一瞬黒い帯が出る	●チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。	—
テレビ放送のとき	画面の上下に映像のない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。	—
テレビ放送のとき	ズームやジャストにすると画面の上下が欠ける	●画面の位置調整がずれていませんか？ →画面の位置を調整してください。	ガイド ? + 3 3 3 （テレビを見ているときに押す）
テレビ放送のとき	チャンネル番号が画面から消えない	●「画面表示」ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？ →再度、「画面表示」ボタンを押してください。ビデオ入力を選んでいるときは、ビデオの映像が無いと消えません。	☞22ページ
テレビ放送のとき	チャンネルを切り換えたとき、一瞬画面が暗くなる	●チャンネルを切り換えたときに発生するノイズを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。	—
テレビ放送のとき	地上アナログ放送で、画面にはん点が出たり、画面が揺れる	●自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？	—

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
テレビ放送のとき	地上アナログ放送で、あるチャンネルだけ映りが悪い	●チャンネルの微調整は、正しいですか？	☞85ページ
テレビ放送のとき	地上アナログ放送で、映像が2重3重に見える	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波を受けていませんか？	― ―
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	映像も音も出ない	●アンテナは正しく接続されていますか？ ●「受信設定」は、正しく設定されていますか？	☞72、73ページ ☞90ページ
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送は、画質・音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	―
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	110度CSデジタル放送が受信できない	●本機と衛星アンテナをビデオデッキなどを通して接続していませんか？ →直接接続するか、110度CS対応の分配器（別売品）などをご使用ください。 ●BSデジタル放送より高性能の、110度CS対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。	― ―
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる） 映像が静止する（または、ときどき静止する）	●アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？またはアンテナ線の劣化などはありませんか？ →「受信設定」の「衛星」でアンテナレベルが受信可能レベル（50以上が目安）に達しているかご確認ください。また「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。アンテナレベルの確認は、「サブメニュー」ボタンからでも可能です。 ●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	☞90ページ ―
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	特定のチャンネルの映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）	●衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか？ ●PHS デジタルコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音声が出なくなることがあります。 →アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。販売店にご相談ください。	― ―
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	有料放送の視聴ができない	●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。	―

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
地上デジタル放送のとき	映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる） 映像が静止する（または、ときどき静止する）	●UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？またはアンテナ線の劣化などはありませんか？ →「受信設定」の「地上デジタル」で、アンテナレベルが受信可能レベル（44以上が目安）に達しているかご確認ください。アンテナレベルの確認は、「サブメニュー」ボタンからでも可能です。（アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので十分な余裕を取ることをおすすめします）	☞89ページ
地上デジタル放送のとき	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか？ →地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。 ●UHFアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？ →現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 ●地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？ →従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。 ※地上デジタル放送についてのお問い合わせ先 ・総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター 0570−07−0101（ナビダイヤル） （携帯電話、PHS、IP/ひかり電話など、ナビダイヤルがつながらない場合：03−4334−1111） 受付時間 月〜金/9時〜21時、土・日・祝/9時〜18時 ・社団法人 デジタル放送推進協会 ホームページ http://www.dpa.or.jp	― ― ―

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
デジタル（共通）放送のとき	映像も音も出ない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか？	☞74ページ
	電話機にノイズ（雑音）が入る 電話回線につないでいるとき電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●一部の電話機やファクシミリでは、使用するモジュラー分配器の種類によってこのような症状が出ることがあります。 →市販の自動転換器（パソコン対応用）や、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で症状が改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。	—
	IP電話回線使用時につながらない	●NTTの電話回線に切り換えると接続できる場合があります。切り換えの方法についてはIP電話回線業者にお問い合わせください。	—
	字幕や文字スーパーが出ない	●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。 ●字幕の言語の設定は正しいですか？ →設定した言語の字幕のみ表示されます。	☞54ページ ☞120ページ ☞54ページ
	「画面モード」ボタンを押しても、サイドカットの切り換えができない	●予約録画の実行中ではありませんか？ →予約録画実行中はサイドカットの切り換えが制限されます。 ・録画予約のとき「その他の設定」のサイドカットの項目が「する」の場合はサイドカットを解除することができません。 ・録画予約のとき「その他の設定」のサイドカットの項目が「しない」の場合は「フル」固定になりサイドカットにはできません。	ガイド［?］＋［2］［9］［4］ （テレビを見ているときに押す）
アクトビラのとき	アクトビラが動かない、つながらない	●アクトビラをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。 また、アクトビラの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境が必要です。詳細は、別冊の取扱説明書「ネットワーク編」をご覧ください。 ・ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らないなどの場合があります。 ・アクトビラの最新情報は、当社ホームページでもご紹介しております。 http://panasonic.jp/support/actvila/ （2009年1月現在）	

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
SDメモリーカード再生のとき	写真が再生できない	●パソコンなどで編集した写真データですか？ →ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。 ●写真データの画素数は最小160×120画素～最大約1470万画素の範囲ですか？ ●動作確認済のSDメモリーカードをお使いですか？ →SDメモリーカードの動作確認情報は、下記サポートページにてご確認ください。 http://panasonic.jp/support/tv （2009年1月現在） ●JPEG以外の写真（TIFF形式など）、プログレッシブJPEG形式、JPEG2000形式には対応しておりません。	☞56ページ ☞56ページ ☞56ページ ☞56ページ
	SDビデオ再生で音声が出ない	●対応していない音声形式の可能性があります。 対応していない音声形式のときは、SDビデオ一覧の「プレビュー映像」の右下に［マーク］マークが表示されます	—
録画、予約のとき	Irシステムで録画機器の録画予約ができない	●Irシステムケーブルは正しく接続されていますか？ ●「Irシステム設定」は正しいですか？ ●録画機器は正しく準備できていますか？ →録画機器の電源や、記録用ディスク、ビデオテープなどは必ず確認してください。	☞105ページ ☞106ページ ☞42ページ
	予約が実行されない	●予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約をした場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。 →録画予約をした場合、本体の電源を「切」にしていると予約が実行されません。	—
	DVDレコーダーで番組タイトルが正しく表示されない	●対応機種は104ページをご覧ください。 ●番組タイトルに🄽、🈔、🈖などの外字が含まれていると、DVDレコーダーでは表示されません。 ●時間指定予約で「毎日」などのくり返しのタイマー予約をされた場合には予約設定時に初回の番組タイトルを送ります。（くり返しの2回目以後の番組タイトルは送りません） ●送られる番組タイトルは1分を超える予約番組の最初の番組タイトル1つだけです。	—

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
番組表について	番組表が出ない、 または8日分 表示されない	●地上アナログ放送の番組表を見るためには、衛星アンテナの接続が必要です。ケーブルTV(CATV)でBSデジタル放送を見ている場合は使用できません。 ●お買い上げ直後や本体の電源を切って1週間以上経過した場合は、番組データがありません。 →番組データの取得は、リモコンで電源「切」または外部入力の視聴中に行われます。 最大約4時間かかります。(2009年1月現在) ※次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。 ・本体の電源を切っているとき ・テレビ放送を見ているとき ・デジタル放送の電波状態がよくないとき	― ―
	地上アナログ放送で 番組表に表示され ない放送局がある	●正しい放送局名の設定が必要です。 ●「Gガイド地域設定」が必要です。Gガイド地域設定で選ばれた地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表には表示されません。 (Gガイド地域一覧表☞119ページ) ※Gガイド地域の境界近辺にお住まいの場合は、どちらかのGガイド地域の番組表の設定になります。この場合、他方でのみ配信される放送局は、表示できません。	☞78～79ページ ☞88ページ
HDMI対応機器を接続のとき	映像が出ない、 乱れる	●HDMIケーブルを確実に接続してください。 ●本機はHDMIおよびDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。 ●本体の電源および接続機器の電源を「切」「入」してください。 ●対応外の信号がつながっていませんか？ →接続機器の設定を対応信号に変更してください。	☞96～100ページ ☞96ページ ― ☞96ページ
	音声が出ない	●接続機器の音声をリニアPCMに設定してください。 ●「HDMI音声入力設定」を確認してください。 ●デジタル音声での接続がうまく動作しない場合は、アナログ音声(音声ピンケーブル)で接続してください。 ●HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は光デジタル音声出力されません。	― ☞96ページ ☞96ページ ―

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
ビエラリンク(HDMI)接続のとき	デジタルビデオカメラの 電源を入れても、自動で 再生画面にならない	●HDMI3端子に接続しなおしてください。 HDMI1、2端子に接続したときは、手動で入力を切り換えてください。	☞66ページ
	デジタルビデオカメラの 再生画面は表示される が、本機のリモコンで 操作できない	●デジタルビデオカメラの電源を「切」/「入」してみてください。	―
	本機のリモコン操作で レコーダー(ディーガ)に 録画できない	●レコーダー(ディーガ)のチャンネル設定が合っているか確認してください。 詳しくはレコーダー(ディーガ)の取扱説明書をご覧ください。	―
	レコーダー(ディーガ)を 停止して、テレビ放送に 切り換えた後、 「見ている番組を録画」 を選択しても録画 できない	●もう一度レコーダー(ディーガ)の停止ボタンを押してから、録画を開始してください。 レコーダー(ディーガ)の停止ボタンを一回押すと、一時停止の状態になります。	―
	ビエラリンク(HDMI) が正しく動作しない	●ビエラリンク(HDMI)に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、**HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認の上**、下記の操作をしてください。 ①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の「電源」ボタンで電源を入れ直す。 ②[入力切換]を押して入力を切り換え(☞22ページ)、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する。 ③62～67ページの手順で機器が操作できることを確認する。	☞97ページ
	番組キープの動作に 時間がかかる	●番組キープを使うには、レコーダー(ディーガ)側の設定が必要です。 詳しくはレコーダー(ディーガ)の取扱説明書をご覧ください。	―

ビエラリンク Q&A集

Q	A
ビエラリンク(HDMI)でどんなことが できるのですか？	●本機のリモコンで、デジタルビデオカメラや CATVデジタルSTBの操作ができます。 ●本機のリモコン操作で、レコーダー(ディーガ)や AVアンプが連動して動作します。 ・見ている番組をすぐ録画できます。 ・本機のリモコンでレコーダー(ディーガ)の 録画予約ができます。 ・レコーダー(ディーガ)に再生専用ディスクを入れる だけで本機の電源が入り、自動再生を開始します。 ・本機のリモコンでAVアンプの音声に切り換えできます。 ・本機の電源を切ると、レコーダー(ディーガ)や AVアンプは連動して電源が切れます。
ビエラリンク(HDMI)が使える機器を 見分ける方法はありませんか？	ビエラリンク(HDMI)に対応している機器には、 下記のロゴマークが表示されています。 VIERA Link
HDMIケーブルは、 どんなものが使えますか？	ビエラリンク(HDMI)に使用するHDMIケーブルは、 当社製HDMIケーブルを推奨します。 HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作 しません。(HDMIケーブル品番は98、100ページ)
HDMI端子のついたテレビやDVD レコーダー、AVアンプを持っていますが、 ビエラリンク(HDMI)は使えますか？	HDMI端子がついていても、機器がビエラリンク (HDMI)に対応していないと使えません。
本機のHDMI端子3系統に複数の レコーダー(ディーガ)を接続した場合、 ビエラリンクメニューから操作できる レコーダー(ディーガ)はどれですか？	番号が小さいHDMI端子に接続されたレコーダー (ディーガ)を操作できます。
本機のHDMI端子(1～3)に、レコーダー (ディーガ)とデジタルビデオカメラを 接続したとき、ビエラリンク(HDMI)に 連動して、どのHDMI端子の入力に切り 換わりますか？	HDMI1、2端子のどちらかにレコーダー(ディーガ) を、HDMI3端子にデジタルビデオカメラを接続して ください。 後から操作した機器に、入力が自動で切り換わります。 ・一度入力が切り換わると、本機のリモコンで 機器を操作できます。
ケーブルテレビを受信していますが ビエラリンク(HDMI)の録画機能 (見ている番組を録画)は使えますか？	CATVデジタルSTBやホームターミナルを通じて、 本機に接続して視聴されている場合は、ビエラリンク (HDMI)の録画機能(見ている番組を録画)は 使えません。

Q	A
本機の番組表から録画予約をしましたが、 番組表に予(赤)マークが出ていません。	本機の番組表から録画予約すると、自動的に 予約情報をレコーダー(ディーガ)に送信します。 この場合、録画予約の予(赤)マークは、レコーダー (ディーガ)の予約一覧でご確認ください。 (本機の番組表には予(赤)マークは表示されません。)
「見ている番組を録画」しているときに、 レコーダー(ディーガ)の番組表から 重複して録画した場合は どうなりますか？	番組表からの予約が優先して録画されますので 「見ている番組を録画」は中断されます。
レコーダー(ディーガ)でダビング中、 本機のリモコンで電源を切った場合、 本機に連動してレコーダー(ディーガ)の 電源も切れますか？	ダビング中、ファイナライズ中、フォーマット中、 プロテクト設定・解除処理中、消去処理中は、 レコーダー(ディーガ)本来の仕様として 電源は切れません。
本機のオフタイマー使用時や 無信号自動オフ機能などが動作した場合、 レコーダー(ディーガ)の電源は 連動して切れますか？	本機のオフタイマー、無信号自動オフ、無操作 自動オフによって、本機の電源が切れたときは、 レコーダー(ディーガ)の電源も連動して切れます。
「見ている番組を録画」で、レコーダー (ディーガ)のディスク、または、VHS テープに録画ができますか？	「見ている番組を録画」操作したときは、レコーダー (ディーガ)の内蔵ハードディスクに録画されます。 ディスクやVHSテープに直接録画できません。
WOWOWなどの有料番組を録画 する方法はありますか？	契約されたB-CASカードを、レコーダー (ディーガ)に挿入しておけば録画できます。
本機にレコーダー(ディーガ)と AVアンプを接続していますが、 デジタルビデオカメラの音声を5.1chで 再生したいときはどうすればいいですか？	デジタルビデオカメラ※を本機のHDMI3端子に接続 して、AVアンプと本機を光デジタルケーブルで 接続してください。 また、デジタルビデオカメラの音声に、自動で 切り換わらないことがあります。 そのときは、AVアンプの入力をテレビに切り換えて ください。 ※：デジタルビデオカメラはビエラリンクVer.2 またはビエラリンク(HDMI)Ver.3以上対応の 機種、AVアンプはビエラリンク対応の機種のみ 対応

メッセージ表示一覧

●本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内　容
データを取得中です	データ放送の情報を取得中に表示します。そのままお待ちいただくか、別のチャンネルを選んでください。
現在、受信できません。	アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線していませんか？アンテナ線は正しく接続されていますか？（☞72、73ページ）
現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E203)	放送局の都合などにより、放送を休止しているチャンネルを選んでいます。別のチャンネルを選んでください。
降雨対応放送に切り換わりました。(E201)	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組タイトルなどの番組情報が表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。（☞74ページ）
衛星アンテナとの接続に不具合があります。確認のためBS放送に切り換えますか？(E209)	衛星アンテナとの接続に不具合があります。メッセージに従い「はい」を選び決定してください。（本機からアンテナへの電源供給を停止します。）衛星アンテナとの接続については販売店にご相談ください。
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。
番組データがありません。受信予定時間が取得できません。 番組データ受信待ちです。	地上アナログ番組表でのみ表示されます。番組表設定や地域設定が正しく行われているかを確認してください。（☞88ページ）
時刻情報が取得できていないためこの操作はできません。	地上アナログ放送の番組表を見るためには、衛星アンテナの接続が必要です。ケーブルTV(CATV)でBSデジタル放送を見ている場合は使用できません。番組データの取得は、リモコンで電源「切」または外部入力の視聴中に行われます。最大約4時間かかります。(2009年1月現在)
視聴チャンネルがスキップに設定されているため操作できません。	スキップ設定（☞79ページ）されているチャンネルの番組内容は表示できません。番組内容を表示させたい場合は、チャンネル設定をやり直してください。（☞85ページ）
番組データがありません。決定ボタンで取得します。	地上デジタル番組表でのみ表示されます。番組表で放送内容を知りたい放送局を選んで「決定」ボタンを押すと、そのチャンネルの番組情報を受信し、数分で表示します。 ※番組情報が受信できない場合、放送内容が表示されないことがあります。
データを送信します。よろしいですか？	データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。
電話回線への接続に異常がある可能性があります。接続をもう一度確認してください。	電話回線端子がショートしていたり、誤ってLANケーブルを接続しているなど、電話回線への接続に異常がある可能性があります。接続をもう一度確認してください。（☞75ページ）
選局できません。リモコンの地上デジタルボタンを押し地上デジタル放送に切り換えてください。	選局できない放送を選択しています。受信対象設定（☞86ページ）で、放送ごとの設定を確認してください。
＊＊＊はCHロックされています。操作するにはCHロック解除してください。解除しますか？ 録画予約が始まっているときは予約中止されます。解除後、録画機器を確認してください。	本機が録画予約を実行しているときに選局操作をするとこのメッセージが表示されます。デジタル放送を録画予約中は、チャンネルがロックされ選局操作ができません。チャンネルのロックを解除してから選局操作をしてください。（チャンネルのロックを解除すると、録画予約が停止します。）

●下記の一覧表でマークのあるエラーメッセージを表示中にリモコンの ガイド ? ボタンを押すと、電子説明書でも説明がご覧になれます。

メッセージ	内　容
ダウンロードが中断されました。このメッセージが消えるまで電源を切らずにお待ちください。（最大約3分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。	電源を「入」時に表示されます。 前回のダウンロード中に、受信異常や電源「切」などが発生し、ダウンロードが中断しました。自動復旧しますので、そのまま最大約3分間お待ちください。
起動処理中です。このメッセージが消えるまで、電源を切らずにお待ちください。（最大約3分） このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。	電源を「入」時に表示されます。 本機の制御プログラムを更新していますので、そのまま最大約3分間お待ちください。
両端を切り取った映像に変換しました。（データ放送時を除く）チャンネル選局や「元の画面」ボタンなどで元に戻ります。	デジタル放送で映像信号が720p、1080iのときに「画面モード」ボタンを押してサイドカットモードにすると表示します。お好みにあわせて、画面のサイズ（画面モード）を変更することができます。（☞48ページ）
番組がハイビジョン放送の場合、両端を切り取った映像に変換してモニター出力します。（データ放送時を除く）	720p、1080iのデジタル放送の番組を予約するときに、予約設定の「その他の設定」画面で、「サイドカット」を「する」に設定すると表示します。両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像で録画できますが、黒帯の無い映像の場合に設定すると、映像の両端が切り取られた映像になりますので、ご注意ください。（☞38ページ）
放送ダウンロードのお知らせがあります。決定ボタンを押してください。	放送ダウンロードの実施期間中に本機を視聴しているとき、一定時間だけ表示される場合があります。 このような場合は、メッセージが表示されている間に「決定」ボタンを押して、放送ダウンロードのお知らせをご覧ください。（お知らせを見ずに表示を消す場合は「戻る」ボタンを押してください。）
あなたの好みを学習中です。学習に数日かかる場合があります。	おすすめ一覧は本機が学習したお客様の好みを元に表示します。本機の使用状況により学習が完了する時間が異なります。数日間のご使用後に、再度おすすめ一覧を表示してください。
おすすめ番組を探しています。	おすすめ番組を探す処理を行っています。数分以上かかる場合があります。しばらくしてからおすすめ一覧を表示してください。
AVアンプと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	本機とAVアンプ間で制御データを送受信中に表示します。しばらくしてから再度操作してください。
AVアンプとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。	本機とAVアンプ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。AVアンプとの接続や設定を確認してください。（☞98～103ページ）
ディーガと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	本機とディーガ間で制御データを送受信中に表示します。しばらくしてから再度操作してください。
ディーガとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。	本機とディーガ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。AVアンプ、ディーガの接続や設定を確認してください。（☞98～103ページ）
再起動しました	「リモコンが利かない」「表示が乱れる」などの異常状態から自動的に復旧した場合に表示されます。一旦本機の電源コードを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
AVアンプから右画面音声出力中のためHDMI入力をスキップしました。	ビエラリンク（HDMI）で接続したAVアンプから右画面の音声を出力しているときは、左画面をHDMI入力に切り換えることはできません。 音声出力を左画面に切り換えた後に入力を切り換えてください。

工場出荷設定

●各設定画面の本機の工場出荷時の設定値の一部です。

■初期設定一覧表

	項　　目	工場出荷時	参照ページ
省エネ設定	無信号自動オフ	入	26
	無操作自動オフ	切	26
	消費電力	標準	26
画面の設定	水平表示領域	標準	48
	HD表示領域	標準	48
	セルフワイド	ジャスト	48
	ID-1検出	オン	48
	ED2検出	オン	48
	3次元Y/C分離	オン	48
	480p色マトリックス	1	48
	サイドカット固定	オフ	48
	デジタルシネマリアリティ	オン ※	48
	Wスピード	強 ※	48
システム設定	視聴可能年齢	無制限	54
	ブラウザ制限	無制限	ネットワーク編7
	選局対象	すべて	54
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)制御	する	101
	電源オン連動	しない	101
	電源オフ連動	する	101
	ECOスタンバイ	しない	101
	こまめにオフ	しない	102
	電源オン時の音声出力	テレビ	102
	ケーブルテレビ電源オン連動	しない	102
	ディーガの操作	通常	103
	HDMI音声入力設定	HDMI	96
	デジタル音声出力	自動	113
	デジタル音声予約録画連動	しない	112
	入力自動スキップ	オフ	111
	PCスキップ	オフ	107
	HDMIスキップ	オフ	96

●工場出荷時の設定値は予告なく変更する場合があります。
※地上アナログ放送視聴時の初期設定値です。
放送や入力によって設定値が異なります。

■リモコンボタンの番号に割り当てられた放送局（工場出荷時）

●放送局名やチャンネルは、実際の表示と異なる場合があります。

●**BS**デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11デジタル
12	222	TwellV

●**CS**1（スカパー！e2）

番号	チャンネル	放送局名
1		
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●**CS**2（スカパー！e2）

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	CS日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウエルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY・STAGE
12	238	スター・クラシック

（2009年1月現在）

用語解説

英数字順

1080p、1080i、720p、480p、480i
●映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。
●テレビ放送は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信するテレビ側で元の画像に組み立てて表示します。
●有効走査線数は、絵柄部分の走査線数のことをいいます。インターレース（飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

名　称	走査線数	有効走査線数	走査方式
1080p	1125本	1080本	プログレッシブ
1080i	1125本	1080本	インターレース
720p	750本	720本	プログレッシブ
480p	525本	480本	プログレッシブ
480i	525本	480本	インターレース

※これらの中で、1080p、1080iと720pをハイビジョン放送と呼びます。

5.1ch（チャンネル）サラウンド
左前、右前、センター、左後、右後の5本のスピーカーとサブウーハーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。背面の光デジタル音声出力端子に5.1ch光デジタル入力端子付きのオーディオ機器を接続すれば、臨場感のある音声で楽しむことができます。

AAC（エーエーシー）（Advanced Audio Coding）
地上・BS・CSデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスト・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエッチディー）規格
高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。本機はこの規格で記録されたSDメモリーカードを再生できます。

D端子（D4映像入力端子）
より忠実に色を再生するために、輝度・色差信号（Y、Pb、Pr）を分離し制御信号を加えて、1つにまとめた端子です。対応している映像信号の範囲によって、D1～D5端子などの種類があります。本機ではD4端子を使用しており、480i、480p、1080i、720pの映像信号に対応します。制御信号により画面モードをズーム、フルに切り換えます。

DPOF（ディーポフ）
Digital Print Order Formatの略称で、デジタルカメラなどで撮影した写真を、写真店や家電用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ED2（イーディーツー）検出
映像信号に埋め込まれた情報からワイドクリアビジョンであることを検出する仕組みで、本機の場合、ズームに切り換えが可能です。

HDMI（エッチディーエムアイ）（High Definition Multimedia Interface）
デジタルテレビ向けインターフェース規格のひとつです。本機のHDMI端子とHDMI対応機器（DVDレコーダーやAVアンプなど）を1本のケーブルで接続することで、高品位な映像と音声を簡単に利用できます。

ID-1（アイディーワン）検出
映像信号に埋め込まれた画面サイズの情報を検出する仕組みです。本機の場合、画面モードをズーム、フルに切り換えが可能です。

JEITA（ジェイタ）
社団法人　電子情報技術産業協会（Japan Electronics and Information Technology Industries Association）の略称です。エレクトロニクス（電子工学）とIT（情報技術）分野の企業が多数参加している日本の業界団体で、規格の発行などを行っています。

MPEG-2（エムペグツー）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する方式の1つです。MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式です。

PCM（ピーシーエム）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の一つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S映像端子（S2映像入力端子）
色にじみの少ない映像の伝送のために、輝度信号・色差信号（Y、C）を分離して、1つにまとめた端子です。S2映像入力端子は、画面サイズの情報を付加したもので、本機では画面モードをズーム、フルに切り換えます。

ドルビーデジタル（Dolby Digital）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ音声だけではなく、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よく圧縮できます。

使用上のご注意

■記録内容の補償について

●万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
●アクトビラ有料サービスの購入情報やメールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権について

●あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■商標などについて

●SDHCロゴは商標です。●CP8 PATENT　●acTVilaロゴは登録商標です。●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。
●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
●Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
●米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、「メニュー」ボタンを押し、「設定する」→「情報を見る」→「ID表示」→「ソフト情報表示」を参照ください。
●本機には、修理サービスを円滑に行えるよう、一定の動作状態を記録する機能を内蔵しています。記録内容は、サービス技術者が修理サービスに利用するため、通常の使用では見ることができません。

■デジタル放送のコピー制御について

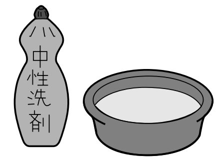
●本機にはB-CASカードを必ず挿入してください。
●デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。
●挿入されないと、BS・CS・地上の全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
●もちろんB-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
●デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回るようなことになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。地上・BS・CSデジタルテレビ放送局では、電波に「一回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。(ただしコピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)
●本機は個数制限コピー可能なダビング10には対応していません。
●CPRM(*)という著作権保護技術に対応したデジタル録画機器と記録メディア(ディスクなど)の組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。　*Content Protection for Recordable Media
CPRMに対応していないDVD-RやDVD-RAMでは録画ができませんのでご注意ください。
●「1回だけ録画可能」のコピー制御信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングはできません。
●VHSなどアナログ録画機器での録画や、アナログ放送の録画はこれまでどおりです。
●「1回だけ録画可能」のコピー制御信号は、BSデジタル放送のWOWOWやスター・チャンネルですでに利用されています。
●「1回だけ録画可能」と同じ意味で「デジタル1COPY」「1世代のみコピー可」と表現することがあります。
●詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
●コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
●社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■キャビネットやディスプレイパネルの汚れは付属のクリーニングクロスで軽くふく

●ひどい汚れは、水で100倍にうすめた中性洗剤にひたしたクリーニングクロスをかたく絞ってふき取ってください。



■スプレー洗剤などを直接かけない

水が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

●キャビネットが変質したり塗装がはがれます。



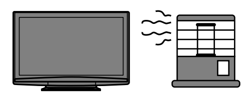
■ゴムやビニール製品などを長時間接触させない

●キャビネットが変質する原因となります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

設置されるとき

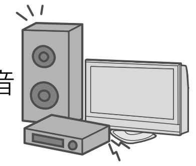
■直射日光を避け、熱器具から離す

●キャビネットの変形や故障の原因になります。



■機器相互のかんしょうに、ご注意を

●電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。



■接続は電源を“切”にしてから

●各機器の説明書に従って、接続してください。
(オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器、オーディオアンプなど)

■アンテナは定期的な点検を

●風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなったら、販売店にご相談を。



■良好な画面で見るために

●アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

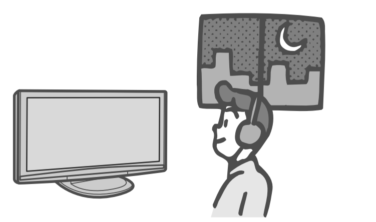
長時間使用しないときは

■電源プラグをコンセントから抜いてください

●リモコンで電源を切った場合は約 0.1 W、本体の電源を切った場合は約 0.07 Wの電力を消費します。

ご使用になるとき

■適度の音量で、隣り近所への配慮を



●特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
●音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

■見る距離と部屋の明るさは

●画面の縦の長さの約3倍程度、また、新聞が楽に読める明るさで。

液晶パネルについて

■画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません

●液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■液晶パネルの表面は特殊な加工をしています

●固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

■残像が発生する場合があります

●静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

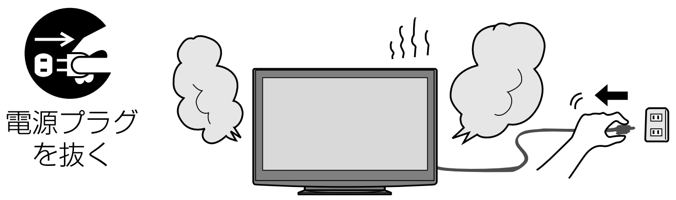
🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

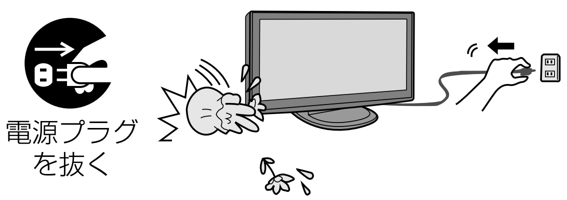
異常・故障時には直ちに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■ 故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！



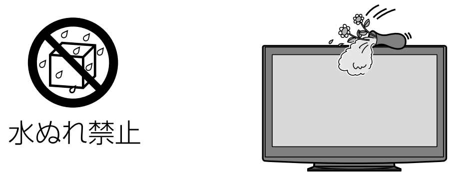
■ 内部に異物や水などの液体が入ったり、テレビを落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！



煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、おやめください。

⚠ 警告

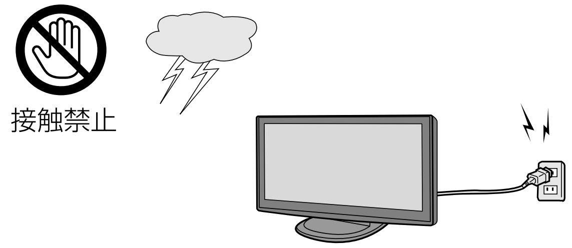
■上に水などの液体の入った容器を置かないでください



水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

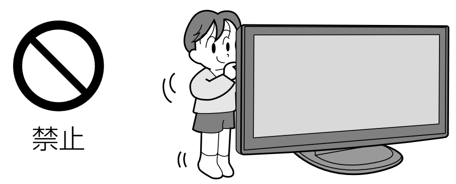
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体の入った容器）

■雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビには触れないでください



感電の原因となります。

■異物を入れないでください

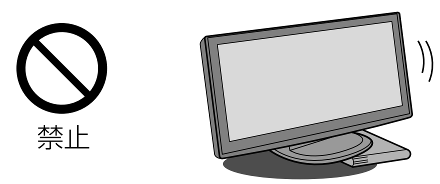


通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

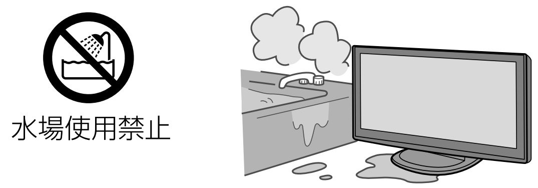
● 特にお子様にはご注意ください。

■不安定な場所に置かないでください



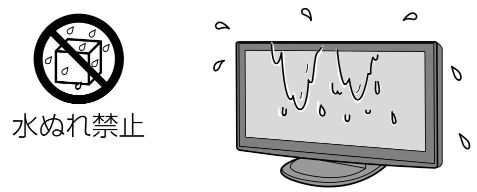
ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください



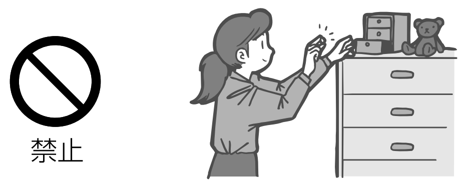
火災・感電の原因となります。

■ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

■メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください



誤って飲み込む恐れがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■壁掛け工事は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、けがの原因となります。

● 指定の取り付け金具をご使用ください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

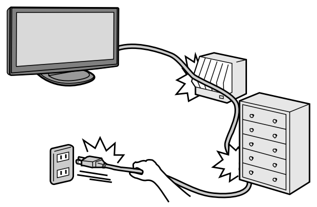
⚠ 警告

電源コードについて

■電源コード・プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、
無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重い物を載せる、束ねる など）

禁止



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください

ぬれ手禁止



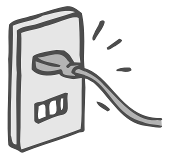
感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしないでください

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとってください



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造しないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

⚠	高圧注意 サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

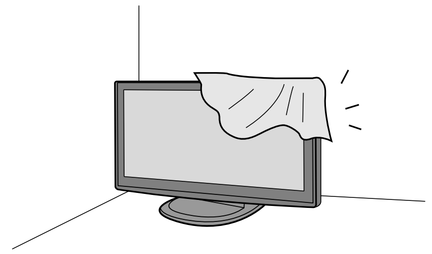
「本体に表示した事項」

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

■テレビの通風孔をふさがないでください

禁止



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

●本機は上面・左右・後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
また、据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください。ただし、壁掛金具使用時は対応する工事説明書に従ってください。

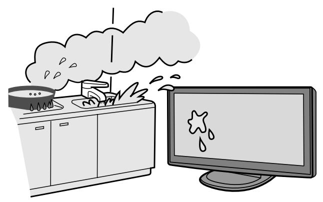
●押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。

●あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

禁止



調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■脚立を立てかけるなどしないでください

禁止

落下してけがの原因となることがあります。

■テレビに乗ったり、ぶらさがったりしないでください

禁止



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●特に、小さなお子様にはご注意ください。

■液晶パネルは、ガラスでできていますので、強い力や衝撃を加えないでください

禁止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

■持ち運ぶときは、衝撃を与えないでください

禁止

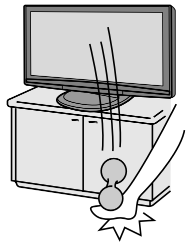
テレビが損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注意

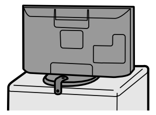
■上に物を置かないでください

禁止



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■テレビに付属している転倒・落下防止具を利用し、テレビを固定してください

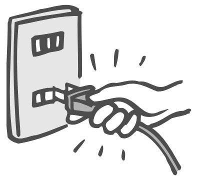


地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

●転倒・落下防止は10ページを参照。

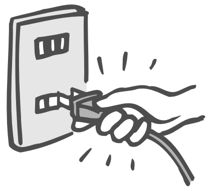
■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグ
を抜く



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、接続線をはずしてください

コードやテレビが損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグやアンテナ線、電話線、機器間の接続線や転倒・落下防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。

●開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

⚠ 注意

■電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

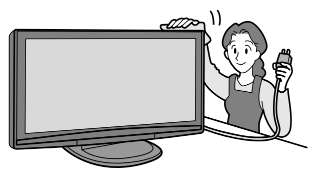
お手入れについて

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグ
を抜く



感電の原因となることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

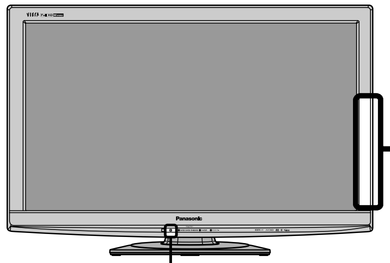
●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●BS・CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

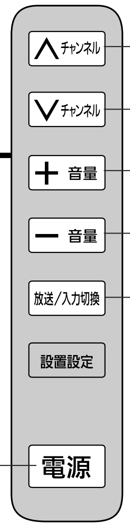
Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for the TH-L37G1.



Remote control sensor



■If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.

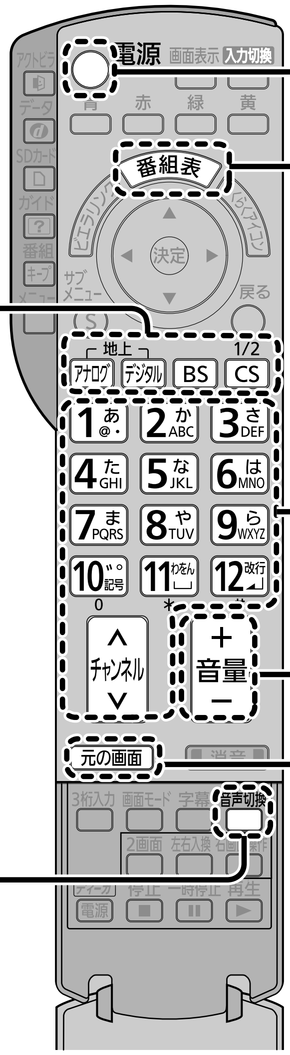
TV CATV BS & CS Channel selectors

Sound Volume controllers

Input signal & Broadcast selector

■First, push the Power to turn on.

➡Operate your Remote control pointed to the Remote control sensor.
(Within about 7meters in front of the TV set.)



Turn ON/OFF

EPG button
Brings up the Electronic Program Guide(EPG) screen "番組表" of currently tuned channel.

Select a broadcast

Select a channel

Control the Sound Volume

Original screen button
Lets you change from the EPG and menu screens back to the broadcast screen for the selected channel.

Audio Selector

音声切換　[3 地上A 3] — Channel number

- red : bilingual

主 (Japanese-language)
↓
副 (Original-language)
↓
主+副 (Japanese-language+ Original-language)

仕様

- このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体			
品番		TH-L37G1(37V型)	TH-L32G1(32V型)
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源		AC100 V 50／60Hz	
消費電力		123 W	113 W
		本体電源「切」時　約 0.07 W、リモコンで電源「切」時　約 0.1 W（電源ランプ橙色またはデータ取得ランプが橙色時 約15 W）	
年間消費電力量		106 kWh/年(スタンダード時)	100 kWh/年(スタンダード時)
区分名		BII	BEE
受信可能放送		VHF：ch1～12 ／ UHF：ch13～62 ／ CATV：c13～c63 ／ BSデジタル 110度CSデジタル ／ 地上デジタル（CATVパススルー対応）※ワンセグ放送を除く	
音声実用最大出力		20 W(10 W+10 W)JEITA	
スピーカー		フルレンジ：4.2 cm×16 cm 2個	
液晶ディスプレイ（アスペクト比16：9）		37V型 画素数：水平1920×垂直1080	32V型 画素数：水平1366×垂直768
画面寸法		幅　81.9 cm 高さ　46.1 cm 対角　94.0 cm	幅　69.8 cm 高さ　39.2 cm 対角　80.0 cm
動作使用条件		周囲温度：0℃～40℃　、　相対湿度：20%～80%（結露なきこと）	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～4（ビデオ入力1、2はS2映像なし）［S2映像：輝度・色信号分離（75 Ω）映像：1 V [p-p] (75 Ω)　音声　：左・右　0.5 V [rms]］ ●モニター出力［S2映像：輝度・色信号分離（75 Ω）映像：1 V [p-p] (75 Ω)　音声　：左・右　0.5 V [rms]］ モニター出力のS2映像は、S映像入力時に重畳されているDC約5 V(フル映像)やDC約2 V(ワイドクリアビジョン映像)をそのまま出力します。デジタル放送時は電圧重畳しません。	
	D端子 ビデオ関連	● D4映像〔Y:1 V [p-p] (75 Ω)、PB/CB:0.7 V [p-p] (75 Ω)、PR/CR:0.7 V [p-p] (75 Ω)〕 音声：左･右 0.5 V [rms]（音声はビデオ入力と兼用） 入力（480i、480p、720p、1080i）自動切換式	
	衛星関連	●BS･110度CS-IF入力（75 Ω）兼 衛星アンテナ用電源（DC15 V）出力	
	パソコン入力	●RGB（ミニD-sub15P）音声：左・右0.5 V[rms]（音声入力はビデオ入力と兼用） 表示画素数、対応信号について（☞ 107ページ）	
	HDMI入力	●HDMI端子 3系統（本機はビエラリンク[HDMI]Ver.4に対応しています。） 対応信号について（☞ 96ページ）	
	その他	●光デジタル音声出力端子：−18 dBm 660nm ●モジュラー端子（電話回線）：2400bps、MNP4（着呼機能なし） ●Irシステム（Irシステムケーブル [別売品] 用）　●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン（16～32 Ω推奨）●SDメモリーカード挿入口（SDHCメモリーカード対応）	
外形寸法	スタンド部含む	幅　89.4 cm 高さ 61.1 cm 奥行 28.7 cm	幅　77.7 cm 高さ 54.1 cm 奥行 21.7 cm
	本体のみ	幅　89.4 cm 高さ 56.8 cm 奥行　9.9 cm	幅　77.7 cm 高さ 50.1 cm 奥行　9.5 cm
質量	スタンドあり	約 17.5 kg	約 13.5 kg
	スタンドなし	約 15.0 kg	約 12.0 kg
キャビネット材質		樹脂	
角度調整範囲		左右：約15°	

- 年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算定した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名：省エネルギー法によるテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無等に基づいた区分の名称です。
- テレビのV型(37V/32V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン（品番:N2QAYB000324）	使用電源	DC3 V（単3形乾電池2コ）	操作距離	約7 m以内（テレビ正面距離）
	質量	約150 g（乾電池含）	操作範囲	左右各約30°以内 上下各約20°以内

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

修理を依頼されるとき

122～129ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
品番	TH-
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区			
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

東北地区			
青森	青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1 ☎(018)868-7008	山形	山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	福島	郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区			
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9700
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5822
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	新潟	新潟市東区東明1丁目8-14 ☎(025)286-0180
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034		

中部地区			
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地 ☎(076)280-6608	愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山	富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	岐阜	岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
福井	福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)21-0622	高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	三重	津市久居野村町字山神421 ☎(059)254-5520
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5 ☎(054)287-9000		

近畿地区			
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021	奈良	大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)646-2123	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎(06)6359-6225	兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎(078)796-3140

中国地区			
鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	浜田	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	岡山	岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
松江	松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	広島	広島市西区南観音1丁目13-5 ☎(082)295-5011
出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	山口	山口市小郡下郷220-1 ☎(083)973-2720

四国地区			
香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区			
福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	天草	天草市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎	長崎市東町1919-1 ☎(095)830-1658	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島	奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎(0997)53-5101
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213		

沖縄地区		
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞138～143ページ)